

安宁老师的日语课

【0-N1】讲义

N2

目录

N2 第 1 课 江戸時代の流行色(単語)	1
N2 第 2 课 江戸時代の流行色(语法)	4
N2 第 3 课 江戸時代の流行色(课文)	7
N2 第 4 课 秋の七草(単語)	8
N2 第 5 课 秋の七草(语法)	11
N2 第 6 课 秋の七草(课文)	14
N2 第 7 课 夏の问候(単語)	15
N2 第 8 课 夏の问候(语法)	19
N2 第 9 课 夏の问候(课文)	22
N2 第 10 课 屋根の葺き(単語)	23
N2 第 11 课 屋根の葺き(语法)	26
N2 第 12 课 屋根の葺き(课文)	29
N2 第 13 课 雨と農耕(単語)	30
N2 第 14 课 雨と農耕(语法)	34
N2 第 15 课 雨と農耕(课文)	37
N2 第 16 课 親子心理の不一致(単語)	38
N2 第 17 课 親子心理の不一致(语法)	41
N2 第 18 课 親子心理の不一致(课文)	44
N2 第 19 课 雨と植物(単語)	45
N2 第 20 课 雨と植物(语法)	48
N2 第 21 课 雨と植物(课文)	51
N2 第 22 课 七夕也叫乞巧节(単語)	52
N2 第 23 课 七夕也叫乞巧节(语法)	56
N2 第 24 课 七夕也叫乞巧节(课文)	59
N2 第 25 课 果物の家庭消費差(単語)	60
N2 第 26 课 果物の家庭消費差(语法)	64
N2 第 27 课 果物の家庭消費差(课文)	69
N2 第 28 课 平安時代の貴族色(単語)	70
N2 第 29 课 平安時代の貴族色(语法)	73
N2 第 30 课 平安時代の貴族色(课文)	76

N2 第 31 课 一封书信(单词)	77
N2 第 32 课 一封书信(语法)	80
N2 第 33 课 一封书信(课文)	82
N2 第 34 课 除夜的钟声(单词)	83
N2 第 35 课 除夜的钟声(语法)	86
N2 第 36 课 除夜的钟声(课文)	89
N2 第 37 课 入春(单词)	90
N2 第 38 课 入春(语法)	93
N2 第 39 课 入春(课文)	96
N2 第 40 课 古代百姓的参拜(单词)	97
N2 第 41 课 古代百姓的参拜(语法)	101
N2 第 42 课 古代百姓的参拜(课文)	104
N2 第 43 课 地震预告(单词)	105
N2 第 44 课 地震预告(语法)	109
N2 第 45 课 地震预告(课文)	111
N2 第 46 课 梅桃争艳迎春天(单词)	112
N2 第 47 课 梅桃争艳迎春天(语法)	115
N2 第 48 课 梅桃争艳迎春天(课文)	118
N2 第 49 课 夏天的风物诗——萤火虫(单词)	119
N2 第 50 课 夏天的风物诗——萤火虫(语法)	122
N2 第 51 课 夏天的风物诗——萤火虫(课文)	125
N2 第 52 课 浮世绘中的樱叶年糕(单词)	126
N2 第 53 课 浮世绘中的樱叶年糕(语法)	129
N2 第 54 课 浮世绘中的樱叶年糕(课文)	132
N2 第 55 课 橘红色的早晚(单词)	133
N2 第 56 课 橘红色的早晚(语法)	136
N2 第 57 课 橘红色的早晚(课文)	138
N2 第 58 课 各国婴儿无不同(单词)	139
N2 第 59 课 各国婴儿无不同(语法)	142
N2 第 60 课 各国婴儿无不同(课文)	144

N2 第 1 课 江戸時代の流行色(単語)

こびちゃ 媚茶

黄色きいろがかった濃こい茶色ちゃいろをしています。「媚こび」というなんとも艶つやっぽいなまえ名前がついていますが、なんと語源は「昆布茶」。といっても「昆布こんぶのお茶」ではなく、「昆布こんぶのような茶色ちゃいろ」です。この「こんぶ」が「こび」と訛なまる過程かていで「媚こび」の字じがあてられたといわれています。8代将軍はちだいしょうぐんとくがわよしむね徳川吉宗の時代じだいに江戸庶民えどしょみんに愛あいされ、小袖こそでの地色じいろなどに流行りゅうこうしました。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

媚茶

媚茶色は带着黄色の深茶色。媚茶色の名字里带着非常娇媚的字“媚”，其实它的起源竟然是“昆布茶”。即便这么说，但不是“昆布的茶”，而是“像昆布那样的茶色”。据说这个“昆布”在变成“媚”的发音的过程中被安上了“媚”这个字。在第8代将军徳川吉宗的时代被江戸庶民喜爱，流行在日本和服的小袖的底色等上。

単語

- こびちゃ
* 媚茶：(2, 名) 带有黑色的深茶色
- こ
* 媚びる：(2, 自上一) 谄媚，献媚。[记]. こ(小)+び(微)+る(留→长)→媚
- あか
* 赤：(1, 名) 赤
- だいだいいろ
* 橙 色：(0, 名) 橙色
- きいろ
* 黄色：(0, 名) 黄色
- みどり
* 緑：(1, 名) 绿
- あお
* 青：(1, 名) 青
- あいいろ
* 藍色：(0, 名) 靛蓝色
- むらさき
* 紫：(0, 名) 紫色
- ちゃいろ
* 茶色：(0, 名) 茶色
- こん
* 紺：(1, 名) 深蓝色
- * ベージュ：(0, 名/法语 beige) 米色
- * カーキ色いろ：(0, 名/印地语) 草绿色
- * なんとも：(1, 副) 简直

- * なんと：(0, 副)(后面接否定)什么都(不)
- * 語源^{ごげん}：(0, 名)辞源
- * 源^{みなもと}：(0, 名)源泉；水源；根源.[记]. み^{みず}(水)+な(なる→也→是)+もと(元→原)→水+原→源
- * 昆布茶^{こぶちや}：(2, 名)昆布茶
- * 昆布^{こんぶ}：(1, 名)昆布，海带
- * 昆布だし^{こんぶ}：(3, 名)昆布高汤，昆布高汤料
- * 訛^{なま}る：(2, 自他五)有口音
- * 訛^{なま}り：(3, 0, 名)口音.[记]. なま(生)+り(る→留→长)→说普通话不熟练→口音
- * 過程^{かてい}：(0, 名)过程
- * プロセス：(2, 名/process)过程
- * 庶民^{しょみん}：(1, 名)庶民，百姓
- * 大臣^{だいじん}：(1, 名)大臣
- * 愛^{あい}：(1, 名/他サ)爱
- * 可愛^{かわい}い：(3, 形)可爱的
- * 可愛^{かわい}らしい：(5, 形)可爱的
- * 愛^{あい}らしい：(4, 形)(孩子或年轻女性的小巧、弱小、美丽)可爱的
- * 愛^{いと}おしい：(4, 形)可爱的；珍贵的；可怜的.[记]. い(一)+と(特)
- * 愛^{いと}おしむ：(4, 他五)珍爱；爱惜；疼爱
- * 愛^{いと}しい：(3, 形)爱恋的；依恋的
- * 恋^{こい}しい：(3, 形)恋恋不舍的；眷恋的；留恋的.[记]. こい(濃い)
- * いじらしい：(4, 形)令人怜爱的.[记]. い(一)+じ(ぢ→ち→小さい)
- * 可憐^{かれん}：(0, 形动)楚楚动人
- * 可哀相^{かわいそう}：(4, 形动)可怜
- * 氣^きの毒^{どく}：(3, 4, 形动)可怜；内疚
- * 悲惨^{ひさん}：(0, 形动)悲惨

- * 悲^{かな}しい：(3, 形) 伤心的；悲哀的
- * 辛^{つら}い：(0, 2, 形) 痛苦的；艰辛的，辛苦的
- * 苦^{くる}しい：(3, 形) 痛苦的；难受的；苦闷的；牵强的
- * 苦^{くつう}痛：(0, 名) 痛苦
- * 痛^{いた}み：(3, 名) 疼痛；痛苦
- * 痛^{いた}む：(2, 自五) 疼痛；痛苦
- * 傷^{いた}む：(2, 自五) 伤；(食品/商品等) 破损
- * 痛^{いた}める：(3, 他下一) 使疼痛；使痛苦
- * 傷^{いた}める：(3, 他下一) 弄伤
- * 傷^{きず}付^つける：(4, 他下一) 弄坏；伤害
- * 傷^{きず}付^つく：(3, 自五) 负伤；出瑕疵，有损伤；受伤
- * 傷^{きず}付^つきやすい：(6, 形) 容易受伤的
- * ガラスのハート：(0+0, 名) 玻璃心
- * 小^{こそで}袖：(0, 1, 名) 袖子比较小的平时穿的和服
- * 袖^{そで}：(0, 名) 袖子；两侧的东西. [记]. そ(其)+で(出^でる)→(手) 从那里出来→袖子
- * 長^{ながそで}袖：(0, 名) 长袖
- * 半^{はんそで}袖：(0, 名) 半袖
- * 七^{ななぶそで}分袖：(0, 名) 七分袖
- * 袖^{そで}なし：(0, 名) 无袖
- * ノースリーブ(4, 名/和式英语/no+sleeve) 无袖
- * 地^{じいろ}色：(0, 名) 底色
- * 生^{きじ}地：(1, 名) 质地，面料
- * 生^{きまじめ}真面目：(2, 形动) 过于认真，较真；死心眼

N2 第2课 江戸時代の流行色(语法)

こびちゃ 媚茶

黄色きいろがかった濃こい茶色ちやいろをしています。「媚こび」というなんとも艶つやっぽい名前なまえがついていますが、
なんと語源ごげんは「昆布茶こぶちや」。といっても「昆布こんぶのお茶ちや」ではなく、「昆布こんぶのような茶色ちやいろ」です。この「こ
んぶ」が「こび」と訛なまる過程かていで「媚こび」の字じがあてられたといわれています。8代将軍はちだいしょうぐんとくがわよしむね徳川吉宗の
時代じだいに江戸庶民えどしょみんに愛あいされ、小袖こそでの地色じいろなどに流りゅうこう行こうしました。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

媚茶

媚茶色は带着黄色の深茶色。媚茶色の名字里带着非常娇媚的字“媚”，其实它的起源竟然是“昆布茶”。即便这么说，但不是“昆布的茶”，而是“像昆布那样的茶色”。据说这个“昆布”在变成“媚”的发音的过程中被安上了“媚”这个字。在第8代将军徳川吉宗的时代被江戸庶民喜爱，流行在日本和服的小袖的底色等上。

语法

好像～

—っぽい

- * 解释：っ(促音表示语气的加强)+ぽい(颇为)
- * 意思：1. 特别像；2. 不符合本质(子供こどもっぽい；对应的是符合本质的子供こどもらしい)
- * 接续：名词/动词的连用形+

1. 彼は飽あきっぽくてなかなか物事ものごとがつづ続つづかない性格せいかくをしています。

- * 他的性格是没长性很难坚持。
- * 飽あきる：(2, 自上一)饱和，厌烦.[记]. あ(上)+き(く→方向)+る(留→长)→向上→饱和→厌烦
- * うんざり：(3, 拟态)厌烦，腻烦.[记]. うん(无)+ざ(咋→咂嘴声)→不要
- * 物事ものごと：(2, 名)事物
- * 性格せいかく：(0, 名)性格

2. 運転うんてんが荒あらっぽくて、ルールを全然ぜんぜん守まもらない。

- * 开车粗野，完全不遵守(交通)规则。
- * 運転うんてん：(0, 名/自他サ)开车；运转
- * 荒あらい/粗あらい：(0, 2, 形)气势凶猛的；无节制的；粗糙的；粗鲁的；粗暴的.[记]. あら(哎呀→惊讶)→疯狂

* 荒々しい：^{あらあら}(5, 形)粗暴的；粗鲁的；疯狂的

* 荒れる：^あ(0, 自下一)波涛汹涌；狂风暴雨；行为粗鲁；皮肤粗糙.[记]. あれ(哎呀→惊讶)+る(留→长)→狂

* 肌：^{はだ}(1, 名)皮肤；物体表面.[记]. は(哈→放)+だ(大)→暴露多→皮肤

* 肌荒れ：^{はだ あ}(0, 名)皮肤粗糙

3. ちゃらちゃらした^{ひか もの}光り物の^つ付いている服は^{ふく}どこか^{やす}安っぽい^{いんしょう}印象が^{め だ}目立つ。

* 带有亮片的衣服总觉得给人很便宜的印象。

* ちゃらちゃら：^{ちやらちやら}(1, 拟声)(小而薄的金属互相碰撞时发出的)哗啦哗啦声；喋喋不休；(穿着便宜且花哨的衣服)怯(北京方言)

* 光る：^{ひか}(2, 自五)发光，闪光；出众.[记]. ひ(日)+か(火)+る(留→长)→发光

* 光り物：^{ひか もの}(0, 5, 名)闪光的东西

* 服：^{ふく}(2, 名)衣服

* どこか：^{どこか}(1)不知道是什么地方总觉得

* なぜか：^{なぜか}(1)不知道为什么总觉得

* なんだか：^{なんだか}(1)不知道是什么原因总觉得

* なんか：^{なんか}(1)なんだかの口语

* なんとなく：^{なんとなく}(4, 他五)总觉得

* 印象：^{いんしょう}(0, 名)印象

* 目立つ：^{め だ}(2, 自五)显眼

一めく

* 解释：め(目)+く(方向)→看上去

* 语气：正式生硬

* 词性：作为形容词使用的自动词

* 接续：名词/形容动词+

1. すっかり^{はる}春めいてまいりました。

* 完全春意盎然了。

2. 彼は私にとって^{いっしゅ}一種の^{い あつ}威圧めいたものに^かしだいに変わっていった。

* 他对于我，渐渐的又几乎变成一种威压。

* ～にとって：对～来说

* 一種：^{いっしゅ}(1, 名)一种

* 威圧：^{い あつ}(0, 名/他サ)威压

* 次第に：^{し だい}(0, 副)渐渐地

* 一変：^{いっぺん}(0, 名/自他サ)完全改变

3. あの人はいつも^{ひ にく}皮肉^いめいた^{かた}言い方をしています。

* 那个人说话总是带着挖苦。

* 皮肉：^{ひ にく}(0, 形动)讽刺，挖苦，讥讽

* 皮肉る：^{ひ にく}(3, 自他五)讽刺，挖苦，讥讽

* 言い方：^{い かた}(0, 名)说法

N2 第3课 江戸時代の流行色(课文)

こびちゃ 媚茶

黄色きいろがかった濃い茶色こ ちゃいろをしています。「媚こび」というなんとも艶つやっぽいなまえ名前がついていますが、なんと語源は「昆布茶」。といっても「昆布こんぶのお茶」ではなく、「昆布こんぶのような茶色ちゃいろ」です。この「こんぶ」が「こび」と訛る過程で「媚こび」の字じがあてられたといわれています。8代将軍徳川吉宗はちだいしょうぐんとくがわよしむねの時代じだいに江戸庶民えどしよみんに愛あいされ、小袖こそでの地色じいろなどに流行りゅうこうしました。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

媚茶

媚茶色は带着黄色の深茶色。媚茶色の名字里带着非常娇媚的字“媚”，其实它的起源竟然是“昆布茶”。即便这么说，但不是“昆布的茶”，而是“像昆布那样的茶色”。据说这个“昆布”在变成“媚”的发音的过程中被安上了“媚”这个字。在第8代将军徳川吉宗的时代被江戸庶民喜爱，流行在日本和服的小袖的底色等上。

N2 第4课 秋天的七种花草(单词)

おみなえし 女郎花

秋の野原にひっそりと佇む姿が若い女性にも例えられる花、オミナエシの色。透明感のある黄色は、中秋の名月の色でもあります。

「秋の七草」にも数えられるオミナエシの花の色のよう、爽やかで涼しげな黄色です。平安時代に誕生し、秋に身に着ける色とされました。「女郎」とは、身分の高い女性や若い女性のこと、この花が静かに秋風に揺れるさまが例えられたといいます。ちなみに秋の七草とは「ハギ・ススキ・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ」のことです。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

女郎花

在秋天的原野里静静地伫立的样子被比做是年轻女性的花——女郎花，其颜色带着透明感的黄色，也是中秋明月的颜色。

像是被数进“秋七草”的女郎花的颜色那样清爽且让人感到凉爽的黄色。在平安时代诞生，被当作秋天着装的颜色。“女郎”指身份高的女性和年轻的女性，据说是这种花在秋风中安静地摇摆的样子而来。顺便提一句，秋七草指：胡枝子、芒草、葛、石竹、女郎花、佩兰、桔梗。

单词

- おみなえし
* 女郎花：(3, 名) 女郎花 更多好课加星哥唯一微信36903863
- の 原
* 野原：(1, 名) 原野
- * ひっそりと：(3, 拟态/副) 鸦雀无声，寂静；无声无息。[记]. ひ(根据字形→低)+そ(素→轻)
- たたず
* 佇む：(3, 自五) 伫立。[记]. たた(立つ)+ず(吱啦一声→错位→动)+む(闷→不)→站着不动→伫立
- たたず
* 佇まい：(4, 名) 站着的样子；(自然景象的) 样子
- わか
* 若い：(2, 形) 年轻的
- わかて
* 若手：(0, 名) 年轻人
- わかわか
* 若々しい：(5, 形) 年轻的；显年轻的
- わかげ
* 若氣：(0, 2, 名) 年轻气盛
- あやま
* 過ち：(3, 0, 名) 过错，失误。[记]. あや(啊呀→吃惊)+ま(む→嗯)+ち(其)→惊讶后悔状→出错
- わかげ あやま
* 若氣の過ち：(0, 名) 年轻的过错

- * 例える：^{たと}(3, 他下一)比喻，举例. [记]. た(他)+と(和)+え(挨)+る(留→长)→往其他的方向走→把～比喻成～
- * 例え^{たと}ば：(2, 副)比如，例如
- * 透明^{とうめいかん}感：(3, 名)透明感
- * 透^{とうめい}明：(0, 形动)透明
- * 中^{ちゅうしゅう}秋：(0, 名)中秋
- * 名^{めいげつ}月：(1, 名)中秋的月亮
- * 七^{ななくさ}草：(2, 名)七草
- * 数^{かぞ}える：(3, 他下一)数，数数；列举. [记]. か(加)+そ(其)+浊音(拖泥带水→有关)+え(挨)+る(留→长)→添加→数数
- * 数^{かぞ}え^{おお}られないほど^{おお}多い：(6+1)数不清地多，不计其数
- * 爽^{さわ}やか：(2, 形动)(空气或心情)清爽；(人)爽快. [记]. さ(飒/爽)+わ(あ→上→特)+や(也)+か(加)→飒爽
- * 爽^{そうかい}快：(0, 形动)(心情)爽快
- * 気^き分^{ぶん}爽^{そうかい}快：(1+0)心情爽快
- * 清^{すがすが}しい：(5, 形)空气清新的；神清气爽的. [记]. す(丝→轻→清)+が(状态)+し(像)→清
- * も^もじ^もも^もじ：(1, 拟态)磨叽，扭捏. [记]. もじ(磨叽)
- * も^もた^もも^もた：(1, 拟态)磨(蹭). [记]. も(磨)+た(多)
- * ぐ^ぐず^ずぐ^ぐず：(1, 拟态)(磨)蹭；抱怨，发牢骚. [记]. ぐ(滚)+ず(蹭)
- * ず^ずる^ずず^ずる：(1, 拟态)(吸物时的)拖拉状；拖延不决. [记]. ずる(毗溜)
- * 引^ひき^ひず^ひる：(0, 自他五)拖，拽，拖拉，心里放不下，想不开
- * 煮^にえ^き切^きらない：(5, 形)犹豫不决的；(俗语)肉
- * 身^みに^み着^つける：(0+2, 他下一)穿在身上
- * 身^みに^み付^つける：(0+2, 他下一)附着在身上；掌握
- * 女^{いらつめ}郎：(0, 名)(古代称呼)女郎，姑娘
- * 身^み分^{ぶん}：(1, 名)身份
- * 位^い置^ち：(1, 名)位置

- * 立ち^{たち}位置^{い ち}: (3, 0, 名) (发言或形动时的) 位置, 立场, 定位
- * 位置^{い ち}付け^づ: (0, 名) 定位
- * 静^{しず}か: (1, 形动) 安静
- * 静^{しず}まる/鎮^{しず}まる: (3, 自五) 变得安静, 平静; 平息
- * 静^{しず}める/鎮^{しず}める: (3, 他下一) 使安静, 平静; 平息
- * 沈^{しず}む: (0, 自五) 下沉; 太阳落山; 忧郁
- * 静^{しず}けさ: (3, 名) 安静
- * 嵐^{あらし}: (1, 名) 暴风雨. [记]. あら (哎呀)+し (像)→拟声词 (惊讶)→暴风雨
- * 嵐^{あらし}の前^{まえ}の静^{しず}けさ: (1+1+3) 暴风雨前的寂静
- * 揺^ゆれる: (0, 自下一) 摇晃; 动摇. [记]. ゆ (摇)+れ (来)+る (留→长)→摇晃
- * 揺^ゆれ動^{うご}く: (4, 自五) 动摇
- * 動^{どう}じない: (4, 形) 不动的, 坚定的
- * 揺^ゆるぎない: (4, 形) 不变的, 不动摇的
- * 揺^ゆるぎない愛^{あい}情^{じょう}: (4+0) 不变的爱
- * 様^{さま}: (2, 名) 样子
- * ちなみに: (0, 1, 接续) 顺便提一句
- * 萩^{はぎ}: (1, 名) 胡枝子
- * 芒^{すすき}: (0, 名) 芒草
- * 葛^{くず}: (1, 名) 葛
- * 藤^{ふじ}袴^{ばかま}: (3, 名) 佩兰
- * 袴^{はかま}: (3, 名) 和服裙裤
- * 桔^{ききょう}梗^{ぎょう}: (0, 名) 桔梗

N2 第5课 秋天的七种花草(语法)

おみなえし 女郎花

あき の はら に ひっそり と たたず すがた わか じょせい たと はな いろ と う めい かん
秋の野原にひっそりと佇む姿が若い女性にも例えられる花、オミナエシの色。透明感のある
き いろ
黄色は、中 秋 の 名 月 の 色 也 も あ り ま す 。

あき ななくさ かぞ はな いろ さわ すず き いろ へいあん じ だい
「秋の七草」にも数えられるオミナエシの花の色のよう、爽やかで涼しげな黄色です。平安時代
たんじょう あき み つ いろ いらつめ み ぶん たか じょせい わか じょせい
に誕生し、秋に身に着ける色とされました。「女郎」とは、身分の高い女性や若い女性のこと、
はな しず あきかぜ ゆ たと
この花が静かに秋風に揺れるさまが例えられたといひます。ちなみに秋の七草とは「ハギ・ススキ
・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ」のことです。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

女郎花

在秋天的原野里静静地伫立的样子被比做是年轻女性的花——女郎花，其颜色带着透明感的黄色，也是中秋明月的颜色。

像是被数进“秋七草”的女郎花的颜色那样清爽且让人感到凉爽的黄色。在平安时代诞生，被当作秋天着装的颜色。“女郎”指身份高的女性和年轻的女性，据说是这种花在秋风中安静地摇摆的样子而来。顺便提一句，秋七草指：胡枝子、芒草、葛、石竹、女郎花、佩兰、桔梗。

语法

1. 好像～

—げ

- * 解释：気(感觉)
- * 意思：感觉好像
- * 词性：形容动词
- * 接续：名词/形容动词词干/形容词词干/动词的连用形(ありげ)+

1. その小説には魔法の怪しげな雰囲気とワクワク感が詰まっています。

- * 那本小说里全是魔法的让人感到怪异的气氛和兴奋感。
- * 小説：(0, 名) 小说
- * 魔法：(0, 名) 魔法
- * 魔法瓶：(2, 名) 保温杯
- * 怪しげ：(0, 形动) 令人感到怪异的，令人感到奇怪的，令人感到可疑的
- * 雰囲気：(3, 名) 气氛

- * ワクワク感^{かん}: (4, 名) 兴奋的感觉
- * わくわく: (1, 拟态) (因期待或喜悦等大的) 心情雀跃. [记]. わく(沸く)→わ(あ→上)+く(方向)
- * 詰まる^つ: (2, 自五) 塞满, 填满

2. 博士^{はかせ}は得意^{とくい}げにうなずいて^{こた}答えた。

- * 博士好像很得意的样子点头回答。
- * 博士^{はかせ}: (1, 名) 博士
- * 得意^{とくい}げ: (0, 形动) 给人得意的感觉
- * 得意^{とくい}: (2, 0, 名/形动) 拿手, 擅长; 得意, 得心应手
- * 頷く^{うなず}: (3, 0, 自五) 点头; 同意. [记]. うな(うえだ→上→项→脖子)+ずく(づく→つく→突く)→项部前突→点头
- * 答える^{こた}: (3, 2, 他下一) 回答
- * 応える^{こた}: (3, 2, 他下一) 回应, 反应

3. 大人気^{おとなげ}ない特徴^{とくちょう}として感情^{かんじょうてき}的で短絡^{たんらくてき}的であることが挙げ^あられる。

- * 没有大人样儿的特点是, 诸如有情绪化和武断。
- * 大人気ない^{おとなげ}: (5, 形) 没大人样的
- * 特徴^{とくちょう}: (0, 名) 特征, 特点
- * 感情^{かんじょうてき}的: (0, 形动) 情绪化
- * 短絡^{たんらくてき}的: (0, 形动) 武断
- * 挙げ^ある: (0, 他下一) 举例; 举证; 检举; 举行

2. 下定义

～とは～ことだ。

- * 解释: と(引号)+は(强调/大主语)+こと(事情)+だ(是)
- * 推广: ～というのは～ことだ。

1. ニューセラミックスとは、陶磁器^{とうじき}やガラス、レンガなど、熱^{ねつしゅり}処理^{つくり}をして作った^{こたい}固体^{ざいりょう}の材料^{ざいりょう}のことである。

- * 新陶瓷是陶瓷器和玻璃、还有砖等, 经过热处理而制成的固体材料。
- * ニューセラミックス: (5, 名/new ceramics) 新陶瓷器

- * 陶磁器：^{とうじき} (3, 名) 陶瓷器
- * ガラス：(0, 名/荷兰语/glas) 玻璃
- * 煉瓦：^{れんが} (1, 名) 砖
- * 赤煉瓦：^{あかせんが} (3, 名) 红砖
- * 熱処理：^{ねつしり} (3, 名/他サ) 热处理
- * 固体：^{こたい} (0, 名) 固体
- * 材料：^{ざいりょう} (3, 名) 材料

2. 「^{ていしゃば}停車場」とは、^{うえのえき}上野駅のことだと言われています。

- * 据说“停车场”是上野站。
- * 停車場：^{ていしゃば} (0, 名) 停车场
- * 上野駅：^{うえのえき} (3, 名) 上野站

3. パンゲアとは、すべてが^{ひと}一つの^{たいりく}大陸^{いみ}という意味である。

- * 泛大陆的意思是所有的都是一个大陆。
- * パンゲア：(1, 名/Pangaea) 泛大陆
- * 大陸：^{たいりく} (0, 名) 大陆

N2 第 6 课 秋天的七种花草(课文)

おみなえし 女郎花

あき の はら に ひっそり と たたず すがた わか じょせい たと はな いろ と う め い か ん
秋の野原にひっそりと佇む姿が若い女性にも例えられる花、オミナエシの色。透明感のある
き いろ
黄色は、中 秋 の 名 月 の 色 也 も あ り ま す。
あき な なく さ かぞ はな いろ さわ すず き いろ へい あ ん じ だ い
「秋の七草」にも数えられるオミナエシの花の色のよう、爽やかで涼しげな黄色です。平安時代
た ん じ ょ う あき み つ いろ い ら つ め み ぶ ん た か じょ せい わか じょ せい
に誕生し、秋に身に着ける色とされました。「女郎」とは、身分の高い女性や若い女性のこと、
はな しず あき かぜ ゆ たと
この花が静かに秋風に揺れるさまが例えられたといいます。ちなみに秋の七草とは「ハギ・ススキ
・クズ・ナデシコ・オミナエシ・フジバカマ・キキョウ」のことです。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

女郎花

在秋天的原野里静静地伫立的样子被比做是年轻女性的花——女郎花，其颜色带着透明感的黄色，也是中秋明月的颜色。

像是被数进“秋七草”的女郎花的颜色那样清爽且让人感到凉爽的黄色。在平安时代诞生，被当作秋天着装的颜色。“女郎”指身份高的女性和年轻的女性，据说是这种花在秋风中安静地摇摆的样子而来。顺便提一句，秋七草指：胡枝子、芒草、葛、石竹、女郎花、佩兰、桔梗。

N2 第7课 夏天的问候(单词)

暑中見舞い

お世話になっている相手や親しい友人への、暑さをねぎらう便りは、もともと直接訪問してあいさつしづらい遠方の人へのあいさつ状でした。それが遠方の相手にかぎらず、広く送られるようになったのは大正のころのよう。小暑までに出すのは梅雨見舞い、小暑から立秋までが暑中見舞い、立秋以降は残暑見舞い。ただ、小暑を過ぎてもまだ雨の日が続いているときは、梅雨明けを待って出すのがよさそうです。日付は書かず、〇〇年盛夏と書き添えます。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

夏天的问候

给平时关照自己和亲友发出的夏天问候函，过去是给无法直接拜访的远方之人的信。从寄给远方的亲友扩展到给众人是在大正时期。在小暑之前发出的叫做梅雨问候，小暑到立秋之间的叫暑中问候，立秋以后叫残暑问候。但是过了小暑还一直下雨的话，最好等到梅雨季节过后寄出。不写日期，而是写上某年、盛夏。

单词

- * 暑中見舞い：(4, 名) 暑期间候
- * 見舞い：(0, 名) 看望；慰问
- * 見舞う：(2, 0, 他五) 探望(病人等)；(用被动式) 遭遇. [记]. 見+舞う→巡视
- * 見舞われる：(4, 自下一) 遭遇
- * 世話：(2, 名/他サ) 照顾，关照
- * 世話好き：(0, 形动) 爱照顾人
- * 世話を焼く：(2+0) 不嫌麻烦地帮助人
- * 余計なお世話：(0+2) 多管闲事
- * 余計なことを言わないで：(0+2+3) 别废话
- * 余計なことをしないで：(0+2+2) 别做多余的事
- * 相手：(0, 名) 对方，对象
- * ～を相手にする：理睬

- * 相手にしない：不理睬
- * 親しい：(3, 形) 亲密的，熟悉的. [记]. し(しん→親)+た(多)+し(像)→亲
- * 慕う：(0, 2, 他五) 仰慕，敬慕，爱慕. [记]. した(下)+う(状态)→在下面→仰→慕
- * 恋い慕う：(4, 他五) 爱慕
- * 友人：(0, 名) 朋友，友人
- * 親友：(0, 名) 好友
- * 労う/ 犒う：(3, 他五) 慰劳，犒劳. [记]. ね(念)+ぎ(げ→给)+ら(拉)+う(状态)→精神慰劳
- * 労を 犒う：(1+3) 犒劳，慰劳
- * 労いの言葉：(3, 0+0) 慰劳的话
- * 便り：(1, 名) 书信，消息. [记]. た(他)+よ(悠)+り(る→留→长)→到其他地方→信
- * 直接：(0, 名/副) 直接
- * 訪問：(0, 名/他サ) 拜访；访问
- * 挨拶：(1, 名/自サ) 打招呼；致词
- * 挨拶状：(0, 名) 问候信
- * 遠方：(0, 名) 远方
- * 友遠方より来たる：(1+5+2) 有朋自远方来
- * 大正：(0, 名) 1912 年 7 月 30 日至 1926 年 12 月 15 日。明治之后，昭和之前。
- * 小暑：(1, 名) 小暑
- * 立秋：(0, 名) 立秋
- * 以降：(1, 名/副) 以后
- * 残暑：(1, 名) 秋老虎
- * 梅雨明け：(0, 名) 梅雨季节结束
- * 梅雨入り：(0, 名) 梅雨季节开始

- * 梅雨^{つゆ}: (0, 名)梅雨. [记]. つ(次)+ゆ(雨)→次于雨的东西→小雨→梅雨
- * 露^{つゆ}: (1, 名)露水; 短暂. [记]. つ(次)+ゆ(湯→水)→次于水→露
- * 麵^{めん}つゆ: (3, 名)面条佐料
- * 梅雨^{ばいう}: (1, 名)梅雨
- * 日付^{ひつけ}: (0, 名)(记载文书或信函等的)年月日, 日期
- * 日にち^ひ: (0, 名)日子, 日期
- * ○○^{まるまる}〜: (0)某某
- * まるまる: (0, 副)整整
- * ある〜: (1, 连体)某〜
- * 盛夏^{せい か}: (1, 名)盛夏
- * 盛り^{さか}: (0, 3, 名)最盛时期, 壮年. [记]. さか(さく→咲く→开花)+り(る→留→长)→花开得长→盛
- * 育ち盛り^{そだ さか}: (4, 名)正是长身体的时期
- * 働き盛り^{はたらき さか}: (5, 名)正是干工作的时期; 正是工作中出成绩的时期
- * 女盛り^{おんなさか}: (4, 名)女人最美的时期或是最成熟的时期
- * 男盛り^{おとこさか}: (4, 名)男人最好的时期, 一般指三四十岁
- * 菜の花^{な はな}は今^{いま}が盛り^{さか}: (1+2+1+0)油菜花现在盛开
- * 盛ん^{さか}: (0, 形动)旺盛; 昌盛
- * 旺盛^{おうせい}: (0, 名/形动)(气力或精力等)旺盛
- * 繁盛^{はんじょう}: (1, 名/形动/自サ)兴隆; 繁荣昌盛
- * 盛る^も: (0, 1, 他五)盛入; 堆高. [记]. も(もの→物)+る(留→长)→盛
- * 盛り付ける^{も つ}: (4, 他五)装盘
- * 盛り付け^{も つ}: (0, 名)装盘
- * 盛り合わせる^{も あ}: (5, 0, 他下一)拼盘
- * 盛り合わせ^{も あ}: (0, 名)拼盘

* 盛り^も上^あがる：(4, 0, 自五)隆起，堆起；高涨，热闹

* 盛り^も上^あげる：(4, 他下一)使堆起；使高涨，使热闹

* 盛り^も返^{かえ}す：(3, 他五)重振旗鼓

* 書^かき添^そえる：(4, 0, 他下一)附带写上，补充写上

* 添^そえる：(0, 2, 他下一)添加，附加. [记]. そ(其)+え(挨)+る(留→长)→在其旁边→添加

N2 第8课 夏天的问候(语法)

暑中見舞い

お世話になっている相手や親しい友人への、暑さをねぎらう便りは、もともと直接訪問してあいさつしづらい遠方の人へのあいさつ状でした。それが遠方の相手にかぎらず、広く送られるようになったのは大正のころのよう。小暑までに出すのは梅雨見舞い、小暑から立秋までが暑中見舞い、立秋以降は残暑見舞い。ただ、小暑を過ぎてもまだ雨の日が続いているときは、梅雨明けを待って出すのがよさそうです。日付は書かず、〇〇年 盛夏と書き添えます。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

夏天的问候

给平时关照自己和亲友发出的夏天问候函，过去是给无法直接拜访的远方之人的信。从寄给远方的亲友扩展到给众人是在大正时期。在小暑之前发出的叫做梅雨问候，小暑到立秋之间的叫暑中问候，立秋以后叫残暑问候。但是过了小暑还一直下雨的话，最好等到梅雨季节过后寄出。不写日期，而是写上某年、盛夏。

语法

不限于～

～にかぎらず

- * 解释：に(方向/对象)+限らず(限らない→限る)→不限于
- * 接续：名词+
- * 扩展：～限り(只要～)/～に限って(只限于)/～が限られている(～有限)/限られた～(有限的～)

1. 只要～

～限り、

- * 解释：限り→极限→条件性强→只要
- * 接续：谓语词(动词的简体/形容词/名词和形容词动词+である)+

1. 親と一緒にいる限り、安心していられる。

- * 只要和父母在一起，就能一直放心。

2. よほどのことがない限り、どたキャンすることはない。

- * 只要没有特殊情况，不会临时取消。
- * よほど：(0, 名/副)(程度非常超出)相当
- * どたキャン：(0, 名/他サ)临时取消

3. 完璧主義をやめない限り、考え過ぎる性格も直らない。

* 只要不放弃完美主义，考虑过多的性格就改不了。

* 完璧主義：(5, 名) 完美主义

* 完璧：(0, 名/形动) 完美

* 主義：(1, 名) 主义

* 考え過ぎる：(6, 他上一) 考虑得过多

2. 只限于～

～に限って

* 解释：に(方向/对象)+限って(只限)

* 意思：只限于～；越是～越～

* 特点：侧重于限定

* 接续：名词+

1. 弱い人間とか未熟な人間に限って、遥かに膨れ上がる可能性を持っている。

* 越是弱小的人和不成熟的人越有可能特别膨胀。

* 遥か：(1, 形动) 遥远的. [记]. はる(張る)+か(加)→张开→遥

* 膨れる：(0, 自下一) (肚子、脸蛋儿、花粉管等) 鼓起. [记]. ふく(吹く)+れ(来)+る(留→长)→吹起来→肿胀

* 膨れ上がる：(5, 自五) 鼓起；数量高涨；膨胀

* 可能性：(0, 名) 可能性

2. 大したことのない人間に限って、偉そうに振舞う。

* 越是小人物越是耀武扬威。

* 大した：(1, 连体) 大的

* 偉そう：(3, 形动) 摆出一副了不起的样子

* 振舞う：(3, 自五) 动作，举止. [记]. 振る(挥)+舞う→挥舞

3. 強い魂を持つ人に限って、人間関係で苦労することが多い。

* 越是拥有强大的灵魂的人，越是在人际关系上吃苦头。

* 魂^{たましい}：(1, 名)灵魂. [记]. たま(魂/玉)+し(像)+い(一)

* 人間関係^{にんげんかんけい}：(5, 名)人际关系

* 苦劳^{くろう}：(1, 名/自サ)吃苦，受苦

3. 未必

(必^{かなら}ずしも/強^{あなが}ち)～とは限^{かぎ}らない。

* 解释：と(引号)+は(强调)+限らない(不限)

* 意思：未必～

* 接续：任何词+

1. いくらクリスマスイブだからって、みんなは幸^{しあわ}せになれるとは限^{かぎ}らない。

* 即使是圣诞夜，大家也未必都能幸福。

* いくら～からって：(いくら～からと言って→いくら～からと言っても)不管怎么说因为～

* クリスマスイブ：(6, 名/Christmas Eve)圣诞夜

* クリスマス：(3, 名/Christmas)圣诞节

2. 必^{かなら}ずしも事^じ実^{じつ}に基^{もと}づいた発^{はつげん}言^{げん}ばかり(だ)とは限^{かぎ}らない。

* 未必全是基于事实的发言。

* 必^{かなら}ずしも：(4, 副)(后面接否定形)(未)必

* 事^じ実^{じつ}：(1, 名)事实

* 基^{もと}づく：(3, 自五)基于，根据，按照. [记]. もと(元)+づく(つく→付く)→附着于原地→基于

* 発^{はつげん}言^{げん}：(0, 名/自サ)发言

3. 必^{かなら}ずしも本^{ほん}音^ね(だ)とは限^{かぎ}らない。

* 未必就是真心话。

* 本^{ほん}音^ね：(0, 名)真心话，心里话

* 建^{たてまえ}前^{まえ}：(3, 2, 名)场面话

N2 第9课 夏天的问候(课文)

暑中見舞い

お世話になっている相手や親しい友人への、暑さをねぎらう便りは、もともと直接訪問してあいさつしづらい遠方の人へのあいさつ状でした。それが遠方の相手にかぎらず、広く送られるようになったのは大正のころのよう。小暑までに出すのは梅雨見舞い、小暑から立秋までが暑中見舞い、立秋以降は残暑見舞い。ただ、小暑を過ぎてもまだ雨の日が続いているときは、梅雨明けを待って出すのがよさそうです。日付は書かず、〇〇年 盛夏と書き添えます。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

夏天的问候

给平时关照自己和亲友发出的夏天问候函，过去是给无法直接拜访的远方之人的信。从寄给远方的亲友扩展到给众多人是在大正时期。在小暑之前发出的叫做梅雨问候，小暑到立秋之间的叫暑中问候，立秋以后叫残暑问候。但是过了小暑还一直下雨的话，最好等到梅雨季节过后寄出。不写日期，而是写上某年、盛夏。

N2 第 10 课 盖房子的不容易(单词)

家を建てた人が、楽にその家を建てたか、それとも、かなり苦しい思いをして建てたかということ
ことは照明器具を見ればわかるという。そういう目で見たことはないが、そういうものだそうだ。
建築でいえば、照明の取り付けが最後になる。従って、だんだんに資金につまってくると、
最後のところでお粗末になる。

(山口瞳『男性自身 困った人たち』新潮文庫による)

盖了房子的人是轻松地盖的，还是历经痛苦盖的，据说从照明器具就能看出来。虽然我没有用那种眼光看过，但是听说就是那么回事。

在建筑上的话，安装照明是最后的工程。从而，资金变得紧张的话，在最后的时候就会敷衍了事。

单词

- * 楽: (2, 名/形动) 安乐, 舒服
- * それとも: (3, 接续) (用于疑问句之间) 还是
- * かなり: (1, 副) 相当. [记]. か(加)+なり(「也」→是)→相当
- * 相当: (0, 名/自サ/形动/副) 相当
- * だいぶ: (0, 副) (侧重变化) 相当
- * 随分: (1, 副) (侧重超出) 相当
- * 遙かに: (1, 副) (侧重比较) 遥远
- * 余程: (0, 名/副) (程度相当高) 相当
- * よっぽど: (0, 名/副) 余程的口语
- * よっぽどの方がなければ: 如果没有特殊情况的话
- * とても～ない/なかなか～ない: 怎么也不～
- * 甚だ: (0, 副) 甚, 非常, 极其. [记]. はなはだ(はしだはしだ→端だ端だ)→极端
- * 甚だしい: (5, 形) 甚的, 非常的. [记]. はなはだ(はしだはしだ→端だ端だ)+し(像)→极端
- * 凄まじい: (4, 形) 骇人听闻的; 凶猛的, 猛烈的. [记]. す(死→非常)+さ(那么)+ま(满)+し(像)+
浊音(加重)→非常
- * 凄い: (2, 形) 厉害的; 出色的; 可怕的. [记]. す(死→非常)+ご(过)→特别超过→厉害
- * 照明器具: (5, 名) 照明器具
- * 照明: (0, 名) 照明; 灯

- * 明^あかり：(0, 名) 光亮，灯光
- * 点^つく：(2, 1, 自五) 点燃
- * 点^{とも}る/灯^{とも}る：(2, 0, 自五) 点燃
- * 点^{とも}す/灯^{とも}す：(2, 0, 他五) 把～点燃
- * 心^{こころ}に点^{とも}る明^あかり：(2+2+0) 心里点燃的明灯；心灵鸡汤
- * 建^{けんちく}築：(0, 名/他サ) 建筑
- * 築^{きず}く：(2, 他五) 构筑，打造(关系、团队)，营造(气氛)，建立(社会，家庭等). [记]. き(城)+ずく(突く)→累城堡→构筑
- * 建^{けんりつ}立：(0, 名/他サ) 建立
- * 建^{こんりゅう}立：(0, 名/他サ) 建立寺庙殿堂塔等
- * 取^とり付^つけ：(0, 名) 安装
- * 取^とり付^つける：(0, 4, 他下一) 安装；(从常去的固定商店) 购买
- * 据^すえ付^つける：(4, 他下一) 安装
- * 据^すえる：(0, 他下一) 安上，(坐、放) 稳；稳住(气). [记]. す(其)+え(挨)+る(留→长)→放→据
- * 目^めを据^すえる：(1+0) 定睛，注视
- * 腰^{こし}を据^すえる：(0+0) 坐稳；集中精力
- * 取^とり壊^{こわ}す：(4, 0, 他五) 拆除(建筑物)
- * 従^{したが}う：(3, 0, 自五) 服从，跟随；随着. [记]. した(下)+が(状态)+う(状态)→下面的状态→随从
- * 従^{したが}って：(0, 3, 接续) 从而
- * 従^{じゅうじゅん}順：(0, 名/形动) 顺从
- * 従^{じゅうじゅん}順^{やさ}で優しい：温顺
- * 柔^{じゅうじゅん}順：(0, 名/形动) (性格、态度等) 柔顺，温顺
- * 資^し金^{きん}：(2, 1, 名) 资金

* 頭金^{あたまきん}: (0, 名) 首付

* 元金^{もときん}: (0, 名) 本金

* やり繰り^{くり}: (2, 0, 名/他サ) 周转

* 資金繰り^{しきんぐ}: (0, 名) 周转资金

* 粗末^{そまつ}: (1, 名/形动) 粗糙，简陋；糟蹋不爱惜物品

* ぞんざい: (3, 0, 形动) 粗枝大叶，粗糙；粗暴，不用心，不细致

N2 第 11 课 盖房子的不容易(语法)

家を建てた人が、楽にその家を建てたか、それとも、かなり苦しい思いをして建てたかということ
ことは照明器具を見ればわかるという。そういう目で見たことはないが、そういうものだそうだ。
建築でいえば、照明の取り付けが最後になる。従って、だんだんに資金につまってくる、
最後のところでお粗末になる。

(山口瞳『男性自身 困った人たち』新潮文庫による)

盖了房子的人是轻松地盖的，还是历经痛苦盖的，据说从照明器具就能看出来。虽然没有用那种眼光看过，但是听说就是那么回事。

在建筑上的话，安装照明是最后的工程。从而，资金变得紧张的话，在最后的时候就会敷衍了事。

语法

1. 经历心情～

～思いをする

- * 解释：思い(心情)+を(接在他动词前的助词)+する(经历)→经历心情
- * 接续：形容词+；形容词动词+な+
- * 特点：1. 前面常接表示消极心情的词
2. する代替的是他动词「経験する」，所以前面用助词を，而不是表示小主语的助词が。

1. あのとき、思い切り本心をさらけ出して、悔しい思いをしなかった。

- * 那个时候痛痛快快地道出了心里话，没有留下遗憾。
- * 思い切り：(0, 副)痛痛快快地
- * 本心：(1, 0, 名)本心
- * 曝け出す：(4, 他五)暴露出；揭露.[记]. 曝け(さら→拉走沙子→治理河床→河床暴露→暴露；け→开)+出す→暴露出
- * 悔しい：(3, 形)悔恨的；遗憾的；窝心的；懊恼的；搓火的

2. こんな(に)辛い思いをするくらいなら、最初から出会わなきゃよかったのに。

- * 要是这么痛苦，还不如当初没有遇到。
- * 出会う：(2, 自五)邂逅，相遇

3. 嫌な思いをさせられたら、許して忘れるべきですか？

* 如果有人给你带来厌恶的心情，你应该原谅 TA 并且选择遗忘吗？

* 許す：^{ゆる}(2, 他五)允许，准许，同意；原谅.[记]. ゆ(裕)+る(留)+す(做)→使宽裕

2. 渐渐～

だんだん—てくる、だんだん—ていく

* 解释：表示“渐渐”的副词要和句尾的表示时间的推移的语法—てくる和—ていく一起使用

* 接续：比だんだん语气正式生硬的是次第に^{しだい}

2.1 一^{しだい}次第、

* 解释：次第^{しだい}→接下来→下一步

* 意思：接下来；一～就～

* 特点：语气正式生硬

* 接续：动词的连用形+

1. わかり^{しだい}次第、ご報告^{ほうこく}します。

* 知道了就跟您汇报。

* 報告^{ほうこく}：(0, 名/他サ)报告，汇报

2. 決まり^き次第、お知らせ^{しだい}します。

* 定下来就通知您。

* 決まる^き：(0, 自五)定下来

* 決まり^き：(0, 名)决定；规定；结果；定了的事

* 定める^{さだ}：(3, 他下一)定；决定；规定；制定.[记]. さ(そ)+だ(是)+める(む→闷)→それだ→就是他→定

* 定まる^{さだ}：(3, 自五)定下来；安定；平静.[记]. さ(そ)+だ(是)+まる(む→闷)→それだ→就是他→定

* 定め^{さだ}：(0, 名)规定；命运

* 掟^{おきて}：(0, 名)规矩；处置；心理准备.[记]. おき(置き→定)+て(手→才)→才+定→掟→制定

* 知らせる^し：(0, 他下一)通知；告知

3. 会社^{かいしゃ}に戻^{もど}り次第、お電話^{でんわ}します。

* 回公司就给您打电话。

2.2 ～次第です。

- * 解释：次第^{しだい}→接下来→下一步→看～而定
- * 接续：名词+

1. 結果^{けっか}が思い通り^{おもどお}になるかどうかは、努力^{どりよく}次第^{しだい}です。

- * 结果是否会如意要看努力的程度了。
- * 結果^{けっか}：(0, 名) 结果
- * 思い通り^{おもどお}：(4, 名/形动) 如意，如愿

2. 信^{しん}じるか信^{しん}じないかはあなた次第^{しだい}です。

- * 信不信由你。

3. 地獄^{じごく}の沙汰^{さた}も金^{かね}次第^{しだい}。

- * 有钱能使鬼推磨。
- * 地獄^{じごく}：(0, 3, 名) 地狱
- * 沙汰^{さた}：(2, 1, 名) 分辨好坏后采取的行动；音讯
- * ご無沙汰^{ぶさた}しております：旧疏问候
- * 狂気^{きょうき}の沙汰^{さた}：(1+2, 名) 发狂的行为

N2 第 12 课 盖房子的不容易(课文)

家を建てた人が、楽にその家を建てたか、それとも、かなり苦しい思いをして建てたかということ
は照明器具を見ればわかるという。そういう目で見たことはないが、そういうものだそうだ。
建築でいえば、照明の取り付けが最後になる。従って、だんだんに資金につまってくると、
最後のところでお粗末になる。

(山口瞳『男性自身 困った人たち』新潮文庫による)

盖了房子的人是轻松地盖的，还是历经痛苦盖的，据说从照明器具就能看出来。虽然没有用那种眼光看过，但是听说就是那么回事。

在建筑上的话，安装照明是最后的工程。从而，资金变得紧张的话，在最后的时候就会敷衍了事。

N2 第 13 课 雨水和农耕(单词)

雨水

雨水とは、降る雪が雨へと変わり、氷が解け出すころのこと。昔からこの季節は農耕の準備をはじめる目安とされてきました。

獺魚を祭る

そもそも七十二候は、中国から日本に伝来した暦。中国古代の天文学による七十二候では、雨水の初候は獺祭魚でした。獺は魚をよく捕えるものの、魚を岸に並べた後なかなか食べようとしません。それが祭の供え物のように見えたことから、獺が先祖の祭をしているとって、この季節の名が生まれたそうです。

茶器どもを獺の祭の並べ方 正岡子規

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

雨水

雨水这个节气指的是降雪变成雨、冰开始融化的时候。从古至今一直把这个季节当做开始准备农耕的大致基准。

水獺祭祀魚

说起来，七十二候是从中国传入日本的日历。根据中国古代天文学的七十二候，雨水的初候是獺祭魚。水獺虽然能捕鱼，但是却把鱼摆到岸边不吃。因为像是祭祀时供品的样子，所以都说水獺在祭祀祖先，这个季节因此得名。

茶具都是水獺祭祀的摆法 正岡子規

单词

- * 雨水：(1, 名) 24 节气中的雨水。大致是阳历的 2 月 18, 19 日左右。
- * 雨水：(2, 名) 雨水
- * 雨具：(2, 名) 雨具
- * 雨靴：(2, 名) 雨鞋
- * 雨宿り：(3, 名/自サ) 避雨
- * 宿る：(2, 自五) 住宿；寄居；怀孕。[记]. や(夜)+と(止→泊)+浊音(拖泥带水→有关)+る(留→长)→夜里停泊→宿
- * 氷：(0, 名) 冰。[记]. こ(固)+おる(折る→转折→变化)→变成固体→冰

- * 凍^{こお}る：(0, 自五) 冻
- * 凍^{こご}える：(0, 自下一) 冻僵. [记]. こ (固→固体)
- * 凍^{こお}りつく：(4, 自五) 冻住
- * 凍^いてつく：(0, 3, 自五) 冻住. [记]. い (一→一个固体)
- * 溶^とけ^だ出す：(2, 名) 开始融化
- * 溶^とける：(2, 自下一) 溶解. [记]. とけ (脱开)+る (留→长)→溶解
- * 解^とける：(2, 自下一) 解开
- * 溶^とかす：(2, 他五) 使溶解，使融化. [记]. と (脱)+か (加)+す (做)→脱落→溶解
- * 解^とく：(1, 他五) 解开，解题. [记]. と (脱)+く (开)→解开
- * とろける：(3, 0, 自下一) 溶化；心神荡漾. [记]. とろける (脱落开来)
- * 農^{のうこう}耕：(0, 名) 农耕
- * 耕^{たがや}す：(3, 他五) 耕，耕作. [记]. た (田)+がやす (かえす→返す)→翻田→耕
- * 目^{め やす}安：(0, 1, 名) 大致基准
- * 獺^{かわうそ}：(0, 名) 水獺. [记]. かわ (川/河)+うそ (おそ→^{おそ}恐ろしい)→生长在河里、看着害怕的动物
- * 獺^{おそ}：(2, 0, 名) 水獺
- * 恐^{おそ}れる：(3, 他下一) 害怕
- * 恐^{おそ}れ：(3, 名) 恐怕，不好的可能形
- * 恐^{おそ}ろしい：(4, 形) 可怕的，恐怖的
- * 恐^{おそ}らく：(2, 副) 恐怕
- * 魚^{うお}：(0, 2, 名) 鱼. [记]. う (字/雨/鱼)
- * 獺^{だっさいぎょ}祭魚：(3, 名) 獺祭鱼
- * 祭^{まつ}る：(0, 他五) 祭祀
- * 祭^{まつ}り：(0, 名) 祭祀活动
- * そもそも：(1, 接续/副) 说起来/最初

- * ^{しちじゅう に こう}七十二候：(5, 名)72 候。把 24 节气再分别分成 3 等份。
- * ^{でんらい}伝来：(0, 名/自サ)传来
- * ^{こよみ}暦：(0, 名)日历。[记]. こ(か→日)+よみ(読み)→读日子→日历
- * ^{はなごよみ}花暦：(3, 名)关于开花的日历
- * カレンダー：(2, 名/calendar)日历
- * ^{こ だい}古代：(1, 名)古代
- * ^{てんもんがく}天文学：(3, 名)天文学
- * ^{ぶんがく}文学：(0, 名)文学
- * ^{しょこう}初候：(0, 名)初候；在 72 候当中，把节气用 5 天分等分后的第一个
- * ^{とら}捕える：(3, 他下一)捕捉(东西)，抓住(东西)。[记]. と(て→手→才)+ら(拉)+へ(挨)+る(留→长)
- * ^{とら}捉える：(3, 他下一)理解(意思、心思、语气)
- * ^{とら かた}捉え方：(0, 名)理解方式
- * ^{きし}岸：(2, 名)岸。[记]. き(きる→切る)+し(细)→切断水的地方→岸
- * ^{きし べ}岸边：(0, 3, 名)岸边
- * ^{なら}並べる：(0, 他下一)摆，把～排列。[记]. な(那→长)+ら(拉)+べ(摆)+る(留→长)→摆
- * ^{なら}並ぶ：(0, 自五)排队
- * ^{なら かた}並べ方：(0, 名)摆的方式，排列方式
- * ^{そな もの}供え物：(0, 5, 名)供品
- * ^{そな}供える：(3, 他下一)上供。[记]. そ(其)+な(那)+え(挨)+る(留→长)→往那个上→上供
- * ^{く もつ}供物：(1, 名)供品
- * ^{ちゃ き}茶器：(1, 名)茶具
- * ^{まさ}正に：(1, 副)确实，就是。[记]. ま(真)+さ(そ→其)+に(副词)→真→正
- * ^{まさ}正しく：(2, 副)确实
- * まさか：(1, 副)怎么可能

* 岡/丘/陵: (0, 名) 丘陵, 山丘. [记]. お (根据嘴型→圆)+か (加)→圆的高的→丘

N2 第 14 课 雨水和农耕(语法)

雨水

雨水とは、降る雪が雨へと変わり、氷が解け出すころのこと。昔からこの季節は農耕の準備をはじめる目安とされてきました。

獺魚を祭る

そもそも七十二候は、中国から日本に伝来した暦。中国古代の天文学による七十二候では、雨水の初候は獺祭魚でした。獺は魚をよく捕えるものの、魚を岸に並べた後なかなか食べようとしません。それが祭の供え物のように見えたことから、獺が先祖の祭をしているとって、この季節の名が生まれたそうです。

茶器どもを獺の祭の並べ方 正岡子規

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

雨水

雨水这个节气指的是降雪变成雨、冰开始融化的时候。从古至今一直把这个季节当做开始准备农耕的大致基准。

水獺祭祀魚

说起来，七十二候是从中国传入日本的日历。根据中国古代天文学的七十二候，雨水的初候是獺祭魚。水獺虽然能捕鱼，但是却把鱼摆到岸边不吃。因为像是祭祀时供品的样子，所以都说水獺在祭祀祖先，这个季节因此得名。

茶具都是水獺祭祀的摆法 正岡子規

语法

1. 强调“虽然”～

～ものの、

- * 解释：もの(强调)+の(が→表示逆接的接续助词→虽然)→强调“虽然”
- * 接续：谓语句(形容词/动词+；形容词动词+である+)

1. 辛い思いをたくさんしたものの、やっぱり自分を曲げることができない。

- * 虽然经历了很多痛苦，但还是不能委曲自己。
- * 曲げる：(0, 他下一)使弯曲；歪曲；放弃.[记]. ま(满→圆)+げ(给)+る(留→长)→使弯曲
- * 曲がる：(0, 自五)弯曲；拐弯

2. あの庭園は戦争で打撃を受けたものの、復元されて、現在は美しい姿を湛えている。

- * 那个庭园虽然在战争中受到了打击，但是被修建后，现在非常美。

* 戦争^{せんそう}: (0, 名) 战争

* 打撃^{だげき}: (0, 名) 敲打; 打击

* ショック: (1, 名/shock) 打击

* 復元^{ふくげん}: (0, 名/自他サ) 复原

* 姿^{すがた}: (1, 名) 姿势, 样子, 身影

* 湛える^{たた}: (0, 3, 2, 他下一) 装满; 洋溢. [记]. た(多)+た(多)+え(挨)+る(留→长)→満

3. 車夫^{しゃふ}が早く^{はや} 車^{くるま}を止めたからよかったものの、そうでなかったら、ひっくり返^{かえ}って頭^{あたま}を割^わるほどの事故^{じこ}になったかもしれない。

* 幸而车夫早有点停步, 否则伊定要栽一个大斤头, 跌倒头破血出了。

* 车夫^{しゃふ}: (1, 名) 车夫

* ひっくり返^{かえ}る: (5, 自五) (翻)倒; (颠)倒. [记]. 引き(拉)+繰り返る(反复)→(翻)倒

* ひっくり返^{かえ}す: (5, 他五) 使(翻)倒; 使(颠)倒. [记]. 引き(拉)+繰り返る(反复)→(翻)倒

* 繰^くり返^{かえ}す: (3, 他五) 反复

* 事故^{じこ}: (1, 名) 事故

2. 一点儿～的意思都没有

—ようとしな

* 解释: 意志形—ようとする的否定形式(will not), 否定后边

* 意思: 一点儿～的意思都没有

* 特点: 完全否定

しまいとする

* 解释: 意志形—ようとする的否定形式(will not), 否定前边

* 意思: 不想要～

* 接续: 五段动词+/一段动词去掉结尾る+/しまい, するまい, すまい/来^こまい, 来^くるまい

1. 彼女^{かのじょ}は人^{ひと}の 話^{はなし}を聞^きこうとしません。

* 她根本没有听别人的话的意思。

2. 彼女^{かのじょ}は反対意見^{はんたいいけん}を受け入^うれようとしな

* 她一点儿都不接受反对意见。

* 反対：^{はんたい}(0, 名/自サ) 反对

* 反対意見：^{はんたい い けん}(5, 名) 反对意见

3. ^{おや}親に^{けいざいてき}経済的な^{ふたん}負担をかけまいとして^{じりき}自力で^{せいかつ ひ}生活費を^{かせ}稼いでいる。

* 为了不给父母增添经济上的负担，我通过自己的力量挣生活费。

* 経済：^{けいざい}(1, 名) 经济

* 経済的：^{けいざいてき}(0, 形动) 经济上的

* 負担：^{ふたん}(0, 名/他サ) 负担

* 被る：^{かぶ}(2, 他五) 盖，罩，戴；使蒙受.[记]. か(加)+ぶ(布)+る(留→长)→添加一块布→覆盖

* 被さる：^{かぶ}(3, 自五) 蒙上，罩上；增添负担

* 自力：^{じりき}(0, 名) 自己的能力

* 生活費：^{せいかつ ひ}(4, 名) 生活费

4. ^{なみだ}涙を^み見られまいとして^{かれ}彼は^{かお}顔を^{そむ}背けた。

* 他不想让别人看到自己的眼泪，因此把脸转了过去。

* 背ける：^{そむ}(3, 他下一) 把～转向别处.[记]. そ(其)+むける(向ける)→冲其他方向

3. 因为；由～得出

～ことから、

* 解释：こと(名词化)+から(因为/从)

* 接续：修饰名词的方式+

* 语气：正式生硬

1. ^{かもめ}カモメが^{つばさ}翼を^{うご}動かさないで^と飛ぶことから、^{かんが}グライダーを^だ考え出した。

* 从海鸥不动翅膀飞行想出了滑翔机。

* カモメ：(0, 名) 海鸥

* 翼：^{つばさ}(0, 名) 翅膀；机翼.[记]. つば(翅膀)+さ(さす→差す)→翅膀伸出

* グライダー：(2, 0, 名/glider) 滑翔机

2. ^{みせ}店の^{まえ}前に^{ぎょうれつ}いつも行列が^{にん き}できていることから、^{みせ}人気のある店だと^{わかつた}わかった。

* 从店前总是排长队这个现象知道了这是家有人气的店。

* 行列：^{ぎょうれつ}(0, 名) 队伍，行列

N2 第 15 课 雨水和农耕(课文)

雨水

雨水とは、降る雪が雨へと変わり、氷が解け出すころのこと。昔からこの季節は農耕の準備をはじめる目安とされてきました。

獺魚を祭る

そもそも七十二候は、中国から日本に伝来した暦。中国古代の天文学による七十二候では、雨水の初候は獺祭魚でした。獺は魚をよく捕えるものの、魚を岸に並べた後なかなか食べようとしません。それが祭の供え物のように見えたことから、獺が先祖の祭をしているとって、この季節の名が生まれたそうです。

茶器どもを獺の祭の並べ方 正岡子規

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

雨水

雨水这个节气指的是降雪变成雨、冰开始融化的时候。从古至今一直把这个季节当做开始准备农耕的大致基准。

水獺祭祀魚

说起来，七十二候是从中国传入日本的日历。根据中国古代天文学的七十二候，雨水的初候是獺祭魚。水獺虽然能捕鱼，但是却把鱼摆到岸边不吃。因为像是祭祀时供品的样子，所以都说水獺在祭祀祖先，这个季节因此得名。

茶具都是水獺祭祀的摆法 正岡子規

N2 第 16 课 母子心理的不合拍(单词)

おさな こ おとうと いもうと あか ぼう もど ふ ま
幼い子どもに 弟 や 妹 ができると、赤ん坊に戻ったように振る舞うことがある。それまで

じぶん せ わ ははおや う おとうと いもうと せ わ いそが
自分の世話だけをしてくれていた母親が、生まれただばかりの 弟 や 妹 の世話で忙しくなる。

あか ぼう もど じぶん おな ははおや せ わ おも
赤ん坊に戻って、自分も同じように母親に世話をしてもらいたいと思うのだろう。

ははおや こ おな そだ
母親は、どの子も同じように育てているつもりである。しかし、子どもにはそのことがわからな
いので、自分は大切にされていないと思ひ、不安になるのだろう。

小孩子有了弟弟妹妹以后，有时候会采取一些像是回到婴儿时期般的举动。妈妈过去一直只照顾自己，但是现在却忙着照顾刚出生的弟弟或妹妹。小孩子可能想着如果返回到婴儿时期就能让妈妈同样照顾自己了吧。

妈妈认为自己对每个孩子都是一视同仁。可是，孩子却不明白这一点，他们会因为感觉到妈妈不重视自己了而变得不安吧。

单词

* 赤ん坊：(0, 名) 婴儿

* 赤ちゃん：(1, 名) 婴儿

* 赤の他人：(1+0, 名) 毫无关系的人；外人

* 赤信号：(3, 名) 红灯

* 青信号：(3, 名) 绿灯

* 赤裸々：(0, 名/形动) 赤裸裸；毫无遮掩，毫无隐瞒

* 振る舞う：(3, 自五) 动作，举止。[记]. 振る(挥)+舞う→挥舞

* 振りかける：(4, 他下一) 撒上

* ふりかけ：(0, 名) 拌饭料

* 振りかざす：(4, 他五) 挥起，抡起；大肆宣扬。[记]. 振り(挥)+か(加)+ざす(指す)→使劲挥舞

* 振り回す：(4, 3, 他五) 举起来转动；牵着鼻子走。[记]. 振り(甩)+回す(转)

* 振り回される：(6, 自下一) 被牵着鼻子走

* 振り向く：(3, 自五) 回头看，转头看。[记]. 振り(甩)+向く→回头看

* 振替：(0, 名) 转账

- * 振り替^ふえ^かる：(4, 3, 他下一) 银行转账. [记]. 振り (甩)+替^かえる (换える)→转账
- * 振り返^ふる^{かえ}：(3, 他五) 回首 (往事). [记]. 振り (甩)+返^{かえ}る→回头看
- * ふり：(0, 2, 名) (做出来的) 样子
- * ～ふりをする：装～
- * 一ぶ^ふる：装～
- * 素振^そり^ぶ：(1, 0, 名) 样子. [记]. そ (其)+振^ぶり (样子)→他的样子
- * 手振^てり^ぶ：(1, 名) 手势；字体
- * 身振^みり^ぶ：(1, 名) (表达感情或意向) 身体动作
- * 仕事^しぶ^{ごと}り：(0, 名) 工作状态
- * 勉強^{べんきょう}ぶ^り：(9, 名) 学习状态
- * 世話^せわ^わ：(2, 名/他サ) 照顾
- * 面倒^{めんどう}：(3, 名/形动) 照顾
- * 面倒^{めんどう}を^み見る：(3+1) 照顾
- * 面倒^{めんどう}見^みがいい：(0, 3) 会照顾人，体贴
- * 面倒^{めんどう}臭^{くさ}い：(6, 形) 麻烦
- * 面倒^{めんどう}臭^{くさ}がる：(7, 他五) 觉得麻烦
- * 面倒^{めんどう}臭^{くさ}がり：(0, 名) 觉得麻烦
- * ややこしい：(4, 形) 繁杂的，复杂的；(事、人) 麻烦的
[记]. や (小)+や (小)+こ (小)+し (像)→全是小的→杂
- * 煩^{わづら}わしい：(5, 0, 形) (烦) 繁琐的，心烦的
[记]. わ (あ→上)+ず (喷)+ら (拉)+わ (あ→上)+し (像)→一直发出啧啧声→烦
- * 患^{わづら}う：(3, 0, 自他五) 患
- * 忙^{いそが}しい：(4, 形) 忙
- * 多忙^{たぼう}：(0, 形动) 很忙
- * 忙^{せわ}しい：(3, 形) 忙，忙碌，匆忙. [记]. せ (塞)+わ (あ→上)→塞满
- * 同^{おな}じ：(0, +名/形动) 同样. [记]. お (大)+な (那)+じ (及)→和那个一样

- * 同じく：^{おな}(2, 副/接续) 同様
- * 同様：^{どうよう}(0, 形动) 同様
- * 同等：^{どうとう}(0, 形动) 同等
- * 等しい：^{ひと}(3, 形) 平等的；相等的. [记]. ひと (ひとつ→一つ)+し (像)→同一个
- * 平等：^{びょうどう}(0, 形动) 平等
- * 平等に扱^{あつか}う：^{びょうどう}(0+3) 平等地对待
- * 公平：^{こうへい}(0, 形动) 公平
- * 平ら：^{たい}(0, 形动) 平，平坦. [记]. たい (太→太平)+ら (拉)→平
- * 平たい：^{ひら}(0, 3, 形) 平的，平坦的. [记]. ひら (開)+たい (太→太平)→平
- * 平屋：^{ひら や}(0, 名) 平房
- * 育てる：^{そだ}(3, 他下一) 养育，培育
- * 育つ：^{そだ}(2, 自五) 生长
- * 育ち：^{そだ}(3, 名) 生长；成长的环境
- * 躾：^{しつけ}(0, 名) 家教，管教
- * 躾ける：^{しつ}(3, 他下一) 管教
- * 育む：^{はぐく}(3, 他五) 培育，养育，培养
- * 培^{つちか}う：^{つちか}(3, 他五) 培养，培育
- * 育成：^{いくせい}(0, 名/他サ) 培育(人才)
- * 養成：^{ようせい}(0, 名/他サ) 培养(人才、精神)
- * 大切：^{たいせつ}(0, 形动) 重要
- * 肝心：^{かんじん}(0, 形动) 重要；关键
- * 肝要：^{かんよう}(0, 形动) 重要；关键

N2 第 17 课 母子心理的不合拍(语法)

おさな こ おとうと いもうと あか ぼう もど ふ ま
幼い子どもに 弟 や 妹 ができると、赤ん坊に戻ったように振る舞うことがある。それまで

じぶん せ わ ははおや う おとうと いもうと せ わ いそが
自分の世話だけをしてくれていた母親が、生まれたばかりの 弟 や 妹 の世話で忙しくなる。

あか ぼう もど じぶん おな ははおや せ わ おも
赤ん坊に戻って、自分も同じように母親に世話をしてもらいたいと思うのだろう。

ははおや こ おな そだ
母親は、どの子も同じように育てているつもりである。しかし、子どもにはそのことがわからな

いので、自分は大切にされていないと思い、不安になるのだろう。

小孩子有了弟弟妹妹以后，有时候会采取一些像是回到婴儿时期般的举动。妈妈过去一直只照顾自己，但是现在却忙着照顾刚出生的弟弟或妹妹。小孩子可能想着如果返回到婴儿时期就能让妈妈同样照顾自己了吧。

妈妈认为自己对每个孩子都是一视同仁。可是，孩子却不明白这一点，他们会因为感觉到妈妈不重视自己了而变得不安吧。

语法

1. 有时～

～ことがある

- * 解释：こと(事情、情况、时候)
- * 意思：有时
- * 接续：动词的一般现在时的简体
- * 注意：することがある(有时做)和したことがある(做过)的区别

あさはや いえ で でんしゃ こ かいてき
1. 朝早く家を出ることがありますが、電車は混んでいなくて快適です。

- * 有时候早晨很早出家门，电车里人不多，很舒适。

かいてき
* 快適：(0, 形动)舒适

かいてきせい
* 快適性：(0, 名)舒适性

ここち
* 心地よい：(4, 形)心里舒服

いごち
* 居心地：(0, 名)待着的心情

すわ ごち
* 坐り心地：(0, 名)坐着的感觉

つか ごち
* 使い心地：(0, 名)用着的感觉

がっこう
2. 学校のパソコンはときどきフリーズすることがある。

- * 学校的电脑有时死机。

- * 時々^{ときどき}: (0, 名/副) 有时
- * フリーズ: (2, 名/自サ/freeze) 冷冻; 死机

3. あの子は怒りん坊で、急に切れることがある。

- * 那孩子特爱发脾气，有时候突然就急眼。
- * 怒りん坊^{おこぼう}: (3, 名) 爱生气的人
- * 切れる^き: (2, 自下一) 断; 用尽; 脑子好使, 思维敏捷; 急眼
- * 逆切れ^{ぎやくぎ}: (0, 名/自サ) 倒打一耙
- * ぶち切れ^ぎ: (0, 名/自サ) 突然急眼

4. できれば毎週^{まいしゅう}会いたいけど、いろいろ事情^{じじょう}があって、二週間^{ふたしゅうかん}か三週間^{さんしゅうかん}ぶりに会うことがあるから、すごく寂しい^{さび}。

- * 如果可能的话, 我希望每周都见面, 但是因为各种特殊情况, 有时候两三周才见一面, 这让我感觉非常寂寞。
- * 一ぶり: (0, 名/语法) 隔～

2. 强烈的意愿和心情

～つもり

- * 特点: 强烈

1. 結果^{けっか}はどうであろうが、わたしは事実^{じじつ}を述べたつもりです。

- * 不管结果如何, 我觉得自己阐述了事实。
- * 結果^{けっか}: (0, 名) 结果
- * 事実^{じじつ}: (1, 名) 事实
- * 述べる^の: (2, 他下一) (叙, 阐) 述. [记]. の(な→那→长)+べ(边)+る(留→长)→述

2. わたしは断った^{ことわ}つもりだけど、相手^{あいて}には通じて^{つう}いないみたい。

- * 我觉得我拒绝了对方, 但是对方好像没明白我的意思。
- * 断る^{ことわ}: (3, 他五) 谢绝, 拒绝. [记]. こと(言)+割る(打碎)→在语言上打碎→拒绝
- * 相手^{あいて}: (3, 名) 对象; 对方
- * 通じる^{つう}: (0, 自上一) 通

3. 前の日に完全に覚えたつもりだったけど、試験では思い出せなかった。

* 我觉得前一天的时候我完全都记住了，但是考试的时候没想起来。

* 前の日：(4, 名) 前一天

* 次の日：(2, 名) 第二天；接下来的一天

* 試験：(2, 名/他サ) 试验；考试

* 思い出す：(4, 0, 他五) 想起来

* 思い付く：(4, 0, 他五) 想到

* 思い当たる：(5, 0, 他五) (从自己的记忆或经历对问题的核心所在) 想出，想到

4. 冗談のつもりで言ったけど、誤解されてひどく怒られた。

* 我本来是开玩笑的，但是被对方误解了，他非常生气。

* 冗談：(3, 名) 玩笑

* ふざける：(3, 自下一) 嬉皮笑脸

* からかう：(3, 他五) 戏弄；揶揄. [记]. から(空)+かう(買う)→买空卖空→戏弄

* 誤解：(0, 名/他サ) 误解

N2 第 18 课 母子心理的不合拍(课文)

おきな こ おとうと いもうと あか ぼう もど ふ ま
幼い子どもに 弟 や 妹 ができると、赤ん坊に戻ったように振る舞う ことがある。それまで

自分の世^せ話^わだけをして^して^てく^くれ^れて^てい^いた^た母^は親^{おや}が、生^うま^まれ^れた^たば^ばか^かり^りの^の弟^{おとうと}や妹^{いもうと}の世^せ話^わで^で忙^{いそ}しくなる。

あか　ぼう　もど　　　　　　じ　ぶん　おな　　　　　　ははおや　せ　わ
赤ん坊に戻って、自分も同じように母親に世話をしてもらいたいと思うのだらう。

母親^{ははおや}は、どの子^こも同じように育て^{おな}ているつもり^{そだ}である。しかし、子ども^こもには^にそのことがわからな

いので、自分^{じぶん}は大切^{たいせつ}にされ^{おも}ていないと思い、不安^{ふあん}になるのだろう。

小孩子有了弟弟妹妹以后，有时候会采取一些像是回到婴儿时期般的举动。妈妈过去一直只照顾自己，但是现在却忙着照顾刚出生的弟弟或妹妹。小孩子可能想着如果返回到婴儿时期就能让妈妈同样照顾自己了吧。

妈妈认为自己对每个孩子都是一视同仁。可是，孩子却不明白这一点，他们会因为感觉到妈妈不重视自己了而变得不安吧。

N2 第 19 课 雨水和植物(单词)

しだいにやわらぐ陽光の下、草木が芽吹き出すころ。冬の間に蓄えていた生命の息吹が外へ現れはじめる季節。

雨水のこの時期に降る雨を、木の芽起こしといいます。植物が花を咲かせるための大切な雨で、木の芽が膨らむのを助けるように降ることからその名で呼ばれます。また催花雨とも木の芽萌やしも。植物にとって、ひと雨ごとに春が来ころ。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

雨水指的是在渐渐柔和的阳光下，草木开始发芽的时候。是冬天储备的生命的氣息开始往外出现的季节。

把雨水时期降的雨称作唤醒树芽。这是为了植物开花而下的非常重要的雨，因帮助树上的嫩芽鼓起而得名。此外还叫做催花雨和树芽萌。对于植物来说，在这个时候每下一场雨都意味着春天的来临。

单词

* 次第に：(0, 副) 逐渐，渐渐

* やわらぐ/和らぐ：(3, 自五) 变得柔软；变得缓和

* 和らげる：(4, 他下一) 使变得缓和

* 和む：(2, 自五) 和谐，安详，心里舒服

[记]. な(那→长)+こ(地方)+浊音(拖泥带水→有关)+む(闷)→长时间在一个地方→和

* 癒す：(2, 他五) 治愈(病；痛苦等)

* 癒される：(4, 自下一) 被治愈(病；痛苦等)

* 陽光：(0, 名) 阳光

* 日差し：(0, 名) 日光，光线.[记]. さ(さき→先)+す(すぐ)→前面，直的→指向。日+差す→光线

* 日当たり：(0, 名) 采光.[记]. あ(上)+た(て→手)+り(る→留→长)→把手伸开→大面积地接触

* 元/本：(2, 0, 名) 根源；原来的状态；根本

* 下：(2, 名) (用于抽象事物) 下；跟前

* 草木：(2, 名) 草木

* 草分け：(0, 名) 开拓(者)；创始人

- * 芽^め吹^ぶき出^だす：(4, 自五)开始发芽
- * 芽^め吹^ぶく：(2, 自五)发芽
- * 芽^め：(1, 名)芽
- * 蓄^{たくわ}える：(4, 3, 他下一)储蓄，积蓄. [记]. た(多)+くわえる(加える)→多加→蓄
- * 蓄^{たくわ}え：(3, 4, 0, 名)储蓄；积蓄
- * 重^{かさ}ねる：(0, 他下一)重叠；积累. [记]. か(加)+さ(そ→其)+ね(捻)+る(留→长)→使重叠
- * 重^{かさ}なる：(0, 自五)重叠；积累. [记]. か(加)+さ(そ→其)+な(那→长)+る(留→长)→重叠
- * 積^つむ：(0, 他五)堆积(东西)；积累(经验). [记]. つ(次)+む(闷)→一次闷→积累
- * 積^つもる：(2, 0, 自五)积(雪、灰尘)；积累(话题、仇恨、岁月)
[记]. つ(次)+も(猛)+る(留→长)→积
- * 積^つみ重^{かさ}ねる：(5, 他下一)堆积；积累(疲劳、努力等)
- * 積^つみ重^{かさ}なる：(5, 自五)堆积；积累(疲劳、努力等). [记]. 積み+重なる→重叠积
- * 積^つみ重^{かさ}ね：(0, 名)堆积；积累
- * 蓄^{ちくせき}積：(0, 名/他サ)积蓄(资本等)；储蓄(知识、能量等)
- * 生^{せい}命^{めい}：(1, 名)生命
- * 命^{いのち}：(1, 名)生命. [记]. い(いきる→生きる)+のち(後)→活下去→生命
- * 寿^{じゆ}命^{めい}：(0, 名)寿命
- * 息^い吹^ふき：(1, 名)气息
- * 息^{いき}：(1, 名)呼吸，喘气. [记]. い(意)+き(気)→有意识有气力→活着→呼吸
- * 木^きの芽^め起^おこし：(4, 名)唤醒树芽
- * 植^{しょく}物^{ぶつ}：(0, 名)植物
- * 膨^{ふく}らむ：(0, 自五) (里面的东西)膨胀；(欲望、期待、预算)膨胀
[记]. ふ(富)+く(方向)+ら(拉)+む(用力状)→使劲让其富有→鼓起
- * 膨^{ふく}れる：(0, 自下一) (肚子、脸蛋儿、花粉管等)鼓起
[记]. ふく(吹く)+れ(来)+る(留→长)→吹起来→肿胀

- * 催^{さい}花^か雨^う: (3, 名) 催花雨
- * 催促^{さいそく}: (1, 名/他サ) 催促
- * 催^{もよお}す: (3, 0, 他五) 举办
- * 促^{うなが}す: (3, 0, 他五) 促进; 促使; 催促. [记]. うな(うん→用力声)+が(状态)+す(做)→促进
- * 萌^もやす: (2, 他五) 使发芽
- * 萌^もやし: (0, 名) 使发芽; 豆芽
- * 萌^もえる: (0, 自下一) 发芽
- * 若^{わか}芽^め: (2, 0, 1, 名) 嫩芽
- * わかめ: (1, 2, 名) 裙带菜
- * 昆^{こん}布^ぶ: (1, 名) 海带
- * 海藻^{かいそう}: (0, 名) 海藻
- * 海^{うみ}の幸^{さち}: (1, 名) 海味
- * 山^{やま}の幸^{さち}: (2, 名) 山珍
- * 幸^{さいわ}い: (0, 名/形动/副) 幸福; 幸亏. [记]. さい(灾)+わい(完)→灾难完结→幸
- * ラッキー: (1, 名/lucky) 幸运
- * ひと^{あめ}雨: (2, 名) 一场雨

N2 第 20 课 雨水和植物(语法)

しだいにやわらぐ^{ようこう}陽光の下、草木が芽吹き出^{もと くさ き め ぶ だ}すころ。冬^{ふゆ}の間に蓄^{あいた}えていた生命^{たくわ}の息吹^{せいめい}が外^{い ぶ き そと}へ現^{あらわ}れはじめる^{き せつ}季節。

雨水^{う す い}のこの時期^{じ き}に降^ふる雨^{あめ}を、木^きの芽起^{め お}こしといいます。植物^{しょくぶつ}が花^{はな}を咲^さかせる^{たいせつ}ため^{あめ}の大切な雨で、木^きの芽^めが膨^{ふく}らむ^{たす}のを助^{たす}ける^ふように降^ふること^なからその名^なで呼^よばれます。また催花雨^{さい か う}とも木^きの芽萌^{め も}やしとも。植物^{しょくぶつ}にとっ^{あめ}て、ひと雨^{あめ}ごと^{はる}に春^{はる}が来^くるころ。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

雨水指的是在渐渐柔和的阳光下，草木开始发芽的时候。是冬天储备的生命的氣息开始往外出现的季节。

把雨水时期降的雨称作唤醒树芽。这是为了植物开花而下的非常重要的雨，因帮助树上的嫩芽鼓起而得名。此外还叫做催花雨和树芽萌。对于植物来说，在这个时候每下一场雨都意味着春天的来临。

语法

1. 对～来说

～にとって

- * 解释：に(対象)+とって(取る)→对～来说
- * 接续：名词+
- * 特点：翻译的时候必须加上“来说”

1. うちの犬は、^{いぬ}私^{わたし}たちにとって^{かぞくどうぜん}家族同然です。

- * 我们家的狗对我们来说就和家人一样。
- * 同然：^{どうぜん}(0, 名/形动)同样

2. このチームにとって、^{かれ}彼はなくてはならない^{そんざい}存在です。

- * 对这个团队来说，他不可或缺。
- * チーム：(1, 名/team) 团队
- * なくてはならない：不能缺少的
- * 不可欠：^{ふ かけつ}(2, 形动)不可缺少
- * 欠かせない：^か(4, 形)不可缺少的
- * 掛け替えのない：^{か が}(6, 形)不可替代的
- * 存在：^{そんざい}(0, 名/自サ)存在

3. ^{あた}新^ししい^{ごと}仕事^{さが}を探^{ひと}している人にとって、このウェブサイトは役^{やく}に立^たつと思^{おも}います。

* 我觉得对正在找新工作的人来说，这个网站很有用。

* ウェブサイト：(3, 名/web site) 网站

* 役^{やく}に立^たつ：(2+1, 自五) 起作用，有用

* 役^{やく}に立^たてる：(2+2, 他下一) 让～起作用，让～有用

* 役^{やく}立^だつ：(3, 自五) 起作用，有用

* 役^{やく}立^だてる：(4, 他下一) 让～起作用，让～有用

2. 每隔

2.1. 一^{ぶり}ぶり

* 解释：ぶり→ふり→振り→甩

* 意思：事隔～以后再次做～

* 接续：期间+

* 特点：再次做

1. ^{こんかい}今回は^{こうこう}高校^{どうきゅうせい}の同級生^{さんじゅうねん}と三十^{さいかい}年^{さいかい}ぶりの再会^{さいかい}です。

* 这次的聚会是和高中同学时隔 30 年的聚会。

* 高校^{こうこう}：(0, 名) 高中 更多好课加星哥唯一微信36903863

* 同級生^{どうきゅうせい}：(3, 名) 同学

* 再会^{さいかい}：(0, 名/自サ) 再见，再一次见

2. ^{びょうき}病^{かいふく}氣^いが回^い復^いして、一^い年^いぶりに社^{しゃ}会^{かい}復^ふ帰^きができた。

* 病好了，时隔一年又重新回到社会。

* 回^{かい}復^{ふく}：(0, 名/自サ) 恢复

* 社^{しゃ}会^{かい}復^ふ帰^き：(4, 名/自サ) (因为生病或事故经过训练后重新开始社会生活) 重返社会

3. ^{ほっかいどう}北海道^{きゅうねん}には九^い年^きぶりに行^いって来^きました。

* 时隔 9 年又去了北海道。

2.2. 一^{おき}おきに

* 解释：おき→置き→放置

* 意思：事隔～

* 接续：期间+

1. オリンピックは3年おきに開かれる。

オリンピックは4年ごとに開かれる。

オリンピックは4年ぶりに開かれる。

* 奥林匹克每隔 3 年召开。

奥林匹克每 4 年召开。

奥林匹克隔 4 年才召开。

2. 一日おきにごみを出します。

* 每隔一天扔垃圾。

3. 一週間に愛媛県に出張に行つて来ます。

* 每隔一周去爱媛县出差。

* 愛媛県：(3, 名)(四国岛的)爱媛县

* 今治：(0, 名)(四国岛的)爱媛县北部的城市。以生产毛巾而著名。

N2 第 21 课 雨水和植物(课文)

しだいにやわらぐ^{ようこう}陽光の下、草木が芽吹き出^{めぶだ}すころ。冬^{ふゆ}の間に蓄^{あいた}えていた生命^{たくわ}の息吹^{せいめい}が外^{いぶき}へ現^{そと}れはじめる^{あらわ}季節^{きせつ}。

雨水^{うすい}のこの時期^{じき}に降^ふる雨^{あめ}を、木^きの芽起^{めお}こしといいます。植物^{しよくぶつ}が花^{はな}を咲^さかせる^{ため}のため^{たいせつ}の大切な雨^{あめ}で、木^きの芽^めが膨^{ふく}らむ^{たす}のを助^{たす}ける^{よう}ように降^ふること^{こと}からその名^なで呼^よびれます。また催花雨^{さいかう}とも木^きの芽萌^{めも}やしとも。植物^{しよくぶつ}にとっ^{あめ}て、ひと雨^{あめ}ごと^{はる}に春^{はる}が来^くるころ。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

雨水指的是在渐渐柔和的阳光下，草木开始发芽的时候。是冬天储备的生命的氣息开始往外出現的季節。

把雨水时期降的雨称作唤醒树芽。这是为了植物开花而下的非常重要的雨，因帮助树上的嫩芽鼓起而得名。此外还叫做催花雨和树芽萌。对于植物来说，在这个时候每下一场雨都意味着春天的来临。

N2 第 22 课 七夕也叫乞巧节(单词)

乞巧節

きゅうれきしちがつなのか しんれき 旧 暦七月七日は、新暦だとこのあたり。ちゅうごく たなばた 中国では七夕のことを乞巧節といいます。はた お じょう 機織り 上
ず おりひめ 手だった織姫にあやかって、はり し ごと じょうたつ 針仕事が 上 達しますように、いの ひ にほん きゅうれき いわ ち ほう
あり、まつもと たなばた 松本の七夕まつりでは六日の夕方から軒に七夕雛を吊るします。旧 暦で数えれば、たなばた
とっくに つ ゆ あ は よ ぞら あま がわ み ひこぼし おりひめ で あ
とっくに梅雨明け。晴れた夜空に天の川がきれいに見えて、彦星と織姫は出会えているはず。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

乞巧节

阴历 7 月 7 日，如果是阳历的话差不多就是立秋前后。在中国把七夕称为乞巧节。这也是仿效擅长织布的织女祈求针线活进步的日子。日本也有一些地区在阴历庆祝乞巧节，松本的七夕节从 6 日傍晚开始在房檐下悬挂上七夕娃娃。用阴历来算的话，七夕早就过了梅雨季节。晴朗的夜空里银河非常美丽，牛郎和织女应该已经能够相会了。

单词

- * 乞巧節：(3, 名) 乞巧节
- * 旧 暦：(0, 名) 阴历(1873 年 1 月 1 日之前使用)
- * 新暦：(0, 名) 阳历(1873 年 1 月 1 日开始使用)
- * このあたり：(3, 名) 这片儿；这一块地方；这附近
- * 辺り：(1, 名) 周围. [记]. あ(上)+た(て→手)+り(る→长)→把手伸开→大面积地接触→周围
- * 機織り：(3, 4, 名) 织布；织布的人
- * 機：(2, 名) 织布机
- * 織る：(1, 他五) 织
- * 機を織る：(2+1) 用织布机织布
- * 織姫：(2, 0, 名) 织女
- * 牛飼い：(0, 3, 名) 养牛的人；牛郎
- * 彦星：(2, 名) 牵牛星；牛郎
- * 織姫星：(4, 名) 织女星
- * 星：(0, 名) 星星

- * 肖^{あやか}る：(2, 自五)仿效. [记]. あ(上)+や(也→是)+か(加)+る(留→长)→在上面→仿效在自己上面的
- * 崇^{あが}める：(3, 他下一)崇敬，崇拜. [记]. あ(上)+が(状态)+め(目)+る(留→长)→向上看→崇
- * 針^{はり}：(1, 名)针，缝针. [记]. は(哈→发→锋)+り(利)→锋利的东西→针
- * 針^{はり}仕事^{しごと}：(3, 名)针线活，缝纫
- * 上^{じょう}達^{たつ}：(0, 名/自サ)长进
- * 祈^{いの}る：(2, 他五)祈祷. [记]. い(意)+の(な→那→长)+る(留→长)→长时间在意识上→祈祷
- * 祝^{いわ}う：(2, 他五)庆祝，祝贺. [记]. い(意)+わ(哇)+う(ふ→状态)→意识上雀跃→祝贺
- * 願^{ねが}う：(2, 他五)(情)愿，愿(望)；请求，恳求，希望. [记]. ね(ねん→念)+が(状态)+う(ふ→状态)→意念→愿
- * 祈^き願^{がん}：(1, 名/他サ)祈愿
- * 祈^き祷^{とう}：(0, 名/自他サ)祈祷；祈祷仪式
- * 地^ち方^{ほう}：(2, 1, 名)地方，地区，首都以外的地区
- * 松^{まつ}本^{もと}：(0, 名)长野县中部的城市
- * 夕^{ゆう}方^{がた}：(0, 名)傍晚，黄昏
- * 夕^{ゆう}暮^ぐれ：(0, 名)傍晚，黄昏，日暮
- * 黄^{たそがれ}昏^{だれ}：(0, 名)黄昏. [记]. た(他)+そ(其)+が(助词)+れ(誰)→それがだれ？
- * 夕^{ゆう}日^ひ：(0, 名)夕阳
- * 夕^{ゆう}べ：(0, 名/副)昨天晚上
- * 夕^{ゆう}闇^{やみ}：(0, 名)暮色，黄昏
- * 夕^{ゆう}立^{だち}：(0, 名)(夏天傍晚下的)雷阵雨
- * 俄^{にわか}雨^{あめ}：(4, 名)雷阵雨
- * 俄^{にわか}：(1, 形动)骤然；马上. [记]. にわか(いまか)→是现在吗→不确定→动作快
- * 軒^{のき}：(0, 名)屋檐. [记]. の(な→那→长)+き(木)→长木头→屋檐

- * 連^{つら}ねる：(3, 他下一)使排成一行；使列席.[记]. つ(て→手)+ら(拉)+ねる(なる→成る)→拉长→连
- * 軒^{のき}を連^{つら}ねる：(0+3)鳞次^{zh1}栉比
- * 雛^{ひな}：(1, 名)小鸡，小鸭子，小鸟；小姑娘.[记]. ひ(低→小)+な(なる→也→是)
- * 吊^つるす：(0, 他五)悬挂.[记]. つ(刺)+る(留→长)+す(做)→钩上来→吊
- * 吊^つる：(0, 他五)吊.[记]. つ(刺)+る(留→长)→钩上来→吊
- * 攢^つる：(0, 自五)(腿脚)抽筋.[记]. つ(刺)+る(留→长)→刺痛
- * 吊^つり橋^{ばし}：(0, 名)吊桥
- * 計^{けい}算^{さん}：(0, 名/他サ)计算
- * 計^{けい}算^{さん}高^{だか}い：(5, 形)精打细算的，算计的
- * 勘^{かん}定^{じょう}高^{だか}い：(5, 形)精打细算的，算计的
- * 打^だ算^{さん}的^{てき}：(0, 形动)打小算盘的；算计的
- * 損^{そん}得^{とく}：(1, 名)得失
- * 損^{そん}：(1, 名/形动)亏/損^{そん}をする
- * 大^{おお}損^{ぞん}する：(0, 3, 名/自サ)吃大亏
- * 得^{とく}：(0, 名/形动)得到；赚/得^{とく}をする
- * 疾^とつくに：(3, 副)早就
- * 夜^よ空^{ぞら}：(1, 名)夜空
- * 夜^や勤^{きん}：(0, 名)夜班
- * 日^{にっ}勤^{きん}：(0, 名)白班；每天上班
- * 当^{とう}番^{ばん}：(1, 名)值日；值班
- * 非^ひ番^{ばん}：(0, 名)歇班
- * 徹^{てつ}夜^や：(0, 名/自サ)彻夜
- * 夜^や景^{けい}：(0, 名)夜景

* 昼^{ちゅう}夜^や: (1, 名) 昼夜

* 昨^{さく}夜^や: (2, 名/副) 昨天晚上

* 天^{あま}の川^{がわ}: (3, 名) 银河

* 出^で会^あう: (2, 自五) 邂逅, 相遇

* 出^で会^あい: (0, 名) 邂逅, 相遇

* 出^で会^あいサイト: (4, 名) 交友网站

* 巡^{めぐ}り会^あう: (4, 自五) (意外) 邂逅, 相遇

* 出^で会^{くわ}す: (4, 自五) 偶遇

* ばったり会^あう: (3+1, 自五) 偶遇, 碰见

N2 第 23 课 七夕也叫乞巧节(语法)

乞巧節

きゅうれきしちがつなのか しんれき 旧暦七月七日は、新暦だとこのあたり。ちゅうごく たなばた 中国では七夕のことを乞巧節といいます。はた お じょう 機織り上
ず おりひめ 手だった織姫にあやかって、はり し ごと じょうたつ 針仕事が上達しますように、いの ひ にほん きゅうれき いわ ち ほう
あり、まつもと たなばた 松本の七夕まつりでは六日の夕方から軒に七夕雛を吊るします。旧暦で数えれば、たなばた
とっくに つ ゆ あ は よ ぞら あま がわ み ひこぼし おりひめ で あ 梅雨明け。晴れた夜空に天の川がきれいに見えて、彦星と織姫は出会えているはず。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

乞巧节

阴历7月7日，如果是阳历的话差不多就是立秋前后。在中国把七夕称为乞巧节。这也是仿效擅长织布的织女祈求针线活进步的日子。日本也有一些地区在阴历庆祝乞巧节，松本的七夕节从6日傍晚开始在房檐下悬挂上七夕娃娃。用阴历来算的话，七夕早就过了梅雨季节。晴朗的夜空里银河非常美丽，牛郎和织女应该已经能够相会了。

语法

1. 正式的命令

～こと。

- * 解释：言→文言文→正式
- * 接续：句子+
- * 特点：正式的命令

1. レポートを月末までに提出すること。

- * (请把)小论文在月底前提交。
- * レポート：(2, 名/report)研究调查的报告；小论文
- * 月末：(0, 名)月底
- * 月の初め：(0, 名)月初
- * 提出：(0, 名/他サ)提交

2. 廊下を走らないこと。

- * 不要在走廊里跑。
- * 廊下：(0, 名)走廊
- * 走る：(2, 自五)跑；行使，奔驰；走(极端)；文笔流畅.[记]. は(哈→吐)+し(显)+る(留→长)→使劲吐气→跑

3. 健康的に^{けんこうてき}痩^やせるためには、薬^{くすり}を飲^のんだり食^{しょくじ}事を抜^ぬいたりするより、まずよく体^{からだ}を動^{うご}かすことだ。

* 为了健康地减肥，比起吃药或是不吃饭，首先要运动。

* 健康的^{けんこうてき}：(0, 形动) 健康的

* 瘦^やせる：(0, 自下一) 瘦. [记]. や(咿呀学语→小)+せ(瑟→轻)+る(留→长)→又小又轻→瘦小

* 抜^ぬく：(0, 自他五) 拔掉，除掉；省略；超过；(干)到底. [记]. ぬ(な→無)+く(方向)→拔掉

* 抜^ぬける：(0, 自下一) 脱落；漏掉；气力全无；溜走. [记]. ぬ(な→無)+け(开)+る(留→长)→脱落

* 体^{からだ}：(0, 名) 身体

* 動^{うご}かす：(3, 他五) 让～动，让～运转. [记]. う(宇 yu→羽 yu)+ご(过)+か(加)+す(做)→让羽毛摆动→让～动

* 動^{うご}く：(2, 自五) 动，(移)动，(摇)动. [记]. う(宇 yu→羽 yu)+ご(过)+く(方向)→羽毛摆动→动

* 動^{うご}き：(0, 名) 动作

2. 祈祷或祝福用语

～ますように

* 解释：ように→为了

* 特点：后面省略了“祝福、祈祷、祈愿”等动词

* 接续：动词的简体+/动词的敬体+(正式的口语)

1. ゆうきちゃんが^{いちばん}一番でありますように。

* 祈求ゆうきちゃん得第一名。

2. うまくいきますように。

* 祈求能顺利。

3. うまく^{あい}愛^{そら}せるようにと、あ^{いの}の空に祈っている。

* 我对着天空祈愿能好好爱你。

* 空^{そら}：(1, 名) 天空

4. 「マティちゃん^{どうせだい}と同^{ひとびと}世代^{へいわ}の人々が、平^く和^くで暮^{いわ}らせますように」と、お祝^{ことば}いの言^{おこ}葉^くを贈^くった。

* 送上贺词——“希望马迪和他的同辈人能和平地生活”。

* 同世代^{どうせだい}：(3, 名) 同辈

- * 世代：^{せだい}(1, 名)世代；一代
- * 平和：^{へいわ}(0, 名/形动)和平
- * 暮らす：^く(0, 他五)度日，过日子，生活
- * 暮らし：^く(0, 名)生活
- * 贈る：^{おく}(0, 他五)贈，赠送

5. この一年が^{いちねん}たくさんの^{こうふく}幸福と^{かのうせい}可能性に^み満ちた^{ひび}日々でありますように。

- * 祝福你在这一年里每天都充满幸福和无限的可能性。
- * 幸福：^{こうふく}(0, 名/形动)幸福
- * 可能性：^{かのうせい}(0, 名)可能形
- * 満ちる：^み(2, 自上一)満，充满；圆.[记]. み(身)+ち(齐)+る(留→长)→东西齐→満
- * 満たす：^み(2, 他五)使満足；填满.[记]. み(身)+た(多)+す(做)→东西多→使充满
- * 日々：^{ひび}(1, 名)每天，每日

N2 第 24 课 七夕也叫乞巧节(课文)

乞巧節

きゅうれきしちがつなの か しんれき ちゅうごく たなばた きっこうせつ はた お じょう
旧 暦七月七日は、新暦だとこのあたり。中国では七夕のことを乞巧節といいます。機織り 上
ず だった おりひめ はり し ごと じょうたつ いの ひ にほん きゅうれき いわ ち ほう
手 だった 織姫にあやかって、針仕事 が 上 達 し ます ように、と祈る日。日本でも 旧 暦で祝う地方も
あり、松本の七夕まつりでは六日の夕方から軒に七夕雛を吊るします。旧 暦で数えれば、七夕は
とっくに梅雨明け。晴れた 夜空に天の川がきれいに 見えて、彦星と織姫は出会 えている はず。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

乞巧节

阴历 7 月 7 日，如果是阳历的话差不多就是立秋前后。在中国把七夕称为乞巧节。这也是仿效擅长织布的织女祈求针线活进步的日子。日本也有一些地区在阴历庆祝乞巧节，松本的七夕节从 6 日傍晚开始在房檐下悬挂上七夕娃娃。用阴历来算的话，七夕早就过了梅雨季节。晴朗的夜空里银河非常美丽，牛郎和织女应该已经能够相会了。

N2 第 25 课 水果的家庭消费差异(单词)

最近、果物の消費が伸びていません。そこで、果物の年間購入金額を調べてみました。一人あたりの購入が最も多いのは世帯主が65歳以上の家庭で、最も少ないのは世帯主が24歳以下の家庭でした。金額にすると、前者は23,494円、後者は5,036円と、約4.7倍も差が開いています。

果物の「敵」は、お菓子だとよく言われています。やはり、菓子類でも購入金額が最も多いのは世帯主が65歳以上で29,117円、少ないのは24歳以下で20,199円となっています。ところが、果物と菓子類とでは、やや違った傾向が見られます。いずれの年齢の世帯主の家庭では、果物より菓子類の購入金額の方が多いのですが、年齢が上になるほど、この差は小さくなっていきます。これは、果物の購入を伸ばすためには、若い家庭に対する宣伝がもっと必要だということです。

最近水果的消费量没有上涨。因此，我们调查了水果在一年内的购买金额。平均一个人购买量最多的是户主年龄在65岁以上的家庭，最少的是户主年龄在24岁以下的家庭。换算成金额的话，前者是23494日元，后者是5036日元，大约有4.7倍的差。

经常说水果的敌人是点心。即便是点心类食品，购买金额最多的还是户主年龄在65岁以上的家庭，总计29117日元，最少的还是24岁以下，合计20199日元。但是，水果和点心类食品的购买量显示了稍微不同的倾向。无论哪个年龄的户主的家庭，点心类的购买金额超过了水果。年龄越大，这个差别就越小。这说明，为了提高水果的购买量，更有必要向年轻的家庭进行宣传。

单词

- * 果物：(2, 名) 水果。[记]. く (方向)+だ (达→达到→下落)→下落+物→水果成熟后从树上落下
- * 消費：(0, 名/他サ) 消费
- * 伸びる/延びる：(2, 自上一) 伸展，伸长，(头发等) 长长，(个子) 长高，(业绩、能力) 提高；(日期)
- 延长；(面条) 坨。[记]. の (な→那→长)+び (ば→把)+る (留→长)→伸长
- * 伸ばす/延ばす：(2, 他五) 伸长；伸展(身体)；延长(日期)。[记]. の (な→那→长)+ば (把)+す (做)→把它伸长
- * そこで：(0, 接续) (语气正式) 因此
- * それで：(0, 接续) (语气柔和) 因此，所以
- * そのため：(0, 接续) (语气正式) 因此
- * それによって：(0, 接续) (语气正式) 因此，由于这个

- * それゆえ：(0, 3, 接续) (语气正式) 因此，由于这个
- * 故：^{ゆえ}(2, 名) 缘故. [记]. ゆ(由)+え(挨→方向→于)→由于
- * 所以：^{ゆえん}(0, 名) 缘故，理由
- * 年間：^{ねんかん}(0, 副/名) 一年里
- * 購入：^{こうにゅう}(0, 名/他サ) 购买
- * 金額：^{きんがく}(0, 名) 金额
- * 調べる：^{しら}(3, 他下一) 调查
- * 調査：^{ちょうさ}(1, 名/他サ) 调查
- * 世帯：^{せたい}(1, 名) 家，家庭
- * 世代：^{せだい}(1, 名) 一代
- * 世帯主：^{せたいぬし}(2, 名) 户主
- * 飼い主：^{かぬし}(2, 1, 名) 饲养的主人
- * 持ち主：^{もぬし}(2, 名) 拥有的人
- * 家庭：^{かてい}(0, 名) 家庭
- * 過程：^{かてい}(0, 名) 过程
- * プロセス：(2, 名/process) 过程
- * 前者：^{ぜんしゃ}(1, 名) 前者
- * 後者：^{こうしゃ}(1, 名) 后者
- * 差：^さ(1, 名) 差，差异，差别
- * 差がつく：^さ(1+2, 自五) 有差别
- * 差が開く：^{さ ひら}(1+2, 自五) 拉开差距
- * 差異：^{さいい}(1, 名) 差异
- * 差別：^{さべつ}(1, 名) 差别(用于符合名词)；歧视
- * 格差：^{かくさ}(0, 名) 差距
- * ギャップ：(0, 1, 名/gap) 差异，差距，隔阂

- * 違い^{ちが}: (0, 名) (性质、内容等) 不同
- * ずれ: (2, 名) (距离等) 不同, 分歧
- * 相違^{そう い}: (0, 名/自サ) 互相不同
- * 食い違い^{く ちが}: (0, 名) 分歧, 不一致
- * 食い違う^{く ちが}: (0, 4, 自五) (意见、主张、想法、说法等) 相互不一致. [记]. 食い(咬合)+違う(不同)
→不一致
- * 不一致^{ふ いっ ち}: (2, 名) 不一致
- * 一致^{いっ ち}: (0, 名/自サ) 一致
- * 敵^{てき}: (0, 名) 敌人
- * 仇^{あだ}: (2, 名) 仇敌, 仇人, 仇恨
- * 敵/仇^{かたき かたき}: (3, 名) 仇人, 敌人; 对手
- * 味方^{み かた}: (0, 名) 我方, 伙伴, 同伙
- * 甘やかす^{あま}: (0, 4, 他五) 娇惯, 纵容, 放任. [记]. あま(甜)+や(养→给)+か(加)+す(做)→给甜头→娇惯
- * 甘える^{あま}: (0, 自下一) 撒娇, 耍赖, 不客气. [记]. あま(甜)+え(へ→方向)+る(留→长)→撒娇
- * 甘い^{あま}: (0, 形) 甜的; 幼稚的; 放任不管的. [记]. あまい(うまい→好吃的)→甜的
- * 甘味^{かん み}: (1, 名) 甜味; 甜品; 妙处, 妙趣 更多好课加星哥唯一微信36903863
- * 醍醐味^{だい ご み}: (3, 0, 名) 妙处, 妙趣; 乐趣
- * 菓子類^{か し る い}: (2, 名) 点心类
- * 種類^{しゅるい}: (1, 名) 种类
- * 類^{たぐい}: (0, 3, 名) 类; 种类. [记]. た(多)+ぐ(归)+い(一)→很多的归为一个→类
- * ところが: (3, 接续) 但是. [记]. ところ(地方)+が(助词, 但是)
- * ところで: (3, 接续) (大的) 转移话题. [记]. ところ(地方)+で(まで→到)→到这儿→开始新的
- * けど: (1, 接续) (口语/简体) 但是
- * ですが: (1, 接续) (口语/敬体) 但是
- * だが: (1, 接续) (正式) 但是
- * しかし: (2, 接续) 可是. [记]. し(死→强烈→强)+か(加)+し(像)→加强→可
- * しかしながら: (4, 接续) (语气正式) 可是
- * それにしても: (3, 接续) 转移话题; 即便如此(不认可前者)

- * それにしては：(3, 接续)即便如此(认可前者，但是还是否定). [记]. は(对比性强调→前后各占百分之五十)
- * それでいて：(0, 接续)虽然如此(认可前者，但是转移成新话题). [记]. て(逗号)
- * しかも：(2, 接续)而且
- * 且^かつ：(1, 接续)并且. [记]. か(加)+つ(次)→加一次→且
- * やや：(1, 副)稍微，一些. [记]. や(咿呀学语→小)+や(咿呀学语→小)→稍微
- * ややこしい：(4, 形)繁杂的，复杂的；(事、人)麻烦的. [记]. や(小)+や(小)+こ(小)+し(像)→全是小的→杂
- * 傾向^{けいこう}：(0, 名)倾向
- * 嫌^{きら}い：(0, 名)(不好的)倾向
- * 宣伝^{せんでん}：(0, 名/他サ)宣传

N2 第 26 课 水果的家庭消费差异(语法)

さいきん くだもの しょうひ の 最近、果物の消費が伸びていません。そこで、果物の年間購入金額を調べてみました。ひとり
あ こうにゆう もっと おお せたいぬし ろくじゅうごさいいじょう かてい もっと すく せたいぬし にじゅうよん
当たりの購入が最も多いのは世帯主が65歳以上の家庭で、最も少ないのは世帯主が24
さいい か かてい きんがく ぜんしや にまんさんぜん よんひやくきゅうじゅうよんえん こうしや ごせん さんじゅうろくえん
歳以下の家庭でした。金額にすると、前者は23,494円、後者は5,036円と、
やくよんてん ななばい さ ひら
約4.7倍も差が開いています。

くだもの てき か し い 果物の「敵」は、お菓子だとよく言われています。やはり、菓子類でも購入金額が最も多いの
せたいぬし ろくじゅうごさいいじょう にまんきゅうせん ひやくじゅうななえん すく にじゅうよんさいい か にまん ひやくきゅうじゅうきゅうえん
は世帯主が65歳以上で29,117円、少ないのは24歳以下で20,199円
となっています。ところが、果物と菓子類とでは、やや違った傾向が見られます。いずれの年齢の
せたいぬし かてい くだもの か し ろい こうにゆうきんがく ほう おお ねんれい うえ
世帯主の家庭では、果物より菓子類の購入金額の方が多いのですが、年齢が上になるほど、この
さ ちい くだもの こうにゆう の わか かてい たい せんてん
差は小さくなっていきます。これは、果物の購入を伸ばすためには、若い家庭に対する宣伝がも
つと必要だということでしょう。

最近水果的消费量没有上涨。因此，我们调查了水果在一年内的购买金额。平均一个人购买量最多的是户主年龄在65岁以上的家庭，最少的是户主年龄在24岁以下的家庭。换算成金额的话，前者是23494日元，后者是5036日元，大约有4.7倍的差。

经常说水果的敌人是点心。即便是点心类食品，购买金额最多的还是户主年龄在65岁以上的家庭，总计29117日元，最少的还是24岁以下，合计20199日元。但是，水果和点心类食品的购买量显示了稍微不同的倾向。无论哪个年龄的户主的家庭，点心类的购买金额超过了水果。年龄越大，这个差别就越小。这说明，为了提高水果的购买量，更有必要向年轻的家庭进行宣传。

语法

1. (平均)每

—あたり

- * 解释：当たり→相当(于)
- * 接续：数量词
- * 特点：平均

しゃかい ほしょう じゅうじつ のぞ い じょう しかく ひと あ ふ たん おも かく ごと
1. 社会保障の充実を望む以上、それだけ国民一人当たりの負担も重くなるのを、覚悟しなければ
ならない。

* 既然希望充实社会保障，那么每个国民就必须做好负担加重的精神准备。

しゃかい ほ しょう
* 社会保 障：(4, 名)社会保障

ほ しょう
* 保 障：(0, 名/他サ)保障

* 充^{じゅう}実^{じつ}: (0, 名/自サ) 充实

* 望^{のぞ}む: (0, 2, 他五) 希望, 期望. [记]. の (な→那→长)+そ (其)+浊音 (拖泥带水→有关)+む (关闭)→从远处跟它有关→望

* それだけ: (0, 副) 与此相等, 与此相符合

* 国^{こく}民^{みん}: (0, 名) 国民

* 覚^{かく}悟^ご: (1, 2, 名/自他サ) (迎接困难或危险而做的) 心里准备

* 自^じ覚^{かく}: (0, 名/自他サ) 自己知道

2. 一^{いっ}回^{かい}当^あたり、1 0 % の税^{じゅう}金^{パーセント}が^{ぜい}か^{きん}かり^{ます}ます。

* 平均每次要交百分之十的税。

* パーセント: (1, 名/percent) 百分比

* 税^{ぜい}金^{きん}: (0, 名) 税, 税款

3. 老^{ろう}後^ごの生^{せい}活^{かつ}費^ひは1 ヶ月^{いっ}あ^かた^{げつ}りどのく^らいか^かる^のので^しょう^か?

* 老后的生活费平均每月多少钱?

* 老^{ろう}後^ご: (0, 名) 老后

* 生^{せい}活^{かつ}費^ひ: (4, 名) 生活费

2. 每

〜につき

* 解^と释^り: に (方向)+付^つき (附着)

* 接^つ续^ぎ: 数量词+

* 特^{とく}点^{てん}: 附着于

1. 一^{いっ}泊^{ぱく}につ^いき一^{いっ}回^{かい}の朝^{ちょう}食^{しょく}が^ある。

* 住一晚就有一次早餐。

* 一^{いっ}泊^{ぱく}: (0, 数量) 一晚

* 一^{いっ}回^{かい}: (0, 数量) 一次

* 朝^{ちょう}食^{しょく}: (0, 名) 早饭

2. ご試^し着^{ちゃく}は一^{いっ}回^{かい}につ^きき3 点^{さん}ま^でです。

* 一次只能试穿 3 件以内。

* 試着^{しちやく}：(0, 名/他サ)试穿

* 3 点^{さんてん}：(1, 数量)三件

3. お届け先一箇所につき税抜一万円以上のお買い上げで送料無料です。

* 购买金额在不含税 1 万日元以上的情况下，一个收货地址免一次邮费。

* 届け先^{とど さき}：(0, 名)收货地址

* 一箇所^{いっ かしょ}：(3, 数量)一个地方

* 税抜^{ぜいぬき}：(0, 名)不含税

* お買い上げ^{か あ}：(0, 名)(尊他)购买

* 送料^{そうりょう}：(1, 名)邮费

* 無料^{むりょう}：(0, 名)免费

3. 在～之际/在负责～方面

～にあたって/～にあたり

* 解释：に(方向)+当^あたって(大面积地接触)

* 意思：1. 在～之际
2. 在负责～方面

* 接续：名词/动词的基本型简体+

* 语气：にあたって(柔和)、にあたり(正式)

1. 卒業にあたっての今の気持ちは、なんだか四年前と少し似ているような気がします。

* 在毕业之际，我现在的心情感觉和四年前有些相似。

* 卒業^{そつぎょう}：(0, 名/自サ)毕业

* 気持ち^{きも}：(0, 名)心情

* なんだか：(1, 副)不知道为什么却总是

* 四年前^{よ ねんまえ}：(4, 名)4 年前

* 似ている^に：(0, 自上一)(用现在进行时表示状态)相似

* 気がする^き：(0)(由内而发)感觉

* 感じがする^{かん}：(0)(外界带来)感觉

2. 開会にあたり校長として一言ご挨拶申し上げます。

* 在开会之际，(我)作为校长献上一句贺词。

* 開会：(0, 名/自他サ)会议开始

* 校長：(0, 名)(小学/中学)校长

* 一言：(2, 名/副)一句话

* 申し上げる：(5, 他下一)(自谦)呈上

3. 発電所の建設にあたって、地元の住民との話し合いが持たれた。

* 关于负责发电站的建设方面，我们和当地居民进行了协商。

* 発電所：(0, 名)发电所，发电站

* 建設：(0, 名/他サ)建设

* 地元：(0, 3, 名)当地

* 住民：(0, 3, 名)居民

* 話し合い：(0, 名)互相对话，协商，商谈

4. 就～进行

～について

* 解释：に(方向)+就いて(就)

* 意思：就～进行～

* 接续：名词+

1. ゼミで将来の夢について発表することになった。

* 讨论会将围绕将来的梦想这一主题进行发表。

* ゼミ：(1, 名)(ゼミナール/seminar 的简称)研讨会，讨论会

* 将来：(1, 名)将来

* 夢：(2, 名)梦；梦想

* 発表：(0, 名/他サ)发表

2. 日本語を外国人に教えてみると、彼らから日本語について教えられ考えさせられることがよくある。

* 在教外国人日语时，在日语方面他们经常教我很多东西，使我备受启发。

3. ^{けんきゅうかつどう}研究活動^{ふ せいこう い}の不正行為^{たいおう}への対応^よについてのガイドラインを読みました。

* 我读了有关如何应对研究活动中的不良行为的指南。

* ^{けんきゅうかつどう}研究活動：(5, 名)研究活动

* ^{ふ せいこう い}不正行為：(4, 名)不正当行为

* ^{たいおう}対応：(0, 名/自サ)应对

* ガイドライン：(4, 名/guideline)指南

* ^{まご び}孫引き：(0, 名/他サ)剽窃

N2 第 27 课 水果的家庭消费差异(课文)

さいきん くだもの しょうひ の 最近、果物の消費が伸びていません。そこで、果物の年間購入金額を調べてみました。ひとり
あ 当たりの購入が最も多いのは世帯主が 6 5 歳以上の家庭で、最も少ないのは世帯主が 2 4
さい い か かてい きのく ぜんしや にまんさんぜん よんひやくきゅうじゅうよんえん こうしや ごせん さんじゅうろくえん
歳以下の家庭でした。金額にすると、前者は 2 3 , 4 9 4 円、後者は 5 , 0 3 6 円と、
やくよんてん ななばい さ ひら
約 4 . 7 倍も差が開いています。

くだもの てき か し い 果物の「敵」は、お菓子だとよく言われています。やはり、菓子類でも購入金額が最も多いの
せ たいぬし ろくじゅうごさいいじょう にまんきゅうせん ひやくじゅうななえん すく にじゅうよんさい い か にまん ひやくきゅうじゅうきゅうえん
は世帯主が 6 5 歳以上で 2 9 , 1 1 7 円、少ないのは 2 4 歳以下で 2 0 , 1 9 9 円
となっています。ところが、果物と菓子類とでは、やや違った傾向が見られます。いずれの年齢の
せ たいぬし かてい くだもの か し りい こうにゅうきんがく ほう おお ねんれい うえ
世帯主の家庭では、果物より菓子類の購入金額の方が多いのですが、年齢が上になるほど、この
さ ちい くだもの こうにゅう の 差は小さくなっていきます。これは、果物の購入を伸ばすためには、若い家庭に対する宣伝がも
つと必要だということでしょう。

最近水果的消费量没有上涨。因此，我们调查了水果在一年内的购买金额。平均一个人购买量最多的是户主年龄在 65 岁以上的家庭，最少的是户主年龄在 24 岁以下的家庭。换算成金额的话，前者是 23494 日元，后者是 5036 日元，大约有 4.7 倍的差。

经常说水果的敌人是点心。即便是点心类食品，购买金额最多的还是户主年龄在 65 岁以上的家庭，总计 29117 日元，最少的还是 24 岁以下，合计 20199 日元。但是，水果和点心类食品的购买量显示了稍微不同的倾向。无论哪个年龄的户主的家庭，点心类的购买金额超过了水果。年龄越大，这个差别就越小。这说明，为了提高水果的购买量，更有必要向年轻的家庭进行宣传。

N2 第 28 课 平安时代的贵族颜色(单词)

藤色

あか あお むらさき ふじいろ へいあん じ だい きゅうていじょかん きんだい にほん
明るい青みのある 紫 である藤色は、平安時代の 宮 廷女官から近代のモダンガールまで、日本
じんじょせい あい いろ あおふじいろ うすふじいろ しらふじいろ
人女性がもっとも愛してきた色といってもいいでしょう。「青藤色」「薄藤色」「白藤色」などをは
じめとするバリエーションの豊かさが、それを物語ります。平安時代に 隆 盛を極めた藤原氏の「藤」
つう こう き いろ まくらのそう し むらさき そ わ し うた よ
に通じることからも、高貴な色とされました。『枕 草子』には、紫 に染めた和紙に歌を詠み、
フジの花に結んで届ける、なんともロマンチックな恋文も登場 します。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

藤色

藤色是带有明亮的发青的紫色，从平安时代的宫廷女官到现代的摩登女郎，可以说藤色是日本女性一直以来最喜爱的颜色。“青藤色”“淡藤色”“白藤色”，从它（词汇）的多样化就能得知。藤色因为带有平安时代极其兴隆昌盛的藤原氏“藤”，所以被视为高贵的颜色。《枕草子》里出现了非常浪漫的情书：在染着紫色的和纸上咏唱和歌，然后系在紫藤花上送出去。

单词

- * 藤色：(0, 名) 紫藤色，淡紫色
- * 藤：(0, 名) 紫藤。[记]. ふ(峰)+じ(近)→接近巅峰→藤是往上长的植物
- * 藤：(1, 0, 名) 藤
- * ラタン：(1, 名/rattan) 藤, 藤条
- * 宮 廷：(0, 名) 宫廷
- * 宮 中：(1, 0, 名) 宫中
- * 宮内 庁：(2, 名) 宫内厅。总理府的外局之一。负责有关皇室关系的国家事物及天皇的国事活动。
- * 女官：(0, 名) 女官。宫中的女性官员。还可以念成：によかん、にようかん。
- * 近代：(1, 名) 近代，现代
- * モダンガール：(4, 名/和制词/modern+girl) 摩登女郎
- * 女性：(0, 名) 女性
- * 女神：(1, 名) 女神
- * バリエーション：(3, 名/variation) 变化
- * 豊かさ：(0, 名) 丰富

- * 豊富ほうふ: (0, 1, 名/形动) 丰富
- * 富むと: (1, 自五) 富, 丰富, 富裕. [记]. と (太)+む (闷) → 多
- * 富とみ: (1, 名) 财富
- * 物語ものがたる: (4, 他五) 讲述 (故事)
- * 語かたる: (0, 他五) 讲, 说, 谈
- * 述のべる: (2, 他下一) (叙, 阐) 述. [记]. の (な→那→长)+べ (边)+る (留→长) → 述
- * 物語ものがたり: (3, 名) 故事
- * おとぎ話ぼなし: (4, 名) 童话
- * 隆盛りゅうせい: (0, 名/形动) 隆盛
- * 極きわめる: (3, 他下一) 达到极限, 达到顶峰. [记]. き (切る)+わ (完)+める (む→闷) → 极
- * 究きわめる: (3, 他下一) 研究 (学问)
- * 極きわめて: (2, 副) 极其
- * 藤原氏ふじわらし: (4, 名) 日本氏族之一。姓朝臣, 简称藤氏。1200 年以上都是朝廷官吏中的一大势力。
- * 通つうじる: (0, 自上一) 通, 通往, 通顺
- * 通つうじあ合う: (4, 自五) 相通
- * 高貴こうき: (1, 名/形动) 高贵
- * 気高けだかい: (3, 形) 高尚的, 高雅的, 高贵的
- * 気品きひん: (0, 名) (从艺术作品及人类的相貌姿态感受到的崇高的美) 优雅, 典雅, 风度, 气派
- * 品ひん: (0, 名) 品
- * 『枕草子まくらのそうし』: (5) 平安时代中期清少纳言的随笔
- * 清少納言せいしょうなごん: (5) 平安时代中期的女作家和歌人。清是父亲的姓氏清原, 少纳言是父亲曾经的官职。
- * 和紙わし: (1, 名) 日本纸, 和纸。
- * 結ぶむす: (0, 自他五) 使结合, 使连接在一起. [记]. む (闷)+す (する→做)+ぶ (并列) → 结合

- * 結び^{むす}付^つく：(4, 他五) 结成一个；使有关联
- * 結び^{むす}付^つき：(0, 名) 关联
- * 繋^{つな}がる：(0, 自五) 连接，相关
- * 繋^{つな}がり：(0, 名) 关联，连接
- * 繋^{つな}げる：(0, 他下一) 连接(在一起成为一条长线)；系，拴；连接. [记]. 綱(粗绳子)+げ(给)+る(留→长)→给绳子→连接
- * 繋^{つな}ぐ：(0, 他五) 拉手；接(电话、线)；维系(希望)；(与信用)有关
- * 綱^{つな}：(2, 名) 粗绳子，绳索；命脉，依靠. [记]. つ(強い)+な(長い)→很强很长→粗绳子
- * 絆^{きずな}：(0, 名) 纽带
- * 縄^{なわ}：(2, 名) 绳子. [记]. な(那→长)+わ(弯→圆)→长的圆东西→绳子
- * ロープ：(1, 名/rope) 绳子，绳索
- * ロープウエー：(4, 名/ropeway) 缆车
- * 紐^{ひも}：(0, 名) 带子，细的绳子. [记]. ひ(ひく→引く)+も(もの→物)→拉的东西
- * 糸^{いと}：(1, 名) 线，弦. [记]. い(一→小)+と(通)→一条通过(布)的东西→线
- * 針^{はり}：(1, 名) 针
- * 結納^{ゆいのう}：(0, 名) 彩礼，定亲礼
- * なんとも：(1, 副) 简直
- * ロマンチック：(4, 形动/romantic) 浪漫的
- * 恋文^{こいぶみ}：(0, 名) 情书
- * ラブレター：(3, 名/love letter) 情书
- * 文^{ふみ}：(1, 名) 信，文件，文书，汉诗，学问
- * 筆^{ふで}：(0, 名) 笔，毛笔，笔记. [记]. ふ(ふみ→文)+て(手)+浊音(拖泥带水→有关)→放在手上写文章的用具→笔
- * 登^{とうじょう}場：(0, 名/自サ) 登场

N2 第 29 课 平安时代的贵族颜色(语法)

藤色

あか あお むらさき ふじいろ へいあん じ だい きゅうていじょかん きんたい にほん
明るい青みのある 紫 である藤色は、平安時代の 宮 廷女官から近代のモダンガールまで、日本
じんじょせい
人女性がもっとも愛してきた色といってもいいでしょう。「青藤色」「薄藤色」「白藤色」などをは
じめとするバリエーションの豊かさが、それを物語ります。へいあん じ だい りゅうせい きわ ふじわら し ふじ
平安時代に 隆 盛を極めた藤原氏の「藤」
つう
に通じることからも、こう き いろ
高貴な色とされました。『 枕 草子』には、むらさき そ わ し うた よ
紫 に染めた和紙に歌を詠み、
ふじのはな むす とど
フジの花に結んで届ける、なんともロマンチックな恋文も登場 します。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

藤色

藤色是带有明亮的发青的紫色，从平安时代的宫廷女官到现代的摩登女郎，可以说藤色是日本女性一直以来最喜爱的颜色。“青藤色”“淡藤色”“白藤色”，从它（词汇）的多样化就能得知。藤色因为带有平安时代极其兴隆昌盛的藤原氏“藤”，所以被视为高贵的颜色。《枕草子》里出现了非常浪漫的情书：在染着紫色的和纸上咏唱和歌，然后系在紫藤花上送出去。

语法

1. 极其～

1.1 ～極まる～

* 特点：名词/形容词 + 極まる + 名词

1. その話は他の人には面白くても、私には退屈極まるものだった。

* 那件事对别人有意思，但是对我来说却极其无聊。

* 退屈：(0, 名/形动/自サ) 无聊；感到无聊

2. 無責任極まる発言は、人にどれだけ迷惑をかけることになるか、知っておく必要がある。

* 必须要知道极其不负责任的话会给别人造成很多麻烦。

* 無責任：(2, 名/形动) 不负责任

* 発言：(0, 名/他サ) 发言

* どれだけ：(1, 0, 副) 多少；多么 どんなに→どれほど→どれだけ

3. 残念極まる経験だった。

* 那是个极其遗憾的经历。

- * 残念：^{ざんねん} (3, 形动) 遗憾
- * 無念：^{むねん} (1, 0, 名/形动) 万念俱灰；懊悔，遗憾
- * 遺憾：^{い かん} (0, 1, 名/形动) 遗憾
- * 経験：^{けいけん} (0, 名/他サ) 经验；经历

1.2 ～^{きわ}極まりない。

- * 特点：名词/形容词 + ^{きわ}極まりない。(用于句尾)

1. 人^{ひと}のタバコの煙^{けむり}を吸^すわされるのは、迷惑^{めいわく}極まりない。

- * 被动吸烟，真是太烦人了。
- * 煙：^{けむり} (0, 名) 烟. [记]. け(き→氣)+む(闷)+り(る→留→长)→气闷→烟多→烟
- * 煙たい：^{けむ} (3, 0, 形) 呛的. [记]. け(氣)+む(闷)+た(太)→气太闷
- * 吸^すわされる：^す (4, 他下一) 使役被动式。是吸^すわせられる的简化。
- * 迷惑：^{めいわく} (1, 名/形动/自サ) 麻烦；为难；被添麻烦

2. 人^{ひと}のことをいちいち 評^{ひょう}価^かするのは失礼^{しつれい}極まりない。

- * 总是对别人品头论足实在是非常失礼。
- * いちいち：(2, 副) 一一，逐一
- * 評^{ひょう}価^か：^{ひょう か} (1, 名/他サ) 评价；好评
- * 失礼：^{しつれい} (2, 名/形动/自他サ) 失礼；告辞

3. 理^り不^ふ尽^{じん}極まりない。

- * 太不讲理。荒谬绝伦。
- * 理不^{り ふ じん}尽：^{り ふ じん} (2, 名/形动) 不讲理

1.3 ～の^{きわ}極み

- * 特点：名词 + の + ^{きわ}極み

1. 世界的に有名な俳優と握手できたなんて、感激の極みです。

* 能和世界著名演员握手，（我）实在是激动。

* 世界的：（0, 形动）世界性的

* 俳優：（0, 名）演员

* 握手：（1, 名/自サ）握手

* 感激：（0, 名/自サ）激动

2. 当時の贅沢の極みを尽くした暮らしぶりを伺える。

* （从中）能够看到当时极尽奢华的生活状态。

* 当時：（1, 名/副）当时

* 贅沢：（3, 4, 名/形动）奢侈，过分

* 尽くす：（2, 他五）尽（全力等）；（为～而）付出。[记]. つく（着く→到头）+す（做）→尽

* 尽きる：（2, 自上一）尽，终结

* 暮らしぶり：（0, 名）生活状态

* 伺う：（0, 4, 他五）问，打听；伺机。[记]. うかが（我看看）+う（ふ→風→状态）→伺机

3. 好きなことを職業にするのは幸せの極みです。

* 把喜欢的事情当作职业，实在是幸福。

* 職業：（2, 名）职业

N2 第 30 课 平安时代的贵族颜色(课文)

藤色

あか あお みるい 青 ^{あお} ^{みるい} ^{ある} 紫 ^{むらさき} ^{である} 藤色 ^{ふじいろ} ^は、平安時代の ^{へいあん} ^じ ^{だい} 宮 廷女官から近代のモダンガールまで、日本 ^に ^{ほん} 人女性 ^{じんじょせい} ^が もっとも愛 ^{あい} して ^{いろ} きた 色 といってもいいでしょう。「青藤色」^{あおふじいろ} 「薄藤色」^{うすふじいろ} 「白藤色」^{しらふじいろ} など ^を ^は じめとするバリエーションの豊 ^{ゆた} かさが ^が、それを物語 ^{ものがた} ります。平安時代 ^{へいあん} ^じ ^{だい} に 隆 盛 ^{りゅうせい} ^を ^{きわ} 極めた藤原氏の「藤」^{ふじ} に通 ^{つう} じること ^{から} も、高貴 ^{こうき} な色 ^{いろ} と ^ま されました。『枕 草子』には、紫 ^{むらさき} ^に 染めた和紙 ^{わし} ^に 歌 ^{うた} を詠 ^よ み、
フジの花 ^{はな} ^に 結 ^{むす} んで届 ^{とど} ける、なんともロマンチックな恋文 ^{こいぶみ} も登 場 ^{とうじょう} します。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

藤色

藤色是带有明亮的发青的紫色，从平安时代的宫廷女官到现代的摩登女郎，可以说藤色是日本女性一直以来最喜爱的颜色。“青藤色”“淡藤色”“白藤色”，从它（词汇）的多样化就能得知。藤色因为带有平安时代极其兴隆昌盛的藤原氏“藤”，所以被视为高贵的颜色。《枕草子》里出现了非常浪漫的情书：在染着紫色的和纸上咏唱和歌，然后系在紫藤花上送出去。

N2 第 31 课 一封书信(单词)

寒い日が続いてありますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はいたいへんお世話になりました。ありがとうございます。あれから京都、奈良をまわり、昨晚帰宅いたしました。おかげさまでとても楽しい旅行ができました。旅行中の写真ができましたらお送りいたします。くれぐれもお体をお大切に。

天气一直很冷，您最近怎么样？

前些天受到您的关照，非常感谢。那之后我转了京都和奈良，昨晚回到家里。托您的福，旅行非常愉快。旅行的照片洗出来后会给您寄去。请您保重身体。

单词

- * いかが：(2, 副) 如何
- * 如何：(0, 副) 如何
- * 如何：(0, 名/副) 如何
- * 過ごす：(2, 他五) 度过；过分。[记]. す(嗖→快)+ご(こ→过)+す(做)→过
- * さて：(1, 接续) 废话不多说进入正题。[记]. さ(颯→快)+て(手→方向)
- * 先日：(0, 名/副) 前些日子
- * この間：(0, 名/副) 前些日子
- * この前：(3, 名/副) 前些日子，之前，上次
- * 世話を焼く：(2+0) 不厌其烦地主动地帮助
- * 世話が焼ける：(2+0) 费事，麻烦
- * 焼く：(0, 他五) 烤，烧。[记]. や(夜)+く(方向)→烤后变成深色→烤
- * 妬く：(0, 他五) 吃醋
- * 焼ける：(0, 自下一) 烤好，烤熟；晒黑；天空变红；炼制成；火山喷火；胃难受；费事
- * やきもちを焼く：(3, 4+0) 吃醋
- * (お)餅：(0, 名) 年糕
- * 嫉妬：(0, 1, 名/自他サ) 嫉妒

- * 嫉妬^{しつとぶか}深い：(5, 形)嫉妒心强的
- * 羨^{うらや}む：(3, 他五)羡慕. [记]. うら(裏)+やむ(病む)→心里生病→羡慕
- * 妬^{ねた}む：(2, 他五)嫉妒. [记]. ね(凝)+た(多)+む(用力状)→非常凝重的心情→嫉妒
- * 恨^{うら}む：(2, 他五)恨. [记]. うら(裏→忸)+む(用力状→良)→心里用力
- * 憎^{にく}む：(2, 他五)憎恶，憎恨. [记]. に(凝→曾)+く(方向)+む(用力状)→忸+曾→憎
- * 憎^{にく}い：(2, 形)可憎的
- * 憎^{にく}たらしい：(5, 形)实在可恨的
- * 恨^{うら}めしい：(4, 形)可恨的；可悲的
- * 羨^{うらや}ましい：(5, 形)令人羡慕的
- * 昨^{さくばん}晩：(2, 名/副)昨晚
- * 夕^{ゆう}べ：(0, 名/副)昨晚
- * 帰^{きたく}宅：(0, 名/自サ)回家
- * 在^{ざいたく}宅：(0, 名/自サ)在家
- * 自^{じたく}宅：(0, 名)自宅，自己家
- * 旅^{たび}：(2, 名)旅行. [记]. た(他)+び(ぼ→歩)→去其他的地方→旅行
- * 旅^{たび}に出^でる：(2+1)出门旅行
- * 旅^{たびびと}人：(0, 名)旅行者
- * くれぐれも：(3, 2, 副)反复多次
- * 拝^{はいけい}啓：(1, 名)拜启(用于信的开头)
- * 謹^{きんけい}啓：(0, 1, 名)谨启(用于信的开头)
- * 敬^{けいぐ}具：(1, 名)此致敬礼(用于信的结尾)
- * 御^{おんちゅう}中：(1, 名)～收(用于公司或团体)
- * 御^{ぎょえん}苑：(0, 名)皇室的庭园
- * 防^{ぼうぎょ}御：(1, 名/他サ)防御

* 防^{ふせ}ぐ: (2, 他五)防止, 防守. [记]. ふ(阜)+せ(塞)+く(方向)+浊音(拖泥带水→有关)→阜+方→防

* 防止^{ぼうし}: (0, 名/他サ)防止

* 阻^{はば}む: (2, 他五)阻止, 阻碍. [记]. はば(幅→且)+む(闷→阜)→阜+且→阻

N2 第 32 课 一封书信(语法)

寒い日が続いてありますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はいたいへんお世話になりました。あれから京都、奈良をまわり、昨晚帰宅いたしました。おかげさまでとても楽しい旅行ができました。旅行中の写真ができましたらお送りいたします。くれぐれもお体をお大切に。

天气一直很冷，您最近怎么样？

前些天受到您的关照，非常感谢。那之后我转了京都和奈良，昨晚回到家里。托您的福，旅行非常愉快。旅行的照片洗出来后给您寄去。请您保重身体。

语法

1. 带来好的结果的原因

～おかげで

- * 解释：お(御)+かげ(陰/影)+で(原因)→在您的庇护下
- * 意思：因为
- * 特点：带来好的结果

1. いろいろ教えていただいたおかげで、楽しい旅ができました。

- * 承蒙您告诉了我很多，旅途才能非常愉快。

2. 彼が手伝ってくれたおかげで、仕事が速く済んだ。

- * 因为他的帮助，工作很快完成了。
- * 手伝う：(3, 自他五)帮忙，帮助；添加影响
- * 済む：(1, 自五)结束，完结.[记]. ず(丝→轻)+む(闷)→变轻，关闭→结束
- * 済ませる：(3, 他下一)(済む的使役形)把～做完

3. みなさんのおかげで、難関を乗り越えました

- * 托大家的福，度过了难关。
- * 難関：(0, 名)难关
- * 乗り越える：(4, 3, 自下一)越过，跨过；克服(困难、痛苦等).[记]. 乗り+越える(越过)→乘上越过

2. 带来不好的结果的原因

～せいで

- * 特点：所為^{せ い}+で(因为)→怪～
- * 意思：因为
- * 特点：带来不好的结果

1. 自分勝手^{じぶんかって}で人の気持ち^{ひと きもち}を理解^{りかい}しようとしないせいで、人を傷^{ひと きず}つけてしまう。

- * 因为只想着自己而不去理解别人的心情，最终给别人带来了伤害。

- * 自分勝手^{じぶんかって}：(4, 名/形动) 只顾自己

- * 身勝手^{みがって}：(2, 名/形动) 只顾自己

- * 傷つける^{きず}：(4, 他下一) 伤害

- * 傷つく^{きず}：(3, 自五) 受伤害

2. 優柔不断^{ゆうじゅうふだん}なせいで、いい人^{ひと}を見逃^{みのが}した。

- * 因为优柔寡断，错过了好人。

- * 優柔不断^{ゆうじゅうふだん}：(0, 5, 形动) 优柔寡断

- * 見逃す^{みのが}：(0, 3, 他五) 错过；当做没看见.[记]. 見+逃す→看完让其逃走

3. 忙しさ^{いそが}のせいに^{みす}して見過ごしがちな不眠^{ふみん}や頭痛^{ずつう}が、実は疾患^{じつ しっかん}のサインである。

- * 因为忙碌而容易疏忽的失眠和头疼其实都是疾病的征兆。

- * 忙しさ^{いそが}：(3, 名) 忙碌

- * 見過ごす^{みす}：(3, 0, 他五) 看漏；置之不理，不闻不问.[记]. 見+過ごす→看完就过去，没留意

- * 不眠^{ふみん}：(0, 名) 失眠

- * 頭痛^{ずつう}：(0, 名) 头疼

- * 実は^{じつ}：(2, 副) 其实

- * 疾患^{しっかん}：(0, 名) 疾病，疾患

- * サイン：(1, 名/自サ/sign) 签字，签名；暗号

4. 気のせいだよ。^き

- * 心理作用；神经过敏；错觉

N2 第 33 课 一封书信(课文)

寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日はいたいへんお世話になりました。あれから京都、奈良をまわり、昨晚帰宅いたしました。おかげさまでとても楽しい旅行ができました。旅行中の写真ができましたらお送りいたします。くれぐれもお体をお大切に。

天气一直很冷，您最近怎么样？

前些天受到您的关照，非常感谢。那之后我转了京都和奈良，昨晚回到家里。托您的福，旅行非常愉快。旅行的照片洗出来后给您寄去。请您保重身体。

N2 第 34 课 除夜の钟声(单词)

除夜の鐘

おおみそか よる ぜんこくかくち てら じょや かね じょや と いちねん と
大晦日の夜、全国各地のお寺では「除夜の鐘」がつかれます。「除夜」とは、1年を取り
のぞ ひ よる おおみそか じょじつ よ ゆらい
「除」く日の「夜」のこと、もともと大晦日が「除日」と呼ばれていたことに由来しています。
しょせつ かね かず ひゃくはち にんげん ぼんのう かず おな かね
諸説ありますが、鐘の数である108は人間のもつ煩惱の数と同じ、ひとつ鐘がつかれるたびに、
そのよく じょうか しょう じん や ひび かね おと しっこく ひろ よぞら とし
その欲が浄化されるそうです。深夜響く鐘の音と、漆黒に広がる夜空、よい年になりますように
とねが
と願わずにはられません。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

除夜の钟声

大年三十の夜里，全国各地的寺庙里都响起了除夕夜的钟声。“除夜”指去除了一年的那天夜里。这个说法源自过去把大年三十叫做“除日”。（关于这一天的习俗）有各种说法，说是108下钟声和人类拥有的烦恼的数量一样。据说每撞一下钟，欲望就会被净化。深夜响起的钟声和漆黑一片的夜空。忍不住祈愿新的一年是个好年。

单词

- * 除夜：(1, 名) 除夕夜
- * 削除：(1, 名/他サ) 消除，删除
- * コピー：(1, 名/他サ/copy) 复印；复制
- * 複写：(0, 名/他サ) 复印；复写
- * 貼り付け：(0, 名) 粘贴
- * 貼り付ける：(4, 他下一) 粘贴
- * 鐘：(0, 名) 钟. [记]. か(火)+ね(粘)→火炼成的粘稠物→金属→钟
- * 大晦日：(3, 名) 大年三十
- * 全国各地：(1+1, 名) 全国各地
- * お寺：(0, 名) 寺庙
- * 寺院：(1, 名) 寺院
- * 社寺：(1, 名) 神社和寺院
- * 撞く：(0, 1, 2, 他五) 撞

- * 取り除く：(0, 4, 他五) 去除
- * 除く：(0, 他五) 除去，除了。[记]. の(长)+そ(其)+浊音(有关)+く(方向)→把有关的东西放远→除
- * 覗く：(0, 自他五) 探头看；偷看；稍微看
- * 取り上げる：(4, 0, 他下一) 拿起；提出话题；没收
- * 取り扱う：(5, 他五) 使用，处理，经营。[记]. 取り+扱う(使用)→使用
- * 取り巻く：(3, 0, 他五) 包围，围绕；所处(的环境) * 私たちを取り巻く環境：我们所处的环境
- * 取り寄せる：(4, 0, 他下一) 调货
- * 取り繕う：(5, 0, 他五) 粉饰，掩饰
- * 除日：(0, 名) 大年三十
- * 徐行：(0, 名/自サ) 慢行
- * 徐々に：(1, 副) 徐徐地，慢慢地，缓缓地
- * 徐に：(0, 副) 徐徐地，慢慢地，缓缓地。[记]. おも(重い)+む(木/关闭)+ろ(落)→徐
- * 由来：(0, 名/自サ) 由来
- * 理由：(0, 名) 理由
- * 由緒：(1, 名) 起源和历史
- * 由緒正しい：(1+3) 正宗的
- * 諸説：(0, 名) 各种说法
- * 逆説：(0, 名) 反论；不同意见
- * 煩惱：(0, 3, 名) 烦恼
- * 平凡：(0, 名/形动) 平凡
- * 平俗：(0, 名/形动) 平庸；通俗易懂
- * 凡人：(0, 名) 凡人，平凡的人
- * 欲：(2, 名) 欲望

- * 貪^{むさぼ}る：(3, 他五)贪，贪心，贪婪，贪图. [记]. むさ(無差)+ぼ(博)+る(留)→无差别地全部收走
- * 貪欲^{どんよく}：(0, 名/形动)贪欲；贪婪
- * 浄化^{じょうか}：(1, 0, 名/他サ)净化
- * 洗淨^{せんじょう}：(0, 名/他サ)洗净
- * 空気清淨機^{くうきせいじょうき}：(5, 名)空气净化器
- * 清める/浄める^{きよ}：(3, 他下一)洗净，去除污垢
- * 清まる^{きよ}：(3, 自五)变得干净
- * 清い^{きよ}：(2, 形)清的，清澈的；清洁的；清晰的. [记]. き(気)+よい(良い)→心情好→清
- * 清らか^{きよ}：(2, 形动)清洁，纯洁，清澈
- * 清々しい^{すがすが}：(5, 形)空气清新的；神清气爽的. [记]. す(丝→轻→清)+が(状态)+し(像)→清
- * 響く^{ひび}：(2, 自五)回声，响声；影响. [记]. ひ(低)+び(微)+く(方向)→声音小→回声
- * 罅^{ひび}：(2, 名)裂纹，裂痕. [记]. ひ(根据字形→低)+び(微)→小东西→裂纹
- * 罅が入る^{ひびはい}：(2+1)有裂痕
- * 音^{おと}：(2, 名)(东西发出的)声响. [记]. お(大)+と(咚)→声响
- * 音色^{ねいろ}：(0, 名)音色
- * 本音^{ほんね}：(0, 名)心里话
- * 漆黒^{しっこく}：(0, 名)漆黑
- * 漆^{うるし}：(0, 名)漆树；漆(器). [记]. う(宇→雨)+る(流)+し(水→彳)→漆
- * 広がる^{ひろ}：(0, 自五)扩大；伸展，开阔；扩展，蔓延
- * 広げる^{ひろ}：(0, 他下一)把～扩大，把～扩展；把～摊开；扩张，扩展
- * 広まる^{ひろ}：(0, 自五)变得宽广；扩展，推广，传播，流传
- * 広める^{ひろ}：(0, 他下一)增长知识；推广
- * 夜空^{よぞら}：(1, 名)夜空

N2 第 35 课 除夜の钟声(语法)

除夜の鐘

おおみそか よる ぜんこくかくち てら じょや かね
大晦日の夜、全国各地のお寺では「除夜の鐘」がつかれます。「除夜」とは、いちねんと
のぞ ひ よる
「除」く日の「夜」のこと、もともと大晦日が「除日」と呼ばれていたことに由来しています。
しよせつ かね かず ひやくはち にんげん ぼんのう かず おな かね
諸説ありますが、鐘の数である108は人間のもつ煩惱の数と同じ、ひとつ鐘がつかれるたびに、
よく じょう か
その欲が浄化されるそうです。深夜響く鐘の音と、漆黒に広がる夜空、よい年になりますように
ねが
と願わずにはられません。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

除夜の钟声

大年三十の夜里，全国各地的寺庙里都响起了除夕夜的钟声。“除夜”指去除了一年的那天夜里。这个说法源自过去把大年三十叫做“除日”。（关于这一天的习俗）有各种说法，说是108下钟声和人类拥有的烦恼的数量一样。据说每撞一下钟，欲望就会被净化。深夜响起的钟声和漆黑一片的夜空。忍不住祈愿新的一年是个好年。

语法

双重否定

1. 一ずにはいられない

- * 解释：ず(否定/副词)+に(副词)+は(强调)+いられない(いる的可能形的否定式)→不～就呆不住
- * 意思：不～就呆不住；不～就难受
- * 特点：生理反应
- * 替换：ずには还可以替换成语气较为柔和的ないでは

1. 僅か3時間足らずで行けるのだから、便利になったものだと思うずにはいられない。

- * 仅仅不到三个小时就能到，不禁令人感到(交通)真是方便多了。

- * 僅か：(1, 副/形动)仅仅

- * 足らず：(1)不足

2. あまりにもおかしいから、笑わずにはいられない。

- * 太逗了，憋不住要笑。
- * あまりにも：(4, 副)过于

3. 話さずにはいられない。

- * 不说出来难受。

2. 一ずにはすまない

- * 解释：ず(否定/副词)+に(副词)+は(强调)+すまない(済む的可能形的否定式)→不～就没完
- * 意思：不～没完；不～这件事就完不了
- * 特点：事情的结束
- * 替换：ずには还可以替换成语气较为柔和のないでは

1. 謝^{あやま}らずにはすまない。

- * 不道歉，这件事过不去(这个问题解决不了)。
- * 謝^{あやま}る：(3, 他五)道歉，谢罪.[记]. あや(啊呀)+まる(む→嗯)→拟声词(惊讶、后悔)→道歉
- * 誤^{あやま}る：(3, 他五)错误

2. 借^かりた物^{もの}を紛失^{ふんしつ}してしまい、弁償^{べんしょう}せずにはすまない。

- * 把借来的东西弄丢了，不赔偿不行了(这件事过不去/这个问题解决不了)。
- * 紛失^{ふんしつ}：(0, 名/自他サ)遗失，丢失
- * 弁償^{べんしょう}：(0, 名/他サ)赔偿

3. いつまでもあやふやな態度^{たいど}を示^{しめ}すのがもう効^きかなくなった。

勇気^{ゆうき}を出^だして向^むき合^あわないではすまない。

- * 总是显示出模棱两可的态度已经没用了(不奏效了)。不拿出勇气面对，问题解决不了。
- * いつまでも：(1, 副)始终，永远
- * あやふや：(0, 形动)暧昧的，含糊不清的.[记]. あ(あれ)+や(也→是)+ふ(不)+や(也→是)→是不是那个？→含糊
- * 態度^{たいど}：(1, 名)态度
- * 仕打^{しうち}ち：(0, 名)(对待别人的不好的)态度
- * 示^{しめ}す：(2, 他五)显示，出示.[记]. し(示)+め(目)+す(做)→出示
- * 勇気^{ゆうき}：(1, 名)勇气
- * 向^むき合^あう：(3, 自五)面对面；直面(事态、问题等)

3. 一ずにはおかない

- * 解释：ず(否定/副词)+に(副词)+は(强调)+おかない(置く的可能形的否定式)→不～就不能放置
- * 意思：不能放置不管
- * 特点：(主语是团体时)表示权力；(主语是个人时)表示决心
- * 替换：ずには还可以替换成语气较为柔和のないでは

1. 危^{あぶ}ない遊^{あそ}びなので、学^{がっこう}校^{がわ}側^{さんし}も禁^{きん}止^しせずにはおかないだろう。

* 因为是危险的游戏，校方也不能放置不管吧。

* 危^{あぶ}ない：(0, 3, 形) 危险的. [记]. あ(啊)+ぶ(不)+な(無)→“啊！不要”→危险

* 遊^{あそ}び：(0, 名) 游戏，玩儿

* 学^{がっこう}校^{がわ}側^{さんし}：(0, 名) 校方

* 禁^{きん}止^し：(0, 名/他サ) 禁止

2. 新^{あた}しい技^ぎ術^{じゅつ}は、さ^{さん}まざ^{ぎょう}まな産^{かた}業^かのあり方^{かた}を変^かえずにはおかないだろう。

* 新技术一定会改变各种产业的形式。

* 技^ぎ術^{じゅつ}：(1, 名) 技术

* さ^{さん}まざ^{ぎょう}ま：(2, 名/形动) 各种各样

* 産^{さん}業^{ぎょう}：(0, 名) 产业

* あり方^{かた}：(0, 名) 形式；应有的样子(あるべき姿^{すがた})

3. た^ただ^だじゃお^おか^かない!

* 没那么便宜的!

N2 第 36 课 除夜の钟声(课文)

除夜の鐘

おおみそか よる ぜんこくかくち てら じょや かね
大晦日の夜、全国各地のお寺では「除夜の鐘」がつかれます。「除夜」とは、いちねんと
のぞ ひ よる
「除」く日の「夜」のこと。もともと大晦日が「除日」と呼ばれていたことに由来しています。
しよせつ かね かず ひゃくはち にんげん ぼんのう かず おな かね
諸説ありますが、鐘の数である108は人間のもつ煩惱の数と同じ。ひとつ鐘がつかれるたびに、
よく じょう か
その欲が浄化されるそうです。しんや ひび かね おと しっこく ひろ よぞら とし
深夜響く鐘の音と、漆黒に広がる夜空。よい年になりますように
ねが
と願わずにはられません。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

除夜の钟声

大年三十の夜里，全国各地的寺庙里都响起了除夕夜的钟声。“除夜”指去除了一年的那天夜里。这个说法源自过去把大年三十叫做“除日”。（关于这一天的习俗）有各种说法，说是108下钟声和人类拥有的烦恼的数量一样。据说每撞一下钟，欲望就会被净化。深夜响起的钟声和漆黑一片的夜空。忍不住祝愿新的一年是个好年。

N2 第 37 课 入春(单词)

ますはないろ 舂花色

えどじだいちゅうき かぶきやくしゃ ごだいめいちかわだんじゅうろう このいろ ます いちかわけ かもん
江戸時代中期の歌舞伎役者、5代目市川团十郎が好んだ色です。「舂」とは、市川家の家紋
である「三舂」のこと。落ち着きのなかにも力強さを感じさせるやや灰みの濃い青色です。

ふゆは 冬晴れ

りっしゅん す ころ きび さむ しょうきゅうし は ひ
立春を過ぎる頃になると、厳しい寒さは小休止とばかりに、おだやかに晴れる日がふいに
訪れます。冬来たりなば春遠からじ。舂花色の空が春の到来を予感させます。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

舂花色

舂花色は江戸時代中期の歌舞伎俳優、第5代市川团十郎好んだ色。“舂”指市川家の家紋“三舂”(三升)。稳重当中让人感到强有力的带有的灰色的深蓝色。

晴朗的冬日

一过立春，严寒就好像在说要休息片刻一样，平静而晴朗的日子忽然来临了。“如果冬天来了，春天还会远吗？”舂花色的天空让人预感到春天的到来。

单词

- * 升ます: (2, 0, 名) 方框
- * 役者やくしゃ: (0, 名) 演员
- * 役やく: (2, 名) 角色; 任务; 职位
- * 役割やくわり: (3, 0, 名) 分配的任务; 职责; 作用
- * 役目やくめ: (3, 名) 职责; 作用
- * 役職やくしょく: (0, 名) 职位; 管理层职位
- * 役人やくにん: (0, 名) 官吏, 政府官员, 公务员
- * 使役しえき: (0, 名) 使役态
- * 現役げんえき: (0, 名) 现役; 在职
- * 好むこの: (2, 他五) 喜好. [记]. こ(己)+のむ(飲む→接受)→自己接受→喜好
- * 好き好むす この: (4, 他五) 特别喜欢
- * 好みこの: (1, 3, 名) 喜好

- * 市川家：^{いちかわ け}(4, 名)市川家(第一代：三升屋兵库)
- * 家紋：^{か もん}(0, 名)家纹
- * 落ち着く：^{お つ}(0, 自五)稳定；安定；拍板定局；沉稳冷静；气氛平静
- * 穏やか：^{おだ}(2, 形动)平稳，平静；风和日丽；温和安详.[记]. お(大)+だ(大)
- * 平穩：^{へいおん}(0, 名/形动)平稳
- * 物静か：^{ものしず}(3, 形)寂静的；安静的
- * 力強さ：^{ちからづよ}(4, 名)强有力；给力
- * 力強い：^{ちからづよ}(5, 形)强有力的；给力的
- * パワフル：^{ちからづよ}(1, 名/powerful)强有力的；给力的
- * 灰み：^{はい}(0, 名)带有灰色
- * 冬晴れ：^{ふゆ は}(0, 名)平静晴朗的冬日
- * 立春：^{りっしゅん}(0, 名)立春
- * 厳しい：^{きび}(3, 形)严格的，严厉的；严酷的，严峻的.[记]. き(気)+び(逼)+し(像)→气势逼人→严
- * 厳しい：^{いかめ}(4, 形)庄严的；严肃的，威严的；严厉的，严格的
- * 厳重：^{げんじゅう}(0, 形动)森严
- * 嚴格：^{げんかく}(0, 形动)严格
- * 厳密：^{げんみつ}(0, 形动)严谨；周密
- * 莊嚴：^{そうごん}(0, 形动)庄严
- * 嚴か：^{おごそ}(2, 形动)庄严，庄重，严肃.[记]. お(大)+ご(过)+そ(肃)+か(加)→严
- * 小休止：^{しょうきゅうし}(3, 名/自サ)稍微休息
- * 不意：^{ふ い}(0, 名/形动)意料之外
- * 不意打ち：^{ふ い う}(0, 名)突然袭击
- * 不意(打ち)を食う/食らう：^{ふ い う}(0+1)被突然袭击
- * 思いがけない：^{おも}(5, 6, 形)意料之外的

* 来^きたる：(2, 自五) 来

* 到^{とうらい}来：(0, 名/自サ) 到来

* 予^よ感^{かん}：(0, 名/自他サ) 预感

* 試^し練^{れん}：(1, 0, 名) 历练

* 甲^か斐^い：(0, 名) 价值；意义

N2 第 38 课 入春(语法)

ますはないろ 舂花色

江戸時代中期の歌舞伎役者、5代目市川団十郎が好んだ色です。「舂」とは、市川家の家紋である「三舂」のこと。落ち着きのなかにも力強さを感じさせるやや灰みの濃い青色です。

ふゆ は 冬晴れ

立春を過ぎる頃になると、厳しい寒さは小休止とばかりに、おだやかに晴れる日がふいに訪れます。冬来たりなば春遠からじ。舂花色の空が春の到来を予感させます。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

舂花色

舂花色は江戸時代中期の歌舞伎演员、第5代市川団十郎喜欢的颜色。“舂”指市川家的家纹“三舂”(三升)。稳重当中让人感到强有力的带有的灰色的深蓝色。

晴朗的冬日

一过立春，严寒就好像在说要休息片刻一样，平静而晴朗的日子忽然来临了。“如果冬天来了，春天还会远吗？”舂花色的天空让人预感到春天的到来。

语法

强调好像

1. とばかり

- * 解释：と(引号→表示说的内容)+ばかり(全、光、净)
- * 意思：简直就好像在说
- * 接续：动词的未然形+；の+名词；に+谓语句

1. 「郷に入っては郷に従え。」とばかりに、働きかけるほどである。

- * 简直就好像在说“入乡随俗”一样，都到了做工作的地步。

* 郷：(1, 名) 乡，乡村

* 入る：(0, 自五) 入

* 従う：(0, 3, 自五) 跟随；服从；顺从；随着

* 働きかける：(1, 自下一) 推动；对～做工作

2. 自分に関係ないとばかりの彼の言い逃れに腹が立った。

- * 简直就好像在说跟自己没关系一样，我对他的托词感到很生气。

* 涼しい顔：(3+0) 于己无关的表情

* 言い逃^いれる^{のが}: (5, 他下一)找借口推卸责任; 搪塞

* 腹^{はら}が立^たつ: (2+1)生气

3. 顔^{かお}が見^みたくない**とばかりに、ドアを閉^しめられた。**

* 简直就好像在说不想见到你一样, 把门关上了。

2. ~んばかり

* 解释: ん(古语中的推测)+ばかり(全、光、净)

* 意思: 简直就好像

* 接续: 动词的未然形+; の+名词; に+谓语句

1. 防寒服^{ぼうかんふく}に隠^{かく}されている私^{わたし}の「卑小^{ひしょう}」を絞^{しぼ}り出^ださんばかりになった。

* 甚至于要榨出皮袍下面藏着的“小”来。

* 防寒服^{ぼうかんふく}: (3, 名)防寒服

* 隠^{かく}す: (2, 他五)把~藏起来, 隐藏, 隐瞒. [记]. か(加)+く(くろ→黒)+す(做)→隠

* 卑小^{ひしょう}: (0, 名/形动)卑微

* 絞^{しぼ}る: (2, 他五)榨, 拧; 缩小; 绞尽脑汁. [记]. し(湿)+ぼ(薄)+る(留→长)→榨, 绞

2. まるでこの矢^やを抜^ぬいてくれと言^いわんばかりに鳴^ないていました。

* 仙鹤叫着, 好像是在哀求把箭拔掉。

* 矢^や: (1, 名)箭

* 鳴^なく: (0, 自五)鸣叫. [记]. な(那→长)+く(哭)→(哭)叫

3. まるで立場^{たちば}の異^{こと}なる二者^{にしゃ}の間^{あいだ}で意見^{いけん}の対立^{たいりつ}が見^みられた場合^{ばあい}には、

足^たして二^にで割^わればちょうどよいと**でも言^いわんばかりに。**

* 当立场不同的二者间意见对立时, 简直就好像在说加起来除以二正好。

* 立场^{たちば}: (1, 3, 名)立场

* 異^{こと}なる: (3, 自五)不同. [记]. こと(事)+な(那→长)+る(留→长)→有很多事→异

* 二者^{にしゃ}: (1, 名)二者

* 意见^{いけん}: (1, 名)意见

* 対立: (0, 名/自サ) 対立

* 場合: (0, 名) 場合, 情况

* 足す: (0, 他五) 加, 添加, 加法. [记]. た(多)+す(做)→加上

* 割る: (0, 他五) 打碎; 分割; 除法; 稀释. [记]. わ(完)+る(留→长)→让其完→割

N2 第 39 课 入春(课文)

ますはないろ 舂花色

江戸時代中期の歌舞伎役者、5代目市川団十郎が好んだ色です。「舂」とは、市川家の家紋である「三舂」のこと。落ち着きのなかにも力強さを感じさせるやや灰みの濃い青色です。

ふゆは 冬晴れ

立春を過ぎる頃になると、厳しい寒さは小休止とばかりに、おだやかに晴れる日がふいに訪れます。冬来たりなば春遠からじ。舂花色の空が春の到来を予感させます。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

舂花色

舂花色は江戸時代中期の歌舞伎演员、第5代市川団十郎好んだ色。“舂”指市川家の家纹“三舂”(三升)。稳重当中让人感到强有力的带有的灰色的深蓝色。

晴朗的冬日

一过立春，严寒就好像在说要休息片刻一样，平静而晴朗的日子忽然来临了。“如果冬天来了，春天还会远吗？”舂花色的天空让人预感到春天的到来。

N2 第 40 课 古代百姓的参拜(单词)

お伊勢参り

江戸時代中ごろから、伊勢神宮参詣が庶民の間で盛んになりました。江戸から片道十五日、大坂からでも五日という長旅です。けれど自由な旅が許されなかった当時、お伊勢参りなら通行手形が認められ、一生に一度でも行きたい庶民の夢でした。そして貴重な旅ゆえ京や大坂へ足を伸ばす行楽ともなり、季節のいい春に好んで出かけたそうです。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

参拜伊势神宮

从江戸时代中期开始，在民间很盛行参拜伊势神宮。从江戸出发单程 15 天、从大坂也需要 5 天，算是长途旅行了。但是，当时不允许自由行，如果参拜伊势神宮的话，需要用通行证，一生去一次是当时百姓的梦想。因为是很珍贵的旅行，所以也成了顺便去京都和大阪的游览，据说人们常在季节好的春天去。

单词

- * お伊勢参り：(4, 名/自サ) 参拜伊势神宮
- * 伊勢神宮：(3, 名) 伊势神宮。三重县伊势市皇大神宮和丰受大神宮的总称。皇大神宮供奉天照大神，
神体为八咫鏡。丰受大神宮供奉丰受大神。伊势神宮是皇居祭祀的最高存在而超越神社级别的神宮。明治以后成为国家神道的中心。
- * 参拝：(0, 名/自サ) 参拜
- * 参る：(1, 自五) (自谦) 去，来
- * 拝む：(2, 他五) 拜，(合掌) 行礼；祈愿。[记]. お(圆)+が(状态)+む(闷)→身体弯曲→拜
- * 参詣：(0, 名/自サ) 参拜(神社或寺院)
- * 初詣：(3, 名/自サ) 新年第一次参拜(神社或寺院)
- * 中ごろ：(0, 名) (时间的) 中间；(场所的) 中部
- * 庶民：(1, 名) 庶民，平民
- * 盛ん：(0, 形动) 盛大，旺盛，昌盛，繁荣
- * 盛り：(0, 3, 名) 旺盛，兴盛；盛开；鼎盛

- * 菜^なの花^{はな}は今^{いま}が盛^{さか}り：(1+2+1+3, 0)油菜花现在盛开
- * 片道^{かたみち}：(0, 名)单程
- * 往復^{おうふく}：(0, 名/自サ)往返
- * 乗^のり換^かえ：(0, 名/自サ)换乘
- * 長旅^{ながたび}：(0, 名)长途旅行
- * 自由^{じゆう}：(2, 名/形动)自由
- * 自由行動^{じゆうこうどう}：(4, 名/自サ)自由活动
- * 行動^{こうどう}：(0, 名/自サ)行动，行为
- * 気楽^{きらく}：(0, 形动)轻松，悠闲自在，自由
- * 楽^{らく}：(2, 形动)轻松，不费劲
- * 許^{ゆる}す：(2, 他五)允许，准许，同意；饶恕，原谅.[记]. ゆ(裕)+る(留→长)+す(做)→使宽裕
- * 許^{ゆる}せる：(3, 自下一)許^{ゆる}す的可能形。能允许；能原谅
- * 許可^{きょか}：(1, 名/他サ)允许，准许
- * 通行手形^{つうこう て がた}：(5, 名)通行证
- * 通行^{つうこう}：(0, 名/自サ)通行；通用
- * 通行止^{つうこう ど}め：(0, 名)停止通行，不通行
- * 通^{とお}り抜^ぬけ：(0, 名)穿过，穿行
- * 通^{とお}り抜^ぬけ禁^{きん}止^し：(0, 名)禁止穿过，禁止通行
- * 手形^{て がた}：(0, 名)票据，单据
- * レシート：(2, 名/receipt)收据，购物小票
- * 領^{りょう}収^{しゅう}書^{しょ}：(0, 名)发票
- * 許可証^{きょか しょう}：(2, 0, 名)许可证
- * ライセンス：(1, 名/licence)许可；专利
- * 特許^{とっきょ}：(1, 名)专利

- * 査証：^{さしょう}(0, 名) 签证
- * ビザ：^{ビザ}(1, 名/visa) 签证
- * パスポート：^{パスポート}(3, 名/passport) 护照
- * 旅券：^{りょけん}(0, 名) 护照
- * 認める：^{みと}(0, 他下一) 承认，认可，认同. [记]. 見+止める→看后留下→认可
- * 一生：^{いっしょう}(0, 名/副) 一生
- * 生涯：^{しょうがい}(1, 名/副) 生涯
- * 一生涯：^{いっしょうがい}(3, 名/副) 一辈子
- * 一度：^{いちど}(3, 名/副) 一度，一次
- * 一度に：^{いちど}(3, 副) 一次性地
- * 二度と：^{にど}(2, 副) (后面接否定形) 不做第二次，再不～
- * 貴重：^{きちょう}(0, 形动/他サ) 贵重；珍惜
- * 貴い/尊い：^{とうと}(3, 形) 高贵的，尊贵的，贵重的，宝贵的，珍贵的. [记]. とう(特)+と(特)→尊
- * 尊ぶ/貴ぶ：^{とうと}(3, 他五) 尊重，尊敬；重视，珍惜
- * 尊さ/貴さ：^{とうと}(3, 名) 尊贵，贵重，宝贵
- * 得難い：^{えがた}(3, 形) 难得的
- * 有り難い：^{あがた}(4, 形) 难得的，值得感谢的
- * 江戸：^{えど}(0, 名) 东京的旧称。1457 年建造江戸城，1590 年德川家康入城至 1603 年开设幕府，成为日本的政治经济中心。1868 年 7 月改名为东京。
- * 京：^{きょう}(1, 名) 京都
- * 大坂：^{おおさか}(0, 名) 大阪府大阪市。丰臣秀吉时代修筑大坂城。江戸时代成为全国的经济中心。到明治初期一直写作大坂。
- * 坂：^{さか}(2, 名) 坡. [记]. さか(下がる)→向下→坡
- * 坂道：^{さかみち}(2, 名) 坡道
- * 窪：^{くぼ}(0, 1, 名) 坑，低洼处. [记]. く(くだる→下る)+ぼ(ほる→掘る)→向下挖→坑

* 笑窪^{えくぼ}: (1, 名) 酒窝

* 窪む^{くぼ}: (0, 自五) (地方) 塌陷; (眼睛、脸颊) 凹陷; 陷入困境. [记]. く (くだる→下る)+ぼ (ほ→ほ
る→掘る)+む (用力状)→向下挖

* 落ち窪む^{おくぼ}: (4, 0, 自五) 凹陷

* 足を伸ばす^{あしの}: (2+2) 把腿伸长; 从某地到更远的地方去

* 行楽^{こうらく}: (0, 名) 游览, 游玩

* 好んで^{この}: (2, 副) 喜欢; 因为喜欢而经常

* 出かける^で: (0, 自下一) 出门

N2 第 41 课 古代百姓的参拜(语法)

お伊勢参り

江戸時代中ごろから、伊勢神宮参詣が庶民の間で盛んになりました。江戸から片道十五日、大坂からでも五日という長旅です。けれど自由な旅が許されなかった当時、お伊勢参りなら通行手形が認められ、一生に一度でも行きたい庶民の夢でした。そして貴重な旅ゆえ京や大坂へ足を伸ばす行楽ともなり、季節のいい春に好んで出かけたそうです。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

参拜伊势神宫

从江戸时代中期开始，在民间很盛行参拜伊势神宫。从江戸出发单程 15 天、从大坂也需要 5 天，算是长途旅行了。但是，当时不允许自由行，如果参拜伊势神宫的话，需要用通行证，一生去一次是当时百姓的梦想。因为是很珍贵的旅行，所以也成了顺便去京都和大阪的游览，据说人们常在季节好的春天去。

语法

1. 原因

1. 1. 一(が)故(に)

* 解释：が(古语中起到连接作用的助词/被省略时语气柔和)+ゆえ(缘故)+に(副词)→相当(于)

* 接续：名词/形容词/动词+(が)故(に)

名词+/形动词+な/形词い+/动词简体+故(に)

* 语气：正式

1. 愛するがゆえに別れて、その愛が揺るぎないことを長い年月をかけて自覚した。

* 因为爱而分开，经过长年后自己感觉到了那份爱是不可动摇的。

* 別れる：(3, 自下一)分别，别离，分手

* 揺るぎない：(4, 形)不可动摇的，坚定的，稳固的

* 年月：(1, 名)年月

* 自覚：(0, 名/他サ)自己知道，自己认识到

2. 手軽なゆえについ油断してしまう。

* 因为简便才会不由得疏忽大意。

* 手軽：(0, 形动)简便，不费事

* 油断：^{ゆ だん}(0, 名/自サ)疏忽大意

3. 部下を^{ぶ か}評価^{ひよう か}する立場^{たち ば}になると、^{やさ}優しすぎるがゆえに^{おも}思い悩^{なや}む人^{ひと}も少^{すく}なくない。

* 一到要去评价部下的时候，不少人因为太心软而头疼。

* 部下：^{ぶ か}(1, 名)部下

* 評 価：^{ひよう か}(1, 名/他サ)评价；好评

* 立 場：^{たち ば}(1, 3, 名)立场

* 優しすぎる：^{やさ}(5, 自上一)过于心软；过于温柔；太善良

* 思い悩む：^{おも} (5, 0, 自五)头疼烦恼，伤脑筋，苦恼

* 悩む：^{なや} (2, 自五)烦恼，痛苦.[记]. な(那→那么)+やむ(病む)→烦恼

* 悩み：^{なや} (3, 名)烦恼，痛苦

* 悩ましい：^{なや} (4, 形)令人烦恼的

1. 2. ～とあって/～とて

* 解释：と(引号)+あって(ある/有)；とて是とあって的简化形式

* 意思：有～前提/原因/条件

* 接续：任何词+

* 语气：正式

1. 人^{にん}気^き俳^{はい}優^{ゆう}が来^くるとあって、このイベントのチケットはあつという間^まに売^うり切^きれた。

* 因为有人气的演员要来，所以这个活动的票瞬间售完。

* 人^{にん}気^き俳^{はい}優^{ゆう}：^{にん き はいゆう}(4, 名)有人气的演员

* 人^{にん}気^き：^{にん き}(0, 名)人气

* 俳^{はい}優^{ゆう}：^{はいゆう}(0, 名)演员

* イベント：^{いべんと}(0, 名/event)举办的活动

* チケット：^{ちけっと}(2, 1, 名/ticket)票

* あつという間^ま：^{あつ}(0, 名)瞬间

* 売^うり切^きれる：^{う き}(4, 自下一)售完，卖光

2. 彼^{かれ}は^{かね}お金の^しためとあ^{ごと}れば、^ひどんな^う仕事でも引き受ける。

* 他如果是为了钱，什么工作都接受。

* ^ひ引き^う受ける：(4, 他下一)接受(工作). [记]. 引き(拉→接)+受ける→接受

3. ^{おおかせ}大風のあととて、^{そと}外は^{むじん}無人だった。

* 因为是大风之后，外面没有人。

* ^{おおかせ}大風：(3, 0, 名)大风

* ^{そと}外：(1, 名)外面

* ^{むじん}無人：(0, 名)无人

N2 第 42 课 古代百姓の参拜(课文)

お伊勢参り

江戸時代中ごろから、伊勢神宮参詣が庶民の間で盛んになりました。江戸から片道十五日、大坂からでも五日という長旅です。けれど自由な旅が許されなかった当時、お伊勢参りなら通行手形が認められ、一生に一度でも行きたい庶民の夢でした。そして貴重な旅ゆえ京や大坂へ足を伸ばす行楽ともなり、季節のいい春に好んで出かけたそうです。

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

参拜伊势神宮

从江戸时代中期开始，在民间很盛行参拜伊势神宮。从江戸出发单程 15 天、从大坂也需要 5 天，算是长途旅行了。但是，当时不允许自由行，如果参拜伊势神宮的话，需要用通行证，一生去一次是当时百姓的梦想。因为是很珍贵的旅行，所以也成了顺便去京都和大阪的游览，据说人们常在季节好的春天去。

N2 第 43 课 地震预告(单词)

日本は世界でも有数の地震国である。地震と地震予知に対する世の関心もたかい。しかし地震予知は一つ間違えば大変な社会的混乱を招くことになり、諸刃の剣ともいうべきものである。しかも日本中で直前の地震予知ができるのは今のところ東海地方だけである。純粋に学問的な意味でも、予知できる場所に限られている。まして社会に警告を与える形での予知はそう簡単にできるものではない。行政的な対応がとれぬままに、中途半端な予知情報が漏れた時の大混乱は想像にあまりある。

(浅田 敏『関東・東海地震と予知』岩波書店による)

日本在世界上都是为数不多的地震国。社会很关心地震和预知地震。可是预知地震如果错一次的话就会导致很大的社会混乱，也可以说成是双刃剑。而且如今在全日本能够实现预知地震的只有东海地区。即便是从单纯的学术意义上来说，能预知到的地方也很有限。何况在给与社会警告这种形式上的预知不是那么简单的。没能采取行政上的对策而泄露了不到位的预知信息时产生的混乱是无法想象的。

单词

- * 有数：(0, 形动) 为数不多，屈指可数
- * 指折り：(0, 名) 屈指可数
- * 指：(2, 名) 手指. [记]. ゆ(ゆく→行く→方向)+び(微)→指方向的小东西→手指
- * 屈指：(1, 0, 名) 屈指可数
- * 地震国：(2, 名) 地震国
- * 予知：(1, 名/他サ) 预知，预先知道
- * 予感：(0, 名/自他サ) 预感
- * 勘：(0, 名) 直觉，第六感觉
- * 勘繰る：(3, 他五) 瞎猜
- * 勘繰り：(0, 名) 瞎猜
- * 臆測/臆測：(0, 名/他サ) 臆测
- * 予測：(0, 名/他サ) 预测

- * 前兆^{ぜんちょう}: (0, 名)前兆
- * 前触れ^{まえぶ}: (0, 4, 名)前兆
- * 世^よ: (1, 0, 名)世; 人世间; 社会
- * 社会^{しゃかい}: (1, 名)社会
- * 関心^{かんしん}: (0, 名)关心
- * 感心^{かんしん}: (0, 名/自サ)佩服
- * 呆れた^{あき}: (0, 自下一)(带着气愤)服了
- * 参ったね^{まい}: (1, 自五)(被搞得很无奈)服了
- * でも: (1, 连)不过
- * けど: (1, 连)(口语)但是
- * ですが: (1, 连)(语气正式/敬体)但是
- * だが: (1, 连)(语气正式/简体)但是
- * ところが: (3, 连)(语气强)但是
- * しかし: (2, 连)可是
- * しかしながら(も): (4, 连)(语气正式且强)但是可是
- * 間違う^{まちが}: (3, 自他五)错误; 弄错
- * 間違える^{まちが}: (4, 3, 他下一)弄错
- * 間違い^{まちが}: (3, 名)错误
- * ミス: (1, 名/自他サ/miss)错误, 失误
- * 誤り^{あやま}: (3, 0, 名)错误, 失误
- * 過ち^{あやま}: (3, 0, 名)过失, 罪过, 过错. [记]. あや(啊呀→吃惊)+ま(む→嗯)+ち(其)→惊讶后悔状→出错
- * 過ちを犯す^{あやま おか}: (3, 0+2)犯下过错
- * 犯す^{おか}: (2, 0, 他五)违反, 犯法; 侵犯. [记]. お(根据嘴型→圆→驼背→后背)+か(加)+す(做)→在背后去做→侵犯
- * 社会的^{しゃかいてき}: (0, 形动)社会性的
- * 混乱^{こんらん}: (0, 名/自サ)混乱
- * 大混乱^{だいこんらん}: (2, 名)很大的混乱

- * 招く^{まね}: (2, 他五)招待, 邀请; 招致. [记]. ま(满→圆)+ね(感叹词)+く(根据字形→方向)→招呼时的手势加声音→招
- * 諸刃^{もろ は}: (0, 名)双刃
- * 諸 / 諸々^{もろもろ もろもろ}: (0, 名)很多; 各种各样
- * 剣^{つるぎ}: (0, 3, 名)剑. [记]. つ(刺)+る(留→长)+き(木)+浊音(加重)→突出的长的重物→剑
- * 刃物^{は もの}: (1, 名)刀具
- * 弦^{つる}: (2, 1, 名)弦, 弓弦, 琴弦. [记]. つ(刺)+る(留→长)→突出的长物→弦
- * 鶴^{つる}: (1, 名)仙鹤. [记]. つ(刺)+る(留→长)→突出的长物→仙鹤的脖子
- * しかも: (2, 连)而且
- * 且つ^か: (1, 连)并且
- * また: (0, 副/连)又, 还, 再
- * 尚^{なお}: (1, 副)(まだ和また的古语)还有, 尚. [记]. な(那→长)+お(う→字→大)→还有
- * 尚且^{なお か}つ: (1, 副)而且; 还是, 依然是
- * 尚更^{なおさら}: (0, 副)越发. [记]. な(那)+お(大)→尚; さら(把沙子拉走→水更清)→更。尚+更→越发
- * 直前^{ちよく ぜん}: (0, 名/副)(时间)即将~之前; (空间)正前面
- * 直後^{ちよく ご}: (1, 名/副)(时间)刚刚~之后; (空间)正后面
- * 最中^{さいちゅう}: (1, 名)(时间)正在~之中; (空间)正中央
- * 今のところ: (1, 副)现在, 现阶段, 目前
- * 東海地方^{とうかい ち ほう}: (5, 名)本州岛中部临太平洋的地区(静岡県、爱知县、三重县、岐阜县)。
- * 純粹^{じゆんすい}: (0, 形动)纯粹
- * 單純^{たんじゆん}: (0, 名/形动)单纯单一; 头脑简单
- * 學問的^{がくもんてき}: (0, 形动)学问上的
- * 學問^{がくもん}: (0, 名)学问
- * 限られている^{かぎ}: (3, 用于句尾)有限的
- * 限られた^{かぎ}: (3, 修饰名词)有限的

* 限^{かぎ}り：(0, 名)限，限制，极限

* 況^まして(や)：(1, 副)何况. [记]. ま(满)+して(动词的中顿)→添加→何况

* 警告^{けいこく}：(0, 名/他サ)警告

* 中^{ちゅう}途^と半端^{はんば}：(4, 形动)半途而废；不到位

* 半端^{はんば}：(0, 形动)半吊子

* あまりある：(4)充分有余

N2 第 44 课 地震预告(语法)

日本は世界でも有数の地震国である。地震と地震予知に対する世の関心もたかい。しかし地震予知は一つ間違えれば大変な社会的混乱を招くことになり、諸刃の剣ともいうべきものである。しかも日本中で直前の地震予知ができるのは今のところ東海地方だけである。純粋に学問的な意味でも、予知できる場所は限られている。まして社会に警告を与える形での予知はそう簡単にできるものではない。行政的な対応がとれぬままに、中途半端な予知情報が漏れた時の大混乱は想像にあまりある。

(浅田 敏『関東・東海地震と予知』岩波書店による)

日本在世界上都是为数不多的地震国。社会很关心地震和预知地震。可是预知地震如果错一次的话就会导致很大的社会混乱，也可以说成是双刃剑。而且如今在全日本能够实现预知地震的只有东海地区。即便是从单纯的学术意义上来说，能预知到的地方也很有限。何况在给与社会警告这种形式上的预知不是那么简单的。没能采取行政上的对策而泄露了不到位的预知信息时产生的混乱是无法想象的。

语法

1. 对于

～に対する

- * 解释：に(方向/于)+対する(对)
- * 接续：名词+

1. 授業に対するご意見やご感想を聞かせてください。

- * 告诉我对于课程的意见和感想。
- * 授業：(1, 名)课
- * 意見：(1, 名)意见
- * 感想：(0, 名)感想

2. 何事に対しても真面目な姿勢を持つ。

- * 不管对什么事都拥有认真的姿态。
- * 何事：(0, 名)任何事
- * 姿勢：(0, 名)姿势；姿态

3. 苦言^{くげん}や指摘^{してき}に対して感謝^{たい}を示す^{かんしゃ}。

* 对于忠告和指正表示感谢。

* 苦言^{くげん}: (0, 名) 忠告

* 指摘^{してき}: (0, 名/他サ) 指正

* 感謝^{かんしゃ}: (1, 名/自他サ) 感谢

* 示す^{しめ}: (2, 他五) 显示, 出示. [记]. し(示)+め(目)+す(做)→出示

2. 古语否定之一

一ぬ

* 解释: 是(形容词)ない的古语

* 接续: 按照接续ない的方式

* 语气: 正式

1. 鳴^なく猫^{ねこ}は鼠^{ねずみ}を捕^とらぬ。

* 光说不干。会叫的猫不逮耗子。

* 鼠^{ねずみ}: (0, 名) 老鼠

2. 成^ならぬ堪^{かん}忍^{にん}するが堪^{かん}忍^{にん}。

* 忍其难忍是为忍。

* 堪忍^{かんにん}: (1, 名/他サ) 忍受

3. 降^ふらぬ先^{さき}の傘^{かさ}。

* 未雨绸缪。

N2 第 45 课 地震预告(课文)

日本は世界でも有数の地震国である。地震と地震予知に対する世の関心もたかい。しかし地震予知は一つ間違えれば大変な社会的混乱を招くことになり、諸刃の剣ともいうべきものである。しかも日本中で直前の地震予知ができるのは今のところ東海地方だけである。純粋に学問的な意味でも、予知できる場所は限られている。まして社会に警告を与える形での予知はそう簡単にできるものではない。行政的な対応がとれぬままに、中途半端な予知情報が漏れた時の大混乱は想像にあまりある。

(浅田 敏『関東・東海地震と予知』岩波書店による)

日本在世界上都是为数不多的地震国。社会很关心地震和预知地震。可是预知地震如果错一次的话就会导致很大的社会混乱，也可以说成是双刃剑。而且如今在全日本能够实现预知地震的只有东海地区。即便是从单纯的学术意义上来说，能预知到的地方也很有限。何况在给与社会警告这种形式上的预知不是那么简单的。没能采取行政上的对策而泄露了不到位的预知信息时产生的混乱是无法想象的。

N2 第 46 课 梅桃争艳迎春天(单词)

庭先の春

はくばい さ こうばい もも はな にわさき かき ね つぎ はな ひら なが たの
白梅が咲き、紅梅が、そして桃の花が、と庭先や垣根に次はどんな花が開くだろうと眺める楽し
みは、春ならでは。さくら もくれん えださき かい か ま ちか こ だま たくわ け はい かん
みは、春ならでは。桜や木蓮の枝先にも開花を間近にして、樹精が蓄えられる気配が感じられる
ころ。

いっ
一ふくつけて

ぶらりとおもてで
ぶらりと表へ出たら

もも はな さ
桃の花が咲いていた

やま の くち ばく もも はな
山之口 獯 「桃の花」 より

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

庭前の春天

白梅开放、红梅、然后是桃花，庭前和墙根处接下来会开什么花呢？这种眺望时的乐趣，只有春天才会有。樱花树和木兰的枝头也要迎来鲜花盛开，这个时候能够感到树精储备的迹象。

点上一支烟，溜达到屋外，发现桃花开了。山之口 獯 摘自《桃花》

单词

- * 庭先：(0, 名)庭前，院子接近檐廊的部分
- * 縁側：(0, 名)外廊，檐廊
- * 白梅：(0, 名)白梅
- * 紅梅：(0, 名)红梅
- * 咲く：(0, 自五)开(花)
- * 花が開く：(2+2, 自他五)开花
- * 花を開き、実を結ぶ：(2+3, 0+0)开花结果
- * 大輪の花を咲かせる：(0+2+3)取得了很大的成功
- * 開花：(1, 0, 名/自サ)开花
- * 垣根：(2, 3, 名)篱笆，栅栏；墙根
- * 石垣：(0, 名)石头墙

- * 石^{いし}畳^{だみ}：(3, 名)石板路
- * 塀^{へい}：(0, 名)围墙
- * 土^ど塀^{べい}：(0, 名)土墙
- * 石^{いし}塀^{べい}：(2, 0, 名)石墙
- * 次^{つぎ}：(2, 名)下一个
- * 次々^{つぎつぎ}と：(2, 副)接二连三地，接连不断地
- * 続々^{ぞくぞく}と：(0, 1, 副)接二连三地，接连不断地
- * 引^ひき続^{つづ}き：(0, 名/副)继续；接下来；持续
- * 持^じ続^{ぞくてき}的：(0, 形动)长久持续
- * 眺^{なが}める：(3, 他下一)眺望. [记]. なが(長→兆)+め(目)+る(留→长)→目+兆→眺
- * 眺^{なが}め：(3, 名)风景
- * 挑^{いど}む：(2, 自他五)挑战，挑衅. [记]. い(意)+ど(多→兆)+む(用力状)→挑
- * 跳^はねる：(2, 自下一)跳；(加热后)飞溅；(胡子等)上翘；(行情)飞涨. [记]. は(哈→放)+ね(凝)+る(留→长)→使劲放→弹跳
- * 撥^はねる：(2, 他下一)使飞溅；淘汰
- * 弾^{はじ}く：(2, 他五)(用手指)弹；不渗水；淘汰. [记]. は(哈→放)+じ(溅)+く(方向)→飞溅
- * 逃^{のが}れる：(3, 自下一)逃跑，逃脱；逃避(责任). [记]. の(な→那→长→兆)+が(状态)+れ(来)+る(留→长)→逃
- * 責^{せき}任^{にん}を逃^{のが}れる：(0+3)逃避责任
- * 逃^にげる：(2, 自下一)逃(走，跑)，(脱)逃. [记]. に(の→な→那→长→兆)+げ(给)+る(留→长→迂)→迂+兆→逃
- * 逃^のがす：(2, 他五)错过(机会)；(前接动词连用形)漏掉. [记]. の(な→那→长→兆)+が(状态)+す(做)→逃
- * チャンスを逃^のがす：(1+2)错过机会
- * 聞^きき逃^のがす：(4, 他五)听漏

- * 見逃^{み の}がす：(3, 他五)看漏；放过
- * 楽^{たの}しみ：(3, 4, 0, 名)愉快，快乐；期待
- * 木蓮^{もくれん}：(1, 2, 名)木兰
- * 樹精/木靈/木魂/樹神^{こ だま こ だま こ だま こ だま}：(0, 名)树精，树上的精灵
- * 言靈^{ことだま}：(0, 名)言灵；语言的咒力
- * 魂^{たましい}：(1, 名)灵魂.[记]. たま(球)+し(像)+い(一)→一个球状物→灵魂
- * 夢^{ゆめ}：(2, 名)梦；梦想
- * 幻想^{げんそう}：(0, 名)幻想
- * 幻^{まぼろし}：(0, 名)幻影.[记]. ま(满)+ぼろ(破落)+し(稀)→幻影
- * 蓄^{たくわ}える：(4, 3, 他下一)储蓄，积蓄.[记]. た(多)+くわえる(加える)→多加→蓄
- * 気配^{け はい}：(1, 2, 名)迹象
- * 兆^{きざし}：(0, 名)兆头，征兆.[记]. き(気)+ざし(さし→指し→出现)→有某种气象→兆头
- * 兆候^{ちょうこう}：(0, 名)征兆
- * 芽生^{め ば}え：(0, 3, 名)发芽；先兆，萌芽
- * 芽生^{め ば}える：(3, 自下一)发芽；萌芽
- * 芽吹^{め ぶ}く：(2, 自五)(树木)发芽
- * 一服^{いっぷく}：(4, 自サ)喝杯茶；吸支烟；一服药
- * 一息^{ひといき}を^い入れる：(2+0)喘口气
- * ぶらりと：(2, 3, 拟态)重物悬垂状；漫无目的地来去状；无所事事地打发日子状
- * ぶらぶら：(1, 拟态)(重物下垂)摇晃状；溜达.[记]. ぶ(步)+ら(拉)→步行
- * ふらふら：(1, 拟态)(因无力而身体)晃悠；(头)晕；摇摆不定；稀里糊涂.[记]. ふ(风)+ら(拉)
- * 表^{おもて}：(3, 名)正面，正门；表面.[记]. お(う→字→大)+も(猛)+て(手→方向)→大方向→正面
- * 裏^{うら}：(2, 名)背面，反面；内心；内情.[记]. う(屋)+ら(拉)→拉到屋子里→里面
- * 裏地^{うら じ}：(0, 名)衣服的里衬

N2 第 47 课 梅桃争艳迎春天(语法)

庭先の春

はくばい さ こうばい もも はな にわさき かきね つぎ はな ひら なが たの
白梅が咲き、紅梅が、そして桃の花が、と庭先や垣根に次はどんな花が開くだろうと眺める楽し
みは、春ならでは。さくら もくれん えださき かい か まちか こだま たくわ け はい かん
みは、春ならでは。桜や木蓮の枝先にも開花を間近にして、樹精が蓄えられる気配が感じられる
ころ。

いっ
一ぷくつけて

ぶらりとおもてで
ぶらりと表へ出たら

もも はな さ
桃の花が咲いていた

やまのくち ばく もも はな
山之口 獏 「桃の花」より

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

庭前的春天

白梅开放、红梅、然后是桃花，庭前和墙根处接下来会开什么花呢？这种眺望时的乐趣，只有春天才会有。樱花树和木兰的枝头也要迎来鲜花盛开，这个时候能够感到树精储备的迹象。

点上一支烟，溜达到屋外，发现桃花开了。山之口 獏 摘自《桃花》

语法

～を～にする

1. ～を間近にして

* 解释：～を～にする(把～当成～)

* 接续：～的部分接续名词

* 解释：～を間近にする(临近)

1. 2 1世紀を間近にして、人類社会は今後どのように展開していくのでしょうか。

* 马上就要到 21 世纪了，人类社会今后会如何发展呢？

* 間近：(1, 0, 名/形动)(时间和距离)临近，接近

* 人類：(1, 名)人类

* 今後：(0, 1, 名/副)今后

* 展開：(0, 名/自サ)展开

2. 死を間近にして周りの人に最も言いたいのは「ありがとう」という言葉です。

* 临近死亡时最想对周围人说的话是“谢谢”。

* 死：^し(1, 名)死，死亡

* 周^{まわ}り：^(0, 名)周围

* 最^{もつと}も：^(3, 副)最

3. 論文^{ろんぶん}の締切^{しめきり}を間近^{まぢか}にして、緊張感^{きんちようかん}が高^{たか}まる。

* 马上就要到论文截至的日期了，越来越紧张。

* 論文^{ろんぶん}：^(0, 名)论文

* 締切^{しめきり}：^(0, 名)截止，截止日期

* 緊張感^{きんちようかん}：^(3, 名)紧张感

* 高^{たか}まる：^(3, 自五)高涨

* 高^{たか}める：^(3, 他下一)使高涨

2. ～を皮切^{かわき}りに

* 解释：皮切^{かわき}り(皮肤切开→第一针→开端)

* 意思：以～为开端

* 接续：名+

* 语气：正式

1. インドネシア^{かわき}を皮切^{かわき}りに新^{あら}たな市^し場^{じょう}を視^し野^やに入^いれる。

* 以印度尼西亚为开端，放眼于新的市场。

* インドネシア^{かわき}：^(3, 自下一)

* 新^{あら}た：^(1, 形动)(正式)新

* 市^し場^{じょう}：^(0, 名)(大)市场

* 市^{いち}場^ば：^(1, 名)(小)市场

* 視^し野^や：^(1, 名)视野

2. このイベント^{とうきよう}は東^{とう}京^{きよう}を皮切^{かわき}りに全^{ぜん}国^{こく}で開^{かい}催^{さい}される予^よ定^{てい}です。

* 这个活动预计在东京举办后推广到全国。

* イベント^{とうきよう}：^(0, 名/event)举办的活动

* 全^{ぜん}国^{こく}：^(1, 名)全国

* 開催^{かいさい}: (0, 名/他サ) 召开, 举办

* 予定^{よてい}: (0, 名/他サ) 预计

3. 本作^{ほんさく}はワールドワイド^{てんかい}で展開され、来年初頭^{らいねんしやうとう}よりヨーロッパ^{かわき}を皮切りに順次^{じゅんじ}リリースしていく。

* 本作品要在全世界推广, 明年初从欧洲开始依次发行。

* 本作^{ほんさく}: (0, 名) 本作品

* ワールドワイド: (5, 名/worldwide) 世界性, 世界范围, 全世界

* 来年^{らいねん}: (0, 名/副) 明年

* 初頭^{しやとう}: (0, 名) (期间或年代的) 初, 开始

* ヨーロッパ: (3, 名/葡萄牙语 Europa) 欧洲

* 順次^{じゅんじ}: (1, 副) 依次

* リリース: (2, 名/他サ/release) 发布(新闻), 公开发行(影片、唱片等)

N2 第 48 课 梅桃争艳迎春天(课文)

庭先の春

はくばい さ こうばい もも はな にわさき かきね つぎ はな ひら なが たの
白梅が咲き、紅梅が、そして桃の花が、と庭先や垣根に次はどんな花が開くだろうと眺める楽し
みは、春ならでは。さくら もくれん えださき かい か まちか こだま たくわ け はい かん
みは、春ならでは。桜や木蓮の枝先にも開花を間近にして、樹精が蓄えられる気配が感じられる
ころ。

いっ
一ぷくつけて

ぶらりとおもてで
ぶらりと表へ出たら

もも はな さ
桃の花が咲いていた

やまのくち ばく もも はな
山之口 獏 「桃の花」より

(白井明大『日本の七十二候を楽しむ』東邦出版による)

庭前的春天

白梅开放、红梅、然后是桃花，庭前和墙根处接下来会开什么花呢？这种眺望时的乐趣，只有春天才会有。樱花树和木兰的枝头也要迎来鲜花盛开，这个时候能够感到树精储备的迹象。

点上一支烟，溜达到屋外，发现桃花开了。山之口 獏 摘自《桃花》

N2 第 49 课 夏天的风物诗——萤火虫(单词)

ホタル

夜の闇^{よる やみ}のなか、藤黄^{とうおう}の光^{ひかり}を明滅^{めいめつ}させて飛^とぶホタルの姿^{すがた}は、まさに幽玄^{ゆうげん}そのもの。昔^{むかし}から夕涼^{ゆうすず}み^がてらホタルを愛^めでる「ホタル狩^がり」^{おこな}わ^れ、夏^{なつ}の風物詩^{ふうぶつし}となりました。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

萤火虫

在黑夜当中，一边闪烁着藤黄色的光一边飞舞的萤火虫的样子，完全就是幽玄。自古至今一直都有“观赏萤火虫”的习俗，一边乘凉一边欣赏萤火虫，这构成了夏天的风物诗。

单词

- * ホタル: (1, 名) 萤火虫
- * 螢光^{ほたる び}: (3, 0, 名) 萤火虫发出的光; 星火, 余烬
- * 螢光灯^{けいこうとう}: (0, 名) 荧光灯
- * 螢光ペン^{けいこう}: (3, 0, 名) 荧光笔
- * 闇^{やみ}: (2, 名) 黑暗, 黑夜; 黑市; 迷惑. [记]. や(夜)+み(身)→黑夜
- * 藤黄^{とうおう}: (0, 名) 藤黄色
- * 光^{ひかり}: (3, 名) 光, 光亮; 光明, 希望. [记]. ひ(日)+か(火)+り(る→留→长)→太阳长→发光
- * 光る^{ひか}: (2, 自五) 发光, 闪烁
- * ときめく: (3, 自五) (因喜悦、期待等而) 心跳. [记]. とき(どき→ドキドキ→心跳)+め(目)+く(方向)→心跳
- * 恋慕^{こ した}う: (4, 他五) 爱慕
- * 惚れる^ほ: (0, 自下一) 迷恋
- * 偲ぶ^{しの}: (2, 0, 他五) 追忆; 追悼. [记]. し(偲)+のぶ(のむ→飲む→接受)→偲
- * 忍ぶ^{しの}: (2, 0, 他五) 忍耐; 悄悄, 偷偷. [记]. し(死)+のぶ(のむ→飲む→接受)→接受死亡→忍
- * 凌ぐ^{しの}: (2, 0, 他五) 战胜(寒暑、困难等); 超过(人等). [记]. し(胜)+の(な→长)+く(方向)+浊音(拖泥带水→有关)→凌驾
- * 勝る^{まさ}: (2, 0, 自五) 胜过, 优胜. [记]. ま(满)+さ(そ→其)+る(留→长)→超过它
- * 明滅^{めいめつ}: (0, 名/自サ) 闪烁

- * 滅^{ほろ}びる：(3, 0, 自上一)灭亡，灭绝。[记]. ほろ(轰隆)+び(微)+る(留)→轰隆一声变成小的→灭亡
- * 滅^{ほろ}ぼす：(3, 他五)使灭亡，使灭绝。[记]. ほろ(轰隆)+ぼ(剥)+す(做)→使灭亡
- * 幽玄^{ゆうげん}：(0, 名/形动)幽玄，非常有余韵；伴有余韵的感动
- * 奥深^{おくぶか}い：(4, 形)深奥的
- * 静寂^{せいじゃく}：(0, 名/形动)寂静
- * 神秘^{しんぴてき}的：(0, 形动)神秘的
- * 秘密^{ひみつ}：(0, 名)秘密
- * 内緒^{ないしょ}：(3, 0, 名)秘密
- * 内緒話^{ないしょばなし}：(4, 名)悄悄话
- * 密^{ひそ}やか：(2, 形动)寂静；秘密。[记]. ひ(低)+そ(嗖→清→轻)+や(也)+か(加)→寂静
- * ひっそりと：(3, 副)鸦雀无声，寂静；无声无息。[记]. ひ(根据字形→低)+そ(轻)
- * 荒^{あら}い：(0, 2, 形)气势凶猛的；无节制的。[记]. あら(哎呀→惊讶)→疯狂
- * 荒々^{あらあら}しい：(5, 形)狂风暴雨的；气势凶猛的；行为粗鲁的。[记]. あら(哎呀→惊讶)+あら(哎呀→惊讶)+し(像)→粗
- * 荒^あれる：(0, 自下一)波涛汹涌；狂风暴雨；行为粗鲁；皮肤粗糙。[记]. あれ(哎呀→惊讶)+る(留→长)→狂
- * 荒^あらす：(0, 他五)弄乱；扰乱；搞糟。[记]. あら(哎呀→惊讶)+す(做)→弄乱
- * 粗^{あら}い：(0, 形)粗的；粗大的，粗糙的，粗略的。[记]. あら(哎呀→惊讶)→粗
- * 粗末^{そまつ}：(1, 名/形动)粗糙，简陋，不爱惜
- * ぞんざい：(3, 0, 形动)粗，粗暴，粗鲁，不珍惜，不善待
- * 疎^{おろそ}か：(2, 3, 形动)粗心大意，敷衍了事。[记]. お(大)+ろ(落)+そ(松)+か(加)→大的落下且松→疏
- * 疎^{うと}い：(2, 形)疏远的；生疏的；不谙世事的。[记]. う(无)+と(特)→没有→疏
- * 疎遠^{そえん}：(0, 名/形动)疏远
- * 疎^{まば}ら：(0, 形动)稀疏。[记]. ま(間)+ばら(扒拉)→拉开空间→稀疏
- * 夕涼^{ゆうすず}み：(3, 0, 名/自サ)夏天傍晚乘凉

* 涼^{すず}む：(2, 自五) 乘凉

* 涼^{すず}やか：(2, 形动) 凉爽；清爽

* 愛^めでる：(2, 他下一) 欣赏；爱，疼爱，怜爱

* ホタル^が狩り：(0, 名) 观赏萤火虫

* いちご^が狩り：(0, 名) 采摘草莓

* もみじ^が狩り：(0, 名) 观赏红叶

* 風物詩^{ふうぶつし}：(4, 3, 名) 风物诗(充分表现季节感的典型景物)

N2 第 50 课 夏天的风物诗——萤火虫(语法)

ホタル

夜の闇^{よる やみ}のなか、藤黄^{とうおう}の光^{ひかり}を明滅^{めいめつ}させて飛^とぶホタルの姿^{すがた}は、まさに幽玄^{ゆうげん}そのもの。昔^{むかし}から夕涼^{ゆうすず}み^がてらホタルを愛^めでる「ホタル狩^がり」^{おこな}が行^{なつ}われ、夏の風物詩^{ふうぶつし}となりました。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

萤火虫

在黑夜当中，一边闪烁着藤黄色的光一边飞舞的萤火虫的样子，完全就是幽玄。自古至今一直都有“观赏萤火虫”的习俗，一边乘凉一边欣赏萤火虫，这构成了夏天的风物诗。

语法

1. 在～当中

～なか、

- * 解释：中^{なか}+で(范围)/を(移动)
- * 意思：在～当中
- * 接续：按照修饰名词的方式

1. 横殴^{よこなぐ}りの吹雪^{ふぶき}の中^{なか}で作^さ業^{ぎょう}した。

- * 在凶猛的暴风雪中作业。
- * 横殴^{よこなぐ}り：(0, 名)横吹
- * 殴^{なぐ}る：(2, 他五)殴打.[记]. な(那→长)+く(方向)+浊音(拖泥带水→有关)+る(留→长)→打到
- * 吹雪^{ふぶき}：(1, 名)暴风雪
- * 作^さ業^{ぎょう}：(1, 名/自サ)(体力或脑力劳动的)作业

2. 土砂降^{どしゃぶ}りの雨^{あめ}の中^{なか}を走^{はし}って帰^{かえ}った。

- * 在瓢泼大雨中跑回来。
- * 土砂降^{どしゃぶ}り：(0, 名)倾盆大雨

3. お忙^{いそが}しい中^{なか}、お時^じ間^{かん}を割^さいてくださって、ありがとうございます。

- * 感谢您在百忙当中抽出时间。
- * 割^さく：(1, 他五)把～撕裂；把～拆开；挑拨.[记]. さ(撕)+く(方向)→撕裂

2. 本身

—そのもの

- * 解释：そのもの(那个东西)
- * 意思：其本身
- * 接续：名词+

1. わざと本音と正反対なことを言うのは弱気そのものです。

- * 故意说违心的话就是懦弱。
- * わざと：(1, 副)(不好)故意地.[记]. わ(あ→上)+ざ(杂)→技→わざと→用伎俩→故意
- * 本音：(0, 名)真心话，心里话
- * 正反对：(3, 名/形动)正相反
- * 弱気：(0, 3, 名/形动)懦弱

2. いくら傷ついても最後に許してしまう元は愛そのものです。

- * 不管怎么受伤，最终原谅就是因为爱。
- * 傷つく：(3, 自五)受伤害
- * 最後：(1, 名)最后
- * 許す：(2, 他五)允许，准许，同意；饶恕.[记]. ゆ(裕)+る(留→长)+す(做)→使宽裕
- * 元：(2, 名)根基；根源；起源
- * 源：(0, 名)源泉；水源；根源.[记]. み(みず→水)+な(なる→也→是)+もと(原)→水+原→源
- * 原動力：(3, 名)原动力

3. お互いに自分の意見だけを述べるのではなく、相手の考えをきちんと聞いた上で、

より合理的な到達点を見つけるのが議論そのものです。

- * 不是只互相阐述自己的意见，而是在认真听取对方的想法之上，找到更加合理的到达点才是讨论。
- * お互いに：(0, 副)相互
- * 意見：(1, 名)意见
- * 述べる：(2, 他下一)(叙，阐)述.[记]. の(な→那→长)+べ(边)+る(留→长)→述
- * 相手：(3, 名)对象，对方
- * 考え：(3, 名)想法

- * きちんと：(2, 副) 工工整整；整整齐齐；规规矩矩；好好. [记]. き (切る→完全)+ち (齐)→齐→整
- * ^{ごうりてき}合理的：(0, 形动) 合理的
- * ^{とうたつてん}到達点：(4, 3, 名) 到达点，目标
- * ^み見つける：(0, 他下一) 找到；看惯，常看
- * ^{ぎろん}議論：(1, 名/他サ) 讨论，辩论

3. 顺便；同时；一起

—がてら

- * 解释：が (连接前后的助词)+て (手)+ら (拉)
- * 意思：顺带手
- * 接续：名词+

1. ^{いぬ}犬の^{さんぽ}散歩がてら^{ゆうびんきょく}郵便局に^よ寄って^き来た。

- * 遛狗，顺便去了邮局。
- * ^よ寄る：(0, 自五) 接近，靠近；顺路. [记]. よ (悠)+る (留→长)→靠近

2. ^{あまやど}雨宿りがてら、^{ちい}小さな^{ひとやす}カフェで一休みした。

- * 避雨，顺便在一个小的咖啡店歇歇脚。
- * ^{あまやど}雨宿り：(3, 名/自サ) 避雨. [记]. や (夜)+と (泊)+浊音 (拖泥带水→有关)+り (る→长)→住宿
- * カフェ：(1, 名/法语 cafe) 咖啡店
- * ^{ひとやす}一休み：(2, 名/自サ) 休息一会儿

3. ^{とない}ドライブがてら^い都内から^{にんき}行ける人気スポットがいくつかあります。

- * 有几个能从东京都内开车兜风去的人气景点。
- * ドライブ：(2, 名/自サ/drive) 开车，开车兜风
- * ^{とない}都内：(1, 名) 东京都内
- * スポット：(2, 名/spot) 地点

N2 第 51 课 夏天的风物诗——萤火虫(课文)

ホタル

夜の闇^{よる やみ}のなか、藤黄^{とうおう}の光^{ひかり}を明滅^{めいめつ}させて飛^とぶホタルの姿^{すがた}は、まさに幽玄^{ゆうげん}そのもの。昔^{むかし}から夕涼^{ゆうすず}み^がて^らホタルを愛^めでる「ホタル狩^がり」が^{おこな}わ^れ、夏^{なつ}の風物詩^{ふうぶつし}となりました。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

萤火虫

在黑夜当中，一边闪烁着藤黄色的光一边飞舞的萤火虫的样子，完全就是幽玄。自古至今一直都有“观赏萤火虫”的习俗，一边乘凉一边欣赏萤火虫，这构成了夏天的风物诗。

N2 第 52 课 浮世絵中的樱叶年糕(单词)

え ど じ まんさんじゅうろくきょう
江戸自慢三十六興

むこうじまつみ の はなならび もち
向嶋堤ノ花并にさくら餅

うたがわひろしげ に だい うたがわとよくに さんだい げん じ がんねん
歌川広重(二代) 歌川豊国(三代) 元治元年(1864)

さくら さ すみ だ がわつみ じょせいふたり ぼう わた はこ
桜の咲く隅田川堤を女性2人が棒に渡して運んでいるのが、長命寺の桜もち。当時竹で
あ 編んだかごに い 入れて持ち運んだという。て 手に持たず、 ふた 2かごつるしているところをみると、かご
にはかなりの量 りょう さくら の桜もちが入っているのだろうか。

(『《旅したいおいしい浮世絵》』NHK 出版による)

江戸自慢三十六興 向島堤坝的樱花和樱叶年糕

歌川广重(二代) 歌川丰国(三代) 元治元年(1864)

在樱花开放的隅田川堤坝上，两位女性抬着一根木棒，搬的东西就是长命寺的樱叶年糕。据说当时是把樱叶年糕放在竹子编的筐里搬运。不用手拿，而是挑着两个筐，看到这个样子，(令人)猜想筐里是不是装着很多的樱叶年糕呢？

单词

- * 浮世絵：(0, 3, 名)江戸时代以现实社会的风俗为题材，形成一个流派的画家们的绘画。17 世纪后半叶，由菱川师宣完成。描绘花街柳巷、戏剧、相扑等手艺人 and 商人阶层喜好的风俗画、肖像画及风景画等。有手绘画和版画两种。著名的画家有铃木春信、喜多川歌麿、东洲斋写乐、歌川广重、葛饰北斋等。
- * 自慢：(0, 名/自他サ)自满，自夸
- * 自慢話：(4, 名)自满的话
- * 手柄話：(4, 名)取得成绩的自满的话；表功，自夸功劳的话
- * 手柄：(3, 名)功绩，功劳
- * 手柄を立てる：(3+2)立下功劳
- * 向嶋：(0, 名)日本东京都墨田区的一个地区。旧向岛地区隔隅田川和浅草相对，是江戸时代的娱乐场和别墅区。
- * 隅田川：(3, 名)流经东京都东部的河流。
- * 隅：(1, 名)角落.[记]. す(丝→轻)+み(身)→轻的东西→角落
- * 隅々：(2, 1, 名)各个角落.[记]. す(丝→轻)+み(身)→轻的东西→角落

- * 墨^{すみ}: (2, 名) 墨. [记]. す(する→磨る)+み(身)→磨出来的东西→墨
- * 炭^{すみ}: (2, 名) 炭. [记]. す(する→磨る)+み(身)→磨出来的东西→墨→黑炭
- * 堤^{つつみ}: (3, 0, 名) 堤坝. [记]. つ(突く)+つ(突く)+み(身)→很长突出的东西→“堤”的字形解释
- * 土手^{どて}: (0, 名) 堤坝
- * 土台^{どだい}: (0, 名) 地基; 基础, 根基
- * 基礎^{きそ}: (1, 名) 基础
- * 基づく^{もと}: (3, 自五) 基于, 根据, 按照. [记]. もと(元)+づく(付く)→附着于原地→基于
- * 礎^{いしづえ}: (0, 名) 基础. [记]. いし(石)+ずえ(すえ→据える→放→楚)→石+楚→礎
- * 女性^{じょせい}: (0, 名) 女性
- * 棒^{ぼう}: (0, 名) 棒子, 棍子
- * 棒に振る^{ぼう ふ}: (0+0) 白干, 白浪费, 努力化为泡影
- * 足が棒になる^{あし ぼう}: (2+0+1) 腿脚累得僵直
- * 棒暗記^{ぼうあん き}: (3, 名/他サ) 死记硬背
- * 丸暗記^{まるあん き}: (3, 名/他サ) 死记硬背
- * 暗記^{あん き}: (0, 名/他サ) 背, 背诵
- * 頭に詰め込む^{あたま つ こ}: (0+3) 塞进脑子
- * 詰め込む^{つ こ}: (3, 他五) 塞进, 装满
- * 頭に叩き込む^{あたま たた こ}: (0+3) 塞进脑子
- * 叩き込む^{たた こ}: (3, 他五) 打进, 用力敲进去; 牢记; 严格教授
- * 扱く^{しご}: (2, 他五) 严格训练. [记]. し(强)+ご(过)+く(方向)→严格
- * 叱り付ける^{しか つ}: (5, 他下一) 严厉地批评. [记]. 叱り(批评)+付ける(附着)→使劲批评
- * 渡す^{わた}: (0, 他五) 把~交给, 递给. [记]. わ(あ→上)+た(他)+す(做)→上他那儿→递给
- * 渡る^{わた}: (0, 自五) (渡) 过

- * 運^{はこ}ぶ: (0, 自他五)搬运; 前往. [记]. はこ(箱)+ぶ(搬)→搬运
- * 足^{あし}を運^{はこ}ぶ: (2+0)前去访问
- * 持^もち運^{はこ}ぶ: (4, 0, 他五)搬运, 携带
- * 竹^{たけ}: (0, 名)竹子. [记]. た(多)+け(こ→己→小)→很多小的节→竹
- * 丈^{たけ}/長^{たけ}: (2, 名)高度; 长度; 全部
- * 編^あむ: (1, 他五)编织. [记]. あ(上)+む(闷)→编织时的状态→编织
- * 織^おる: (1, 他五)织, 编织, 纺织. [记]. お(根据嘴型→圆→折→织)+る(留→长)→编织
- * かご: (0, 名)筐, 笼. [记]. か(加)+ご(kuang 筐)→筐
- * カート: (1, 名/cart)手推车
- * 籠^{かごみみ}耳: (0, 名)听了就忘
- * ざ^{みみ}る耳: (0, 2, 名)听了就忘
- * ざ^{みみ}る: (2, 名)漏勺
- * 空^{そらみみ}耳: (0, 2, 名)幻听, 听错; 假装听不见
- * 初^{はつみみ}耳: (0, 名)第一次听
- * 袋^{ふくろみみ}耳: (3, 名)听一次就记住
- * 吊^つるす: (0, 他五)悬挂. [记]. つ(刺)+る(留→长)+す(做)→钩上来→吊
- * 吊^つる: (0, 自他五)吊. [记]. つ(刺)+る(留→长)→钩上来→吊
- * 吊^つり橋^{ばし}: (0, 名)吊桥
- * かなり: (1, 副)相当
- * 量^{りょう}: (1, 名)量

N2 第 53 课 浮世絵中の桜叶年糕(语法)

え ど じ まんさんじゅうろくきょう
江戸自慢三十六興

むこうじまつみ の はなならび もち
向嶋堤ノ花并にさくら餅

うたがわひろしげ に だい うたがわとよくに さんだい げん じ がんねん
歌川広重(二代) 歌川豊国(三代) 元治元年(1864)

さくら さ すみ だ がわつみ じょせいふたり ぼう わた はこ
桜の咲く隅田川堤を女性2人が棒に渡して運んでいるのが、長命寺の桜もち。当時竹で
あ 編んだかごに い 入れて持ち運んだという。手にも 持たず、 ふた
にはかなりの量の桜もちが入っているのだろうか。

(『《旅したいおいしい浮世絵》』NHK 出版による)

江戸自慢三十六興 向島堤坝的樱花和樱叶年糕

歌川广重(二代) 歌川丰国(三代) 元治元年(1864)

在樱花开放的隅田川堤坝上，两位女性抬着一根木棒，搬的东西就是长命寺的樱叶年糕。据说当时是把樱叶年糕放在竹子编的筐里搬运。不用手拿，而是挑着两个筐，看到这个样子，(令人)猜想筐里是不是装着很多的樱叶年糕呢？

语法

ところ(地点；时间；程度；状况)

1. 表示程度低

～といったところ

- * 解释：といった(之类的)+ところ(程度)
- * 特点：通常表示程度低
- * 接续：任何词

1. 今日の^{きょう}できは、まあまあといったところです。

- * 今天的成績还行。
- * まあまあ：(1, 3, 形动/1, 副)还行，还可以，过得去，勉强
- * まずまず：(1, 副)还行，还可以，过得去，勉强

2. 単なる^{たん}遊び^{あそ}といったところです。

- * 也就是玩儿玩儿。
- * 単なる^{たん}：(1, 连体)只是，仅仅

3. 他^{ほか}の人^{ひと}にとって^{きび}厳しいトレーニングでも、安藤^{あんどう}さんにとってはちょうどいい散歩^{さんぽ}といったところ^{ところ}です。

- * 对别人来说是严格的训练，但是对安藤来说也就是个正合适的散步。
- * トレーニング：(2, 名/他サ/training)训练

2. 在～时被～

～ところを

- * 解释：ところ(时间；状况)+を(他动词前面使用的助词)
- * 特点：后面加被动式，指人被～
- * 接续：现在进行时/现在进行时的过去式+

1. ^{こま}困っているところを^{たす}助けられたら、^{かなら}必ず^{れい}お礼を^い言う。

- * 为难的时候被帮助了，必定道谢。
- * お礼を言う：(0+0)道谢

2. ^{はん}犯人は^{にん}買い物^かをしていたところを、^{けい}警察に^{さつ}逮捕^{たい}された。

- * 犯人在买东西的时候被警察逮捕。
- * 犯人：^{はん}(1, 名)犯人
- * 警察：^{けい}(0, 名)警察
- * 逮捕：^{たい}(1, 名/他サ)逮捕

3. ^び病^{よう}気^きしているところを^か家族^{ぞく}に^し知られたくない。

- * 我不想让家人知道我生病了。

3. 在～时

～ところに/へ

- * 解释：ところ(时间)+に/へ(方向)
- * 接续：现在进行时/现在进行时的过去式+

1. ^ね寝ようとしているところへ、^{でん}電話^わがかかってきた。

- * 正要睡觉的时候来了电话。

2. ^{みち}道に^{まよ}迷っていたところへ、^{とお}通り^{しん}かかった人が^{せつ}親切に^{おし}教えてくれました。

- * 正迷路的时候，路人热情地告诉我怎么走。
- * 道に迷う：^{みち}(0+2)迷路
- * 通りかかる：^{とお}(5, 0, 自五)正在通过
- * 親切：^{しん}(1, 名/形动)亲切；乐于助人

3. ちょうど彼の^{かれ}うわさ^{うわ}をしているところに、^{ほん}本人^{にん}が^{あら}現れた。

* 正在聊他的时候，本人出现了。

* 噂：^{うわさ}(0, 名)传言，风言风语. [记]. うわ(哇)+さ(颯→快)→声势大及快→传言

* 本人：^{ほんにん}(1, 名)本人

* 現れる：^{あらわ}(4, 自下一)表现，出现. [记]. あら(ある→有る)+わ(あ→上)+れ(来)+る(留→长)→出来

N2 第 54 课 浮世絵中的櫻叶年糕(课文)

え ど じ まんさんじゅうろくきょう
江戸自慢三十六興

むこうじまつみ の はなならび もち
向嶋堤ノ花并にさくら餅

うたがわひろしげ に だい 歌川広重(二代) うたがわよくに さんだい 歌川豊国(三代) げん じ がんねん 元治元年(1864)

さくら さ すみ だ がわつみ じょせいふたり ぼう わた はこ
桜の咲く隅田川堤を女性2人が棒に渡して運んでいるのが、長命寺の桜もち。当時竹で
あ 編んだかご い に入れて持ち運んだという。手にも持たず、ふた
にはかなりの量の桜もちが入っているのだろうか。

(『《旅したいおいしい浮世絵》』NHK 出版による)

江戸自慢三十六興 向島堤坝的樱花和樱叶年糕

歌川広重(二代) 歌川丰国(三代) 元治元年(1864)

在樱花开放的隅田川堤坝上，两位女性抬着一根木棒，搬的东西就是长命寺的樱叶年糕。据说当时是把樱叶年糕放在竹子编的筐里搬运。不用手拿，而是挑着两个筐，看到这个样子，猜想筐里是不是装着很多的樱叶年糕呢？

N2 第 55 课 橘红色的早晚(单词)

茜空と茜雲

太陽高度の低い朝や夕方、空気中を通る太陽光線の距離が長くなります。すると波長の長い光しか地上に届かなくなるため、空の赤や黄色が強くなるのです。空気中の水蒸気が多くなればなるほど美しい茜色の夕焼けとなるため、台風が近づきつつある晴れた日は、絶好の夕焼け日和といえるでしょう。茜色に染まった空は「茜空」、雲は「茜雲」と呼ばれます。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

茜色和茜云

在太阳高度较低的早晨和黄昏，通过空气的太阳光线的距离变长。于是，只有波长较长的光才能到达地面，所以天空的红色和黄色就会变强。空气中的水蒸气越多就越会形成美丽的茜色晚霞，所以台风逐渐接近的晴朗的天气可以说是形成晚霞的非常好的条件。染成茜色的天空叫做“茜空”，染成茜色的云彩叫做“茜云”。

单词

- * 茜：(0, 名) 茜
- * 茜色：(0, 名) 茜红色
- * 茜空：(4, 名) 茜空
- * 茜雲：(4, 名) 茜云
- * 太陽高度：(5, 名) 太阳高度
- * 太陽光線：(5, 名) 太阳光线
- * 距離：(1, 名) 距离
- * 距離を置く：(1+0) 保持距离
- * すると：(0, 接续) 于是
- * 波長：(0, 名) 波长
- * 波長が合う：(0+1) 想法和感觉很相似
- * 地上：(0, 名) 地上
- * 届く：(2, 自五) (收)到，(寄)到；(周)到
- * 届ける：(3, 他下一) 把～送到

- * 届け^{とど}: (3, 名) (提交给政府机关、公司、学校等的) 报告, 申请
- * 婚姻届け^{こんいんとど}: (5, 名) 结婚申请
- * 出生届け^{しゅっしょうとど}: (5, 名) 出生证明
- * 出生率^{しゅっしょうりつ}: (3, 名) 出生率
- * 被害届け^{ひがいとど}: (4, 名) 报案
- * 強い^{つよ}: (2, 形) 强的
- * 強い^しる: (2, 他上一) 强迫. [记]. し(死→强烈→强)+いる(入る)→强迫
- * 強い^して: (1, 副) (冲破困难及反对) 非要, 硬要
- * 強い^して言^いえ^いば: (1+2) 如果硬要我说的话
- * 敢^あえて: (1, 副) 斗胆
- * 敢^あえて言^いえ^いば: (1+2) 如果斗胆说的话
- * 強^{したた}か: (0, 2, 形动) 强悍, 彪悍, 不好惹, 难对付
- * 強^{あなが}ち: (0, 副) (后接否定) 未必
- * 水蒸気^{すいじょうき}: (3, 名) 水蒸气
- * 美^{うつく}しい: (4, 形) 美的, 美丽的, 美好的
- * 麗^{うるわ}しい: (4, 形) 美丽的; 华丽的; 温暖的; 心情好的
- * 潤^{うるお}う: (3, 自五) 湿润; 受益. [记]. う(雨)+る(留→长)+おう(負う)→覆盖长雨→湿润
- * 潤^{うるお}す: (3, 他五) 使湿润; 使富足; 使受益
- * 経済^{けいざい}を潤^{うるお}す: (1+3) 使经济富足
- * 崖^{がけ}: (0, 名) 悬崖
- * 崖^{がけ}っ^{ぶち}縁: (0, 名) 悬崖边; 顶尖, 顶级
- * 崖^{がけ}っ^{ぶち}縁アイドル: (6, 名) 顶级偶像
- * アイドル: (1, 名/idol) 偶像
- * ボトルネック: (4, 名) 瓶颈

- * 夕^{ゆう}焼^やけ：(0, 名)晚霞
- * 台^{たい}風^{ふう}：(3, 名)台风
- * 津^つ波^{なみ}：(0, 名)海啸
- * 竜^{たつ}巻^{まき}：(0, 名)龙卷风
- * 近^{ちか}づく：(3, 0, 自五)靠近，接近，临近
- * 近^{ちか}づける：(4, 0, 他下一)使靠近，使接近
- * 近^{ちか}寄^よる：(3, 0, 自五)靠近，接近，挨近
- * 絶^{ぜつ}好^{こう}：(0, 名/形动)绝好
- * 日^ひ和^{より}：(0, 名)天气状况；好天气
- * 日^ひ向^{なた}：(0, 名)向阳处，朝阳处
- * 日^ひ向^{なた}ぼっこ：(4, 名/自サ)晒太阳
- * 日^ひ向^{なたあめ}雨：(3, 名)出太阳时下的雨
- * 染^そまる：(0, 自五)染上颜色；沾染上(恶习)
- * 染^そめる：(0, 他下一)使染上颜色；沾染上(恶习)
- * 染^しみる/沁^しみる/滲^しみる：(0, 自上一)沙疼；(液体、思想、文化等)渗透；铭刻在心
- * 味^{あじ}がし^こみ込む：(0+3)入味
- * 滲^{にじ}む：(2, 自五)渗透；涸.[记]. に(泞)+じ(紧)+む(闷)→水紧→滲
- * 字^じが滲^{にじ}む：(1+2)字涸
- * 滲^しみ^で出る：(3, 自下一)渗透；流露
- * 人^{ひと}柄^{がら}が滲^{にじ}み^で出る：(0+3)渗透人品
- * 雲^{くも}：(1, 名)云.[记]. く(くろ→黒)+も(もの→物)→乌云
- * 曇^{くも}る：(2, 自五)天空多云；模糊；发愁；阴沉

N2 第 56 课 橘红色的早晚(语法)

茜空と茜雲

太陽高度の低い朝や夕方、空気中を通る太陽光線の距離が長くなります。すると波長の長い光しか地上に届かなくなるため、空の赤や黄色が強くなるのです。空気中の水蒸気が多くなればなるほど美しい茜色の夕焼けとなるため、台風が近づきつつある晴れた日は、絶好の夕焼け日和といえるでしょう。茜色に染まった空は「茜空」、雲は「茜雲」と呼ばれます。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

茜色和茜云

在太阳高度较低的早晨和黄昏，通过空气的太阳光线的距离变长。于是，只有波长较长的光才能到达地面，所以天空的红色和黄色就会变强。空气中的水蒸气越多就越会形成美丽的茜色晚霞，所以台风逐渐接近的晴朗的天气可以说是形成晚霞的非常好的条件。染成茜色的天空叫做“茜空”，染成茜色的云彩叫做“茜云”。

语法

1. 正在一点儿一点儿地

一つつつある

- * 解释：つつ(次次)+ある(在→古语的いる)
- * 接续：动词的连用形+

1. 町の様子が変わりつつある。

- * 城市的样子正在一点一点地发生变化。
- * 町：(2, 名)城市，大街。[记]. ま(間)+ち(地)→一块地→城市
- * 様子：(0, 名)样子

2. 頑張って考えないようにすれば、忘れつつある。

- * 如果尽量努力不想，会慢慢忘记。
- * 葛藤：(0, 名/自サ)纠结；纠葛
- * 縛れる：(3, 自下一)(头发、线等)缠绕到一起分不开；(舌头、腿脚等)不听使唤；(感情、事情等)错综复杂而无法收拾。[记]. も(もの→物)+つれる(連れる)→縛

3. 放置すれば、不満が高まりつつある。

- * 如果放置不管的话，就会越来越不满。
- * 放置：(1, 0, 名/他サ)放置不管

- * 放^{ほう}って置^おく：(0, 他五)放置不管
- * ほっとく：(3, 他五)放置不管
- * ほったらかす：(5, 他五)放置不管

2. 虽然次次

一つつ(も)、

- * 解释：つつ(次次)+も(强调→转折→虽然)
- * 意思：虽然次次
- * 接续：动词的连用形+

1. 手放^{てばな}そうと思^{おも}いつつも、潔^{いさぎよ}く身^みを引^ひけない自^じ分^{ぶん}に腹^{はら}が立^たつ。

- * 虽然次次想着要放手，但是很生气自己不能干脆利落地抽身。

- * 手放^{てばな}す：(3, 他五)放手

- * 潔^{いさぎよ}い：(4, 形)不拖泥带水的；清洁的

- * 身^みを引^ひく：(0+0)抽身

- * 腹^{はら}が立^たつ：(2+1)生气

2. いけないとは知^しりつつも、しつこく頼^{たの}まれて断^{ことわ}り切^きれなかった。

- * 虽然每次都知道不行，但是被死乞白赖地求，拒绝不了。
- * しつこい：(3, 形)浓重的，浓烈的，浓艳的；执拗的，纠缠不休的，矫情的
- * 断^{ことわ}り切^きれない：(7, 形)拒绝不了

3. 自^じ分^{ぶん}の弱^{よわ}みを認^{みと}めつつも、直^{なお}す気^きがまっただくなさそう(です)。

- * 虽然次次承认自己的弱点，但是完全没有改的意思。

- * 弱^{よわ}み：(0, 名)弱点；把柄

- * 弱^{じゃくてん}点：(3, 名)弱点

- * 欠^{けってん}点：(3, 名)缺点

N2 第 57 课 橘红色的早晚(课文)

茜空と茜雲

太陽高度の低い朝や夕方、空気中を通る太陽光線の距離が長くなります。すると波長の長い光しか地上に届かなくなるため、空の赤や黄色が強くなるのです。空気中の水蒸気が多くなればなるほど美しい茜色の夕焼けとなるため、台風が近づきつつある晴れた日は、絶好の夕焼け日和といえるでしょう。茜色に染まった空は「茜空」、雲は「茜雲」と呼ばれます。

(長澤陽子『日本の伝統色を愉しむ』東邦出版による)

茜色和茜云

在太阳高度较低的早晨和黄昏，通过空气的太阳光线的距离变长。于是，只有波长较长的光才能到达地面，所以天空的红色和黄色就会变强。空气中的水蒸气越多就越会形成美丽的茜色晚霞，所以台风逐渐接近的晴朗的天气可以说是形成晚霞的非常好的条件。染成茜色的天空叫做“茜空”，染成茜色的云彩叫做“茜云”。

N2 第 58 课 各国婴儿无不同(单词)

生まれ^うたばかり^{あか}の赤ちゃん^{には}、文化^{ぶん か}の違い^{ちが}や国籍^{こくせき}による^{ちが}違い^みは見^にられ^うない。日本^にで^{ほん}生まれた^う赤ちゃん^{あか}も、アメリカで生まれた^う赤ちゃん^{あか}も、アフリカやアジアの諸国^{しよこく}で生まれた^う赤ちゃん^{あか}も、最初^{さいしよ}はみんな^{おな}同じである。たとえ^{ひ ふ}、皮膚^ひの色^{いろ}に違い^{ちが}があったとしても、その行動様式^{こうどうようしき}に大きな違い^{ちが}は見^みられない。

しかしながら、その後^{ごすうねん}数年^とたつそれぞれの文化^{ぶん か}のなか^{そだ}で育^{そだ}った子どもたちは、それぞれの文化^{ぶん か}に特徴^{とくちようてき}的な様相^{ようそう}を示^{しめ}すようになる。食事^{しよくじ}の仕方^{しかた}、睡眠^{すいみん}のとり方^{かた}、遊び方^{あそ}と^{かた}いったことから、かんが^{かんが}え方^{かた}にも違い^{ちが}が現^{あらわ}れる。

(福富護『「らしさ」の心理学』講談社による)

从刚出生的婴儿身上看不出文化的不同以及国籍带来的不同。在日本出生的婴儿、在美国出生的婴儿、在非洲和亚洲各国出生的婴儿，最初大家都一样。即便皮肤颜色上有不同，他们的行为方式却看不出很大差异。

可是几年后，在不同的文化中成长的孩子们开始呈现出带有各个文化特征的状态。从吃饭的方式、睡眠的方式、玩儿的方式到想法，都会呈现出差异。

单词

- * 赤ちゃん^{あか}: (1, 名) (赤ん坊^{あか ぼう}更亲近的说法) 婴儿
- * 赤ん坊^{あか ぼう}: (0, 名) 婴儿; 社会经验少的人
- * 乳児^{にゅうじ}: (1, 名) 婴儿
- * 幼児^{ようじ}: (1, 名) 幼儿
- * 児童^{じどう}: (1, 名) 儿童
- * 自動^{じどう}: (0, 名) 自动
- * 文化^{ぶん か}: (1, 名) 文化
- * カルチャー: (1, 名/culture) 文化
- * カルチャーショック: (5, 名/culture shock) 文化冲击
- * ショックを受ける^う: (1+2) 受打击
- * 打撃^{だげき}を受ける^う: (0+2) 受打击
- * 衝撃^{しょうげき}: (0, 名) 冲击

- * 衝撃しょうげきをあたえる：(0+0)给与(社会)冲击
- * ダメージ：(2, 1, 名/damage) 损失
- * メリット：(1, 名/merit) 利处，好处，优点
- * リスク：(1, 名/risk) 风险
- * 危険きけん：(0, 名/形动) 危险
- * 危あぶない：(0, 3, 形) 危险的
- * 危あやうい：(0, 3, 形) 危险的. [记]. あや(啊呀→吃惊)+う(无→不要)→危险的
- * 危あやうく：(0, 副) 险些
- * 危あやぶむ：(3, 他五) 觉得危险，担心. [记]. あや(啊呀→惊讶)+ぶ(不)+む(闷)→啊呀不要→危险
- * 国籍こくせき：(0, 名) 国籍
- * アメリカ：(0, 名/America) 美国
- * 米べいこく国：(0, 名) 美国
- * アフリカ：(0, 名/Africa) 非洲
- * 諸しょこく国：(1, 名) 诸国
- * 諸しょくくん君：(1, 名) 诸位
- * 猪いのしし：(3, 名) 野猪
- * 猪突猛进ちよとつもうしん：(1+0, 0, 名/自サ) 勇往直前
- * がさつ：(0, 形动) 愣头青. [记]. が(状态)+さ(颯→清→青)+つ(刺)→愣头青
- * 荒あらっぽい：(4, 0, 形) 粗糙的，粗鲁的
- * つっけんどん：(3, 形动) 简单粗暴. [记]. つっけんどん→刺很多
- * 刺とげ：(2, 名) 刺. [记]. と(突)+げ(给)→刺
- * 刺々とげとげしい：(5, 形) 带刺的，尖酸的
- * 気きが利きく：(0+0) 机灵，伶俐
- * 柔じゅうなん軟：(0, 形动) 灵活
- * 頭あたまが柔やわらかい：(0+4) 头脑灵活
- * 臨機応変りんきおうへん：(1+0, 形动) 随机应变
- * 最初さいしょ：(0, 名/副) 最初

- * 最初^{さいしよ}で最後^{さいご}: (0+1)最初也是最后, 第一次也是最后一次
- * 皮膚^{ひ ふ}: (1, 名)皮肤
- * 肌^{はだ}: (1, 名)肌肤
- * 肌^{はだ}が合^あう: (1+1)合得来
- * 反^そりが合^あわない: (2+3)合不来
- * 反^そり: (2, 名)弧度. [记]. そ(其)+り(る→留→长)→另一边→反
- * 反^そり橋^{はし}: (0, 2, 名)拱桥
- * 行^{こう}動^{どう}様^{よう}式^{しき}: (5, 名)行为方式
- * 生^{せい}活^{かつ}様^{よう}式^{しき}: (5, 名)生活方式
- * 数^{すう}年^{ねん}: (0, 名/副)数年, 几年
- * 経^たつ: (1, 自五)(时间)经过. [记]. た(他)+つ(次)→往其他方向走→经过
- * 経^へる: (1, 自下一)经过(审查), 经历. [记]. へ(方向)+る(留→长)→时间的经历
- * それぞれ: (2, 3, 名/副)各个
- * 特^{とく}徴^{ちやう}的^{てき}: (0, 形动)具有特征的
- * 特^{とく}徴^{ちやう}: (0, 名)特点
- * 様^{よう}相^{そう}: (0, 名)外观, 形式, 状态
- * 示^{しめ}す: (2, 他五)显示, 出示. [记]. し(示)+め(目)+す(做)→出示
- * 仕^し方^{かた}: (0, 名)方法
- * 睡^{すい}眠^{みん}: (0, 名)睡眠
- * 摂^とる: (1, 他五)摄取(营养、水分、睡眠等)
- * 摂^{せつ}取^{しゅ}: (1, 名/他サ)摄取(营养、水分、睡眠等)
- * 現^{あらわ}れる: (4, 自下一)显现, 体现, 出现
- * 現^{あらわ}す: (3, 他五)让~显现, 让~体现, 让~出现
- * 姿^{すがた}を現^{あらわ}す: (1+3)露面

N2 第 59 课 各国婴儿无不同(语法)

生まれ^うたばかり^{あか}の赤ちゃん^{には}、文化^{ぶん か}の違い^{ちが}や国籍^{こく せき}による^{ちが}違い^みは見^みられ^{ない}。日本^{に ほん}で^う生まれた^{あか}赤ちゃんも、アメリカで生まれた赤ちゃんも、アフリカやアジアの諸国^{しよ くに}で生まれた赤ちゃんも、最初^{さいしよ}はみんな同じである。たとえ^{ひ ふ}、皮膚^{ひ ふ}の色^{いろ}に違い^{ちが}があったとしても、その行動様式^{こう どう よう しき}に大きな違い^{ちが}は見^みられない。

しかしながら、その後^{ご すう ねん}数年^とそれぞれの文化^{ぶん か}のなか^{そだ}で育^{そだ}った子どもたちは、それぞれの文化^{ぶん か}に特徴^{とく ちょう てき}的な様相^{よう そう}を示^{しめ}すようになる。食事^{しょく じ}の仕方^{し かた}、睡眠^{すい びん}のとり方^{かた}、遊び方^{あそ び かた}といったことから、考え方^{かん が}にも違い^{ちが}が現^{あらわ}れる。

(福富護『「らしさ」の心理学』講談社による)

从刚出生的婴儿身上看不出文化的不同以及国籍带来的不同。在日本出生的婴儿、在美国出生的婴儿、在非洲和亚洲各国出生的婴儿，最初大家都一样。即便皮肤颜色上有不同，他们的行为方式却看不出很大差异。

可是几年后，在不同的文化中成长的孩子们开始呈现出带有各个文化特征的状态。从吃饭的方式、睡眠的方式、玩儿的方式到想法，都会呈现出差异。

语法

1. 假设

～とする

- * 解释：と(内容)+する(仮定する→假设)
- * 接续：任何词+

1. 大人^{おとな}でも買^かいたいものを何^{なん}でも買^かうとしたらどうでしょうか。

そんなことはしようと思^{おも}っても、できっこないはずです。

- * 即便是大人如果把想要买的东西都买下来的话会怎么样呢？
即便想要那么做，应该也不可能。
- * できっこない：(3+1, 形)完全不可能，绝对不可能

2. どうしても助^{たす}けなければならないような人^{ひと}がいたら、多^{おお}くはその人^{ひと}自身^{じ しん}の問題^{もんだい}です。

- * 如果假设有必须去帮助的人，那些人大多也是自己有问题。
- * どうしても：(4, 副)无论如何
- * 多^{おお}く：(1, 名/副)很多

3. もしそうならないとすれば、また別の心配が生じるだろう。

* 如果不是那样的话，还会产生其他的担心。

* 別：(0, 名/形动) 区别，差别；分开；其他

* 心配：(0, 名/他サ) 担心

* 生じる：(0, 3, 自上一) 产生

2. 即使假设

(たとえ)～としても

* 解释：たとえ(例える→打个比方；假设)+として(と仮定する→假设)+(て)も(让步性转折→即使)

* 接续：任何词+

1. 新しい行動様式が見られたとしても、第一印象に無理やり当てはめられてしまう。

* 即使假设有新的行为方式，但还是会硬安在第一印象上。

* 第一印象：(5, 名) 第一印象

* 無理やり：(0, 副) 非要，硬干，强迫

* 当てはめる：(4, 他下一) 把～安在～上

* 当てはまる：(4, 自五) 被安上；适合，适用. [记]. 当て(大面积地接触)+嵌まる(镶嵌上)→接触后镶嵌进去→安在～上

2. 型どおりの挨拶くらいはできるとしても、内容のある深い話を聞き出すのが難しいです。

* 即使假设能有固定模式的寒暄，但是很难引出有深度的话题。

* 型どおり：(3, 名) 固定模式

* 内容：(0, 名) 内容

* 聞き出す：(3, 他五) 问出

3. 正確に30分後に返事が出来たとしても、あまり満足感はないのです。

* 即使假设准确地在30分钟后做出了回复，但是也不会太满意。

* 正確：(0, 形动) 正确，准确

* 満足感：(4, 名) 满足感

N2 第 60 课 各国婴儿无不同(课文)

生まれ^うたばかり^{あか}の赤ちゃん^うには、文化^{ぶん か}の違い^{ちが}や国籍^{こくせき}による^{ちが}違い^みは見^にられ^うない。日本^にで^{ほん}生まれた^う赤ちゃん^{あか}も、アメリカ^{あか}で生まれた^う赤ちゃん^{あか}も、アフリカ^{あか}やアジア^{あか}の諸国^{しよこく}で生まれた^う赤ちゃん^{あか}も、最初^{さいしよ}はみんな^{おな}同じである。たとえ^{ひ ふ}、皮膚^ひの色^{いろ}に違い^{ちが}があったとしても、その行動^{こうどう}様式^{ようしき}に大きな違い^{ちが}は見^みられない。

しかしながら、その後^{ごすうねん}数年^{ぶん か}たつとそれぞれの文化^{ぶん か}のなか^{そだ}で育^{そだ}った子ども^{こども}たちは、それぞれの文化^{ぶん か}に特徴^{とくちようてき}的な様相^{ようそう}を示^{しめ}すよう^{しめ}になる。食事^{しょくじ}の仕方^{しかた}、睡眠^{すいみん}のとり方^{かた}、遊び方^{あそ}と^{かた}いったこと^{こと}から、考え^{かんが}方^{かた}にも違い^{ちが}が現^{あらわ}れる。

(福富護『「らしさ」の心理学』講談社による)

从刚出生的婴儿身上看不出文化的不同以及国籍带来的不同。在日本出生的婴儿、在美国出生的婴儿、在非洲和亚洲各国出生的婴儿，最初大家都一样。即便皮肤颜色上有不同，他们的行为方式却看不出很大差异。

可是几年后，在不同的文化中成长的孩子们开始呈现出带有各个文化特征的状态。从吃饭的方式、睡眠的方式、玩儿的方式到想法，都会呈现出差异。